

令和元年8月19日

安曇野市教育委員会

令和元年8月定例会

会議案

安曇野市教育委員会

議案第 2 号	教育部 文化課
令和元年 8 月 19 日 提出	(課長) 那須野 雅好 (担当) 三澤 新弥

タイトル	安曇野市穂高陶芸会館条例の改正について
決定を要する事項の内容	条例改正の承認
要旨	穂高陶芸会館の冬季休館は特例として運用してきたが、これを条例の中に位置付け、併せて別表中の字句や構成等を修正するための条例改正を令和元年 9 月議会定例会へ上程したい。
説明	<p>安曇野市穂高陶芸会館は冬季の利用者が少ないため、指定管理者との協議の上、12 月 28 日から 2 月末日までの間、冬季休館を設けてまいりました。</p> <p>休館日については条例第 7 条第 2 項及び第 3 項により、指定管理者が教育委員会の承認を得た上で定めることができるものですが、恒常的なものですので、これを条例の中に位置づけます。</p> <p>また、条例内の別表中に、字句及び表の構成に修正が必要な箇所があるため改正を行います。</p> <p>1. 条例の名称 安曇野市穂高陶芸会館条例</p> <p>2. 内容 条文 冬季休館の規定 別表 別表中の字句・構成の修正</p> <p>3. 施行日 令和元年 10 月 1 日</p>

安曇野市穂高陶芸会館条例の一部を改正する条例

安曇野市穂高陶芸会館条例（平成 18 年安曇野市条例第 33 号）の一部を次のように改正する。

第 7 条第 1 項第 3 号中「1 月 4 日」を「2 月末日」に改める。

別表を次のように改める。

別表（第 10 条関係）

1 入館

区分	利用料金	
	個人	20 人以上の団体 (1 人につき)
一般の者	200 円	160 円

備考 「一般の者」とは、中学生以下の者を除く者をいう。

2 作陶

区分	利用料金	
	個人	20 人以上の団体 (1 人につき)
一般の者	2,090 円	1,570 円
中学生以下の者	1,880 円	1,040 円

備考

- 1 「一般の者」とは、中学生以下の者を除く者をいう。
- 2 上記の利用料金には、1 人 1 回につき陶土 500 g の料金を含むものとする。
- 3 陶土を追加する場合は、500 g につき 520 円を追加する。

3 模写撮影等

区分	単位	利用料金
模写・模造	1 点 1 日につき	2,090 円

撮影（学術研究用）	1 点	520 円
撮影（その他）		3,140 円
原版使用（学術研究用）	1 枚	520 円
原版使用（その他）		2,090 円

附 則

この条例は、令和元年10月1日から施行する。

令和 年 月 日 提出

安曇野市長 宮澤 宗弘

○安曇野市穂高陶芸会館条例（平成18年安曇野市条例第33号）

改正後	改正前
<p>(休館日)</p> <p>第7条 陶芸会館の休館日は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 月曜日</p> <p>(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日の翌日</p> <p>(3) 12月28日から翌年の2月末日までの日</p> <p>2 指定管理者は、特に必要と認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。</p> <p>3 前条第3項の規定は、前項の規定により休館日を変更し、又は臨時に休館日を定める場合について準用する。</p>	<p>(休館日)</p> <p>第7条 陶芸会館の休館日は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 月曜日</p> <p>(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日の翌日</p> <p>(3) 12月28日から翌年の1月4日までの日</p> <p>2 指定管理者は、特に必要と認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。</p> <p>3 前条第3項の規定は、前項の規定により休館日を変更し、又は臨時に休館日を定める場合について準用する。</p>

○安曇野市穂高陶芸会館条例（平成18年安曇野市条例第33号）

改正後

別表（第10条関係）

1 入館

区分	利用料金	
	個人	20人以上の団体 (1人につき)
一般の者	200円	160円

備考 「一般の者」とは、中学生以下の者を除く者をいう。

2 作陶

区分	利用料金	
	個人	20人以上の団体 (1人につき)
一般の者	2,090円	1,570円
中学生以下の者	1,880円	1,040円

備考

- 1 「一般の者」とは、中学生以下の者を除く者をいう。
- 2 上記の利用料金には、1人1回につき陶土500gの料金を含むものとする。
- 3 陶土を追加する場合は、500gにつき520円を追加する。

3 模写撮影等  
(略)

改正前

別表（第10条関係）

1 入館

区分	使用料（利用料金）	
	個人	20人以上の団体 (1人につき)
一般（中学生以下の者を除く。）	200円	160円

備考 常設展示以外の展示会を開催するときの金額は、その都度定めた額とする。

2 作陶

区分	単位	金額
高校生以上の者	1人1回につき（陶土500gを含む。）	2,090円
高校生以上の者（20人以上）		1,570円
中学生以下の者		1,880円
中学生以下の者（20人以上）		1,040円

備考 陶土を追加する場合は、500gにつき520円を追加する。  
3 模写撮影等  
(略)

<b>議案第3号</b>	教育部 各課
令和元年8月19日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	生涯学習課 後援5件 共催1件 文化課 後援2件 共催1件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】                  (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部 生涯学習課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	要決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H30	H29	H28	所管課 意見
39	R1.7.17	スポーツ推進担当	第69回長野県四地区対抗柔道大会	会長 木内義雄 内 倉子美	長野県柔道連盟	後援	大会開催のスムーズな運営のため	7月7日	令和元年9月29日	-	-	-	月 日	安曇野市三郷文化公園体育館	長野県の柔道愛好家が一堂に集う大会	一般男子の部:監督1名、コーチ1名、選手は四段以上の部8名、参段以下の部10名の28名、試段以下の部10名の28名、合計30名。一般女子の部:監督1名、コーチ1名、選手は中学生2名、高校生2名、一般女子6名の10名、合計12名。男子・女子の部ともに紅白点取り試合、トーナメント方式により優勝を決定する。	-	-	-	標準第3条第2項より可
41	R1.7.18	スポーツ推進担当	第40回長野県ママさんバレーボール連盟野東筑大会	富田美子	安曇野市ママさんバレーボール連盟	後援	県連盟登録チームが150チーム以上安曇野市に集まり、市内、他の会場で、試合をすするため。	7月18日	2019年11月10日(日)	-	-	-	月 日	安曇野市総合体育館	県下長野県ママさんバレーボール連盟登録チーム150以上が、一同に安曇野市に集い、プロリーグとの優勝を目指し、チーム同士の親睦を深めることを目的とする。	監督1名、副監督1名、マネージャー1名、プレーヤー12名以内とする。リーグ戦(フットボール方式)とし決勝戦を行う。	-	-	-	標準第3条第2項より可
43	R1.7.22	スポーツ推進担当	2019 ダブルス・チームカップ	会長 西村 誠夫	長野県卓球連盟(主管)安曇野卓球連盟	後援	安曇野市で開催するスポーツ振興事業として必要	7月22日	令和元年9月22日(日)	-	-	-	月 日	安曇野市総合体育館	長野県卓球連盟からの依頼を受け実施。ダブルス団体戦を行い、チーム間の交流と選手の技術向上を図る。	3チームまたは4チームによる第一次リーグ戦の後、各ブロック同一順位同士による決勝トーナメントを行う。参加予定数、約50チーム(200人) 参加料:ダブルス1チーム4,000円	-	-	-	標準第3条第2項より可
45	R1.8.1	社会教育担当	小学生プログラミング教育体験ワークショップ	宮澤 理 絵	学校法人 信学会	後援	より多くの皆さんにプログラミング教育を知ってもらいたい	7月28日	令和元年10月26日(土)	-	-	-	月 日	信学会イオン豊科校舎	プログラミング教育促進のため	ロボットをつくって実際に動かすことで、未来につながる自由な発想の第一歩を体験する講座	-	-	-	標準第3条第2項より可
50	R1.8.5	社会教育担当	大正琴発表会「安曇野うぶごえコンサート」	会長 高嶋しげ子	セレナ琴会	後援	初めての発表会なので不安なため、大勢に来ていただき信頼度アップし、て広範囲な場所に掲示したい	8月5日	令和元年11月3日(日)	-	-	-	月 日	穂高交流学習センター「みらい」	2年間の練習成果を発表し大正琴の魅力を大勢の方に知っていただき、高齢者の頑張っている姿をみていただきたい	大正琴の発表	-	-	-	標準第3条第2項より可
51	R1.8.7	スポーツ推進担当	第14回安曇野市民親睦ゴルフ三郷大会	会長 中村 秀朗	安曇野市みさとゴルフクラブ	共催	市民の体力向上を図るための事業であるため。	8月5日	令和元年9月24日	-	-	-	月 日	穂高カントリークラブ	安曇野市住民のゴルフによる健康増進と市民の親睦を図る。	競技方法:18ホールストロークプレー競技、順位は新ベリア方式により決定する。参加予定人数:120名 プレー代:10,850円 参加料:1人2,500円	-	-	-	標準第3条第2項より可



教育部 文化課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 27	H 28	H 29	所管課意見
46	令和元年7月30日	文化	スズキ・ソノード 松本支部ハーモニー コンサート	スズキ・ソノード松本支部 支部長 井上博文	スズキ・ソノード松本支部	後援	安曇野市内で広く周知するため	7月26日	令和2年4月26日(日)					ザ・ハーモニーホール メインホール	安曇野市を含む松本平在住の スズキ・ソノードで学ぶ子ども達 によるバイオリン、チェロ、ピアノの 成果発表会	バイオリン、チェロ、ピアノ/各科 による演奏の他協奏曲等 数曲を演奏予定。入場料: 無料				基準 第3 条第 2項 により可
48	令和元年8月5日	文化	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 第45回全国大会 (安曇野)大会	高木秀彰 会 高木秀彰	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	共催	市町村合併や地域の過疎化・高齢化などにより、全国各地で地域資料の保存体制は危機的状況に直面している。その中、長野県において安曇野市に代表されるように市町村立の公文書館施設が数多く進んでいる。そこで安曇野市の協力を得て、長野県下の取り組みを全国に紹介したい。	7月31日	令和元年11月14日(木)～11月15日(金)					会場: 安曇野市豊科公民館 会場: 安曇野市文書館、安曇野市豊科郷土博物館、眞摺民記念館、松本市文書館	文書館をつくる～市町村が拓くアーカイブズ活動～とい うテーマで松本市文書館、安曇野市文書館、他施設の視察後、加藤丈夫氏(国立公文書館)の公開講演会、アーカイブズ入門、市町村における公文書館等についての研修会、大会テーマ研究会等を2日間にわたり開催する。資料代(会員)1,000円(非会員)2,000円、出 展料:1企業あたり20,000円				基準 第3 条第 2項 により可	
49	令和元年8月5日	文化	「学舎2000」創立20周年記念コンサート	学舎2000 学舎2000	「学舎(まなびや)2000」の職員が学校職員であり、行事内容が教育的文化的であることから広く周知したい。	後援		8月5日	令和元年12月7日(土)					穂高交流センターホール	県内出身の著名な音楽家(クラリネット奏者、ソプラノ歌手、ピアノリスト)による質の高い演奏に接し、教養と見識を高める。	倉科有紀氏(ソプラノ)、香山俊介氏(クラリネット)、塚本敦子氏(ピアノ)によるコンサートを開催する。シューベルト作曲野バラ等を演奏する。入場料:無料				基準 第3 条第 2項 により可

<b>議案第4号</b>	教育部 学校教育課
令和元年8月19日提出	(課長) 平林 洋一 (担当係長) 太田 雅史

タイトル	平成30年度安曇野市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書案について
決定を要する事項の内容	点検・評価報告書案の承認
要旨	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、すべての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市ホームページで公表することとされている。</p> <p>今般、3名の学識経験者による評価を経て、報告書案をまとめた。</p>
説明	<p>安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について</p> <p>1 目的</p> <p>安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)</p> <p>第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p> </div> <p>2 点検評価の対象事務事業</p> <p>第2次安曇野市総合計画 基本構想 前期基本計画 [平成30年度～令和4年度] に位置付けられた重点施策に関連する事務事業を対象としました。</p> <p>3 学識経験を有する者の知見の活用</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者として、以下の方を委嘱しました。</p> <p>○安曇野市社会教育委員 細田 利章 氏          ○前安曇野市社会教育委員 平田 米子 氏          ○前安曇野市立豊科南小学校長 筒井 年恵 氏</p> <p>学識経験者からは、令和元年8月8日（木）に、点検・評価対象事務事業の担当課長・担当者から説明を受け、質疑応答を行った上で、各事務事業に対するご意見、ご提言等をいただきました。</p> <p>4 報告書案          別冊のとおり</p>

平成30年度

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

安曇野市教育委員会

## 安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

### 1 目的

安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施したものです。

#### (参考)

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検評価の対象

第2次安曇野市総合計画 基本構想 前期基本計画 [平成30年度～令和4年度] に位置付けられた重点施策に関連する30事務事業において、平成30年度に実施した事務事業を点検評価の対象としました。

### 3 自己評価の基準

自己評価の基準については、概ね下記の基準によります。

評価区分	評価にあたっての考え方
A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	一定の成果は上がっているものの、課題もあり、改善の必要がある
D	十分な成果が上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

### 4 点検・評価にあたり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者として、以下の方を委嘱しました。

安曇野市社会教育委員                      細田 利章 氏  
前安曇野市社会教育委員                      平田 米子 氏  
前安曇野市立豊科南小学校長                      筒井 年恵 氏

平成 30 年度 安曇野市教育委員会事務事業点検・評価項目一覧

第 2 次安曇野市総合計画 前期基本計画との関係	事務 事業 No	頁	評価対象事務事業	所管課	自己評価	
					H30	H29
基本目標 5 学び合い 人と文化を育むまち  5-1 子どもが健やかに育つまち 5-1-1 学校教育の充実 5-1-2 青少年の	1	3	いじめ・不登校対策事業	学校教育課	B	B
	2	4	教育支援センター運営事業	学校教育課	B	B
	3	6	就学相談事業	学校教育課	C	C
	4	7	教育指導員・教育相談員の配置	学校教育課	A	A
	5	8	学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	学校教育課	A	A
	6	10	学校 ICT 事業の推進	学校教育課	B	B
	7	12	英語教育の推進事業	学校教育課	C	C
	8	13	コミュニティスクール事業	学校教育課	C	C
	9	14	中学生議会事業	学校教育課	B	B
	10	15	指導主事「授業支援」事業	学校教育課	B	B
	11	16	入学準備金貸付制度	学校教育課	C	C
	12	17	学校安全対策事業	学校教育課	B	B
	13	18	小・中学校施設改修事業	学校教育課	B	B
	14	19	給食事業	学校教育課	B	B
	15	20	青少年健全育成事業	生涯学習課	B	B
	16	21	生涯学習講座実施事業	生涯学習課	B	B
	17	22	社会教育団体支援事業	生涯学習課	C	C
	18	23	放課後・家庭教育推進事業	生涯学習課	B	C
	19	24	児童館運営事業	生涯学習課	C	C
	20	25	中央公民館事業	生涯学習課	B	B
	21	27	交流学习センター等事業	文化課	B	B
	22	28	図書館活動の推進事業	文化課	B	B
基本目標 1 いきいきと健康に暮らせるまち 1-2 一人ひとりが大切にされるまち 1-2-4 人権の尊重	23	30	人権教育推進事業	生涯学習課	B	B
	24	31	人権啓発事業(安曇野市 1/2 成人記念事業)	生涯学習課	C	A
基本目標 5 学び合い 人と文化を育むまち 5-2 生涯を通じて学び合うまち 5-1-2 スポーツ活動の充実	25	32	体育団体等支援事業	生涯学習課	C	C
	26	33	スポーツ振興事業(スポーツ教室等開催事業)	生涯学習課	B	B
基本目標 5 学び合い 人と文化を育むまち  5-3 文化を創り育むまち 5-3-1 芸術文化活動の推進	27	34	文化芸術振興事業	文化課	B	B
	28	35	諸団体との協働事業	文化課	B	B
	29	37	財政支援団体への補助	文化課	B	B
	30	38	博物館・美術館等の管理運営	文化課	B	B
■学識経験者による個別の事務事業に対する意見、提言等	-	39				

事務事業	No.1	事務事業名： いじめ・不登校対策事業	H30 年度決算額	14 千円
事業の目的	いじめ・不登校の克服に向けて、学校・地域・関係機関が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応を行う。			
事業内容	いじめ不登校問題対策連絡協議会において、児童、生徒のいじめ・不登校等の調査及び指導方法や発生防止の研究を行う。			
達成状況	<p>1 協議会委員構成(任期2年)</p> <p>教育長 1名 福祉関係者 2名 警察関係者 1名 PTA関係者 1名 教育関係者 6名 行政関係者 2名 学識経験者 1名 計14名</p> <p>2 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会(いじめ防止対策推進法制定により、前いじめ等対策委員会を発展的解消し設置) 開催：2回</li> </ul> <p>3 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び地域におけるいじめ等の状況に関すること</li> <li>・学校、地域、関係機関等によるいじめ等の防止の取り組みに関すること</li> <li>・上記の他、いじめ等の防止に関すること</li> </ul> <p>4 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市の状況、関係機関における協力方法や対応可能なことについての情報共有や意見交換をすることができた。</li> </ul>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校の問題は全国的な課題であり、学校教育においても重要事項である。これらの対応や解決は、学校だけでは時に困難であり、各機関の連携が必要不可欠となる。定期的に各機関の代表が集まり、情報共有と意見交換を行うことは即時対応が必要となる際の早さにも重要なため、継続していく。</li> <li>・いじめ・不登校の定義を再確認、周知徹底を図り、未然防止・早期対応の観点から、各機関との更なる連携の強化を目指す。</li> </ul>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.2	事務事業名： 教育支援センター運営事業	H30 年度決算額	8,959 千円																								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の児童生徒を対象に、学校復帰に向けての指導及び援助を行なう。</li> <li>・学校生活等で課題、困難を抱える子ども達や保護者、学校関係者を支援する。</li> </ul>																											
事業内容	<p>安曇野市教育支援センター設置条例に基づき、教育支援センター内に適応指導教室と教育相談室を設置している。</p> <p>適応指導教室は不登校児童生徒の学校復帰に向けた適応指導・学習支援等を行う。教育相談室は不登校、引きこもり、発達障がい、学校生活、進路、子育て全般、しつけ等についての教育相談活動を実施している。</p>																											
達成状況	<p>【適応指導教室】</p> <p>5カ年の在籍児童生徒数の推移（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>年度計</td> <td>24</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の正式通室者21名のうち、8名が完全に学校復帰。適応指導教室を併用しながらの学校復帰者が7名。半数以上は適応指導教室で精神的に力をつけ、自己肯定感を高め、エネルギーを溜めることができたことと評価できる。</li> <li>・不登校および不適応傾向の児童生徒の一時的な適応機関としての機能が学校及び保護者に認められ、不登校等児童生徒への指導の選択肢として定着しつつある。</li> <li>・福祉課子ども発達支援相談室職員に入室してもらい、専門的観点から助言を受けることで定期的な指導の見返しも行っている。</li> </ul> <p>【教育相談事業】</p> <p>「安曇野市における教育相談体制の整備と強化を図るとともに、地域における関係機関、関係団体との連携、共同体制を構築していく」ことを重点とし、時代のニーズに応じた運営を目指してきた。</p> <p>＜連携してきた関係機関、団体＞</p> <p>小中学校・特別支援教育コーディネーター連絡会・家庭児童相談室・子ども発達支援相談室・特別支援学校教育相談員・適応指導教室・就学相談調査員・障がい者総合支援センターあるぷ・その他</p> <p>※教育相談室の支援だけでは効果が不十分と考えられる場合、相談者の了解や要請により、上記関係機関、団体と連携して相談業務を行った。「チーム支援」の意識を深めるとともに、新たな視点や発想の基で、課題解決に向けた取り組みが可能となってきた。</p> <p>＜教育相談の状況＞</p> <p>(1) 相談・入室者実人数 281人</p>				年度	H26	H27	H28	H29	H30	小学生	6	11	14	13	11	中学生	18	23	19	14	10	年度計	24	34	33	27	21
年度	H26	H27	H28	H29	H30																							
小学生	6	11	14	13	11																							
中学生	18	23	19	14	10																							
年度計	24	34	33	27	21																							

	<p>(2) 相談方法別相談件数(面談1回で複数人の面談を行なう場合あり) 来室による面談167件、電話相談41件、学校訪問73件</p> <p>(3) 相談対象者の年齢別相談回数(実質的な相談件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>36</td> <td>小学生</td> <td>199</td> <td>中学生</td> <td>40</td> <td>高校生</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0</td> <td>教師</td> <td>1</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>281</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 相談の主訴(1件の相談に関して複数の主訴あり) 性格行動258件、不登校75件、いじめ3件、発達障がい41件、知的障がい18件、心身症13件、学校・学級経営44件、学校生活・園生活266件 ※27年度から、学校や保護者の要請により心理発達検査(WISC-IV)も実施。その結果を基に、学校職員や保護者等に説明の機会を持つようにしたことで、指導・支援の具体的な内容や方法、家庭生活でのわが子への具体的な接し方、子育てのポイント等を共有して実践することに繋がっている。子ども支援課とも連携して、認定子ども園の園長や保育士に対し、WISC検査実施を通して園児への支援方法についての助言も実施。</p>	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	乳幼児	36	小学生	199	中学生	40	高校生	5	保護者	0	教師	1	その他	0	合計	281
来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数																		
乳幼児	36	小学生	199	中学生	40	高校生	5																		
保護者	0	教師	1	その他	0	合計	281																		
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーターと情報共有を図り、子どもの在籍校と、各校関係者との連携、関係機関との連携構築を更に進める。</li> <li>・今後は、支援を要する子どもに対する一貫した継続的支援体制が増々問われる。</li> <li>・課題は、部局を超えた連携支援が必須であるという共通認識のもと、更なる共同体制の構築に資していくことにある。(例：就園前、就園時から小学校入学後への移行支援、中学卒業後の支援の充実→福祉部、保健医療部、教育部などの連携が必要)</li> </ul>																								
自己評価	B																								

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



事務事業	No.3	事務事業名： 就学相談事業	H30 年度決算額	2,228 千円																																		
事業の目的	安曇野市心身障がい児就学相談委員会では、知的障がい、その他心身障がいの疑いのある児童等の調査、審査（入級、退級についての審査）および就学の相談を行う。																																					
事業内容	1 安曇野市心身障がい児就学相談委員会（委員 18 名） 年 3 回開催 2 5 地区別就学相談小委員会（小委員のべ数 71 名）年間 15 回開催 3 小委員会に向け資料作成のため、調査員が幼稚園、認定こども園にて観察と相談（観察園児のべ数 153 名）年 2 回実施 4 平成 29 年度就学相談を受け平成 30 年度小中学校 1 年に入学した児童生徒の経過観察（小 1 児童 71 名、中 1 生徒 43 名、計 114 名）年 1 回実施																																					
達成状況	(判定数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="3">判定結果</th> <th rowspan="2">判定と異なる就学者</th> </tr> <tr> <th>通常学級</th> <th>特別支援学級</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>64</td> <td>19</td> <td>39</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>108</td> <td>5</td> <td>98</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>187</td> <td>26</td> <td>150</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					対象者	人数	判定結果			判定と異なる就学者	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	幼児	64	19	39	6	0	児童	108	5	98	5	0	生徒	15	2	13	0	0	計	187	26	150	11	0
対象者	人数	判定結果			判定と異なる就学者																																	
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校																																		
幼児	64	19	39	6	0																																	
児童	108	5	98	5	0																																	
生徒	15	2	13	0	0																																	
計	187	26	150	11	0																																	
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学判定数が平成 29 年度より 23 名増となっている。今後、早期スタートで年中からの相談も増えることが予想される。委員会前後の事務量や調査員の相談業務量の増加が著しく、相談日調整が難しい。</li> <li>・園児の就学相談の早期スタートが必要である。昨年より子ども発達相談室を中心に年中児のスクリーニングを開始し、福祉課・健康推進課・子ども支援課・学校教育課などが、それぞれに受け持つことを、今できる連携の中で最善を尽くしてきているが、さらに日常的な連携のための根本的な見直しを要望していきたい。</li> </ul>																																					
自己評価	C																																					

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.4	事務事業名： 教育指導員・教育相談員の配置	H30 年度決算額	— 千円
事業の目的	各学校における学力・体力向上をはかると共に教育相談に対応し、安定した学校運営が行えるようにする。			
事業内容	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 (2) 学力・体力向上にむけての取組 (3) 就学相談 (4) 教育相談 (職員体制：教育指導員 3名 教育相談員 1名)			
達成状況	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 ① 学校と教育指導員との懇談会 4、5月に実施。 市内 17 校 ② 保護者や学校の相談対応 ③ 福祉課、子ども支援課等との連携担当者会議を実施 週 1 回 (2) 学力・体力向上に向けての取組 ① 安曇野市学力・体力 4 ヶ年計画の実施 (27 年度～30 年度) ② 組織及び運営 ア 学力向上推進委員会 ・ 全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察し、報告書にまとめると共に、次年度へ向けた授業改善にかかわる提言をした。 イ 体力向上推進委員会 ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や、新体力テストの結果を分析し、公表すると共に、体力向上にむけた実践を公表するとともに、体づくり、運動遊びの研修として、長野県版運動プログラム普及事業の実施。各学校に訪問し、体づくり・運動遊びや日常の運動などについて支援。 ウ 部活動運営委員会 ・ スクールサポート事業として、健全な部活動のあり方について検討、各校の課題解決に向けて支援。 (3) 就学相談 ① 心身障がい児就学相談委員会 ・ 小中学校入学及び在学中の児童生徒に関わる、適切な就学の検討。 (4) 教育相談 教育支援センター教育相談室での教育相談に対応。			
事業の課題及び方向性	・ 学力・体力向上については、4 ヶ年計画の最終年として「実践と評価・考察」に取り組み、実践評価考察と共に安曇野市の特徴や今後の実践課題を整理した。 ・ 就学支援および教育相談については、児童生徒の観察、保護者の意向などを確実に捉え、学校や各機関との連携を図りながら対応していく。			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.5	事務事業名： 学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	H30 年度決算額	142,355 千円																																														
事業の目的	障がい等により特別な支援を要する児童・生徒の、よりよい学校生活を送るための加配職員を配置し、学習や学校生活の支援を行う。また、障がい児等指導の専門職を各校に派遣し、指導方法の相談・助言を行い健やかな成長を支援する。																																																	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要望と実態等を鑑み、各種支援員等の配置。</li> <li>・不登校対策として、各校巡回のスクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター、スクールカウンセラーを派遣。相談事業充実のため、障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）を派遣。</li> </ul>																																																	
達成状況	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児支援員は、特別支援学級や普通学級の仲間と行う授業等活動時に、特に学級内の人間関係面支援とその児童生徒の特性に応じた支援を行う。子どもが安定して活動に参加し、自己実現の経験が数多くできるよう努め、支援を要する児童生徒と周囲の集団の生活安定に大きく寄与している。</li> <li>・各校配置の中間教室支援員他、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター及び市適応指導教室等、不登校支援に携わる職員が不登校傾向の子どもの支援の中核となり、関係機関と連携して登校に繋げる活動を行っている。</li> </ul> <p>【配置・派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職 名</th> <th>延べ人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">賃金</td> <td>医療支援員（看護師）</td> <td>1</td> <td>（小学校）</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援員</td> <td>19</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学級支援員</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習向上支援員</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間教室支援員</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小中連携不登校支援員</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター</td> <td>2</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>66</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">謝礼</td> <td>スクールカウンセラー</td> <td>7</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>障がい児等指導相談員</td> <td>3</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>放課後学習指導室支援員</td> <td>39</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>49</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>115</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○スクールソーシャルワーカー、登校支援コーディネーター活動のべ件数  面談 180 件、家庭訪問 58 件、登校支援 130 件、日中活動支援 955 件、  支援会議 223 件、その他 323 件 <span style="float: right;">合計 1,869 件</span></p>					職 名	延べ人数	備 考	賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）	障がい児支援員	19		特別支援学級支援員	20		学習向上支援員	7		中間教室支援員	14		小中連携不登校支援員	3		スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）	小計	66		謝礼	スクールカウンセラー	7	（巡回型）	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）	放課後学習指導室支援員	39		小計	49			合計	115	
	職 名	延べ人数	備 考																																															
賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）																																															
	障がい児支援員	19																																																
	特別支援学級支援員	20																																																
	学習向上支援員	7																																																
	中間教室支援員	14																																																
	小中連携不登校支援員	3																																																
	スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）																																															
	小計	66																																																
謝礼	スクールカウンセラー	7	（巡回型）																																															
	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）																																															
	放課後学習指導室支援員	39																																																
	小計	49																																																
	合計	115																																																

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を抱えている児童生徒が増加している中、障害者差別解消法を受け、合理的配慮が求められている。そのためには支援を行う職員配置について、より切実な要望と支援員の重要性が増している。</li> <li>・このことから、当事業は継続することと共に、保護者の要望からも一層の充実を図っていかなくてはならない。</li> </ul>
自己評価	A

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.6	事務事業名： 学校 ICT 事業の推進	H30 年度決算額	103,507 千円
事業の目的	<p>情報化の進む社会において必需品であるパソコン等に等しく触れる機会を設けるとともに、どの児童・生徒にとっても理解しやすい授業となるよう ICT 機器を活用し、子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。</p> <p>慢性的に飽和状態にある教員の業務について、ICT の活用で校務事務の効率化を図り、授業や子供たちと向き合う時間を創出できる環境を整備する。</p>			
事業内容	<p>教育用・校務用のパソコン等の情報機器について、セキュリティを考慮しながら、見直しも含めた更新・整備を行う。</p> <p>新学習指導要領に適合した授業の推進を支援するため、文部科学省が示す「第 2 期教育振興基本計画」に基づいた情報機器の導入を行う。</p> <p>校務支援システムの導入と積極的活用により、教員の事務処理に係る負担軽減を図り、授業の質の向上への側面的支援を行う。</p>			
達成状況	<p>平成 30 年度は穂高地域の小・中学校 5 校について、情報機器の更新を行った。従来からの大きな転換として、パソコン教室へタブレット兼用の機種を導入した。合わせて ICT 環境の整備に重要な学校内ネットワークの見直しを行い、セキュリティの強化を図った。</p> <p>今後、更新時期を迎える学校について、学習用パソコンはタブレット型を想定した仕様とし、校務用のパソコンにおいてはコストパフォーマンスに配慮しながら、なるべく快適な操作環境を確保できる仕様により調達する。同時に学校内ネットワークの再構築を行う。</p> <p>平成 29 年度に「第 2 期教育振興基本計画」の整備目標の機器の 1 つである電子黒板を市内中学校に一斉導入（126 台）を行っており、その後の授業における使用状況の確認・検証を行い、その活用度を高める中で、小学校への早期導入を行っていく。</p> <p>【センターサーバ設置】 平成 27～28 年度に実施済（次更新は令和 2 年度～）</p> <p>グループウェア・校務管理サーバ、資産管理サーバ、 教育用ファイルサーバ、管理サーバ、フィルタリングサーバ</p> <p>【各小中学校パソコン等更新】</p> <p>平成 30 年度 穂高地域 5 校 （穂高南小・穂高西小・穂高北小・穂高東中・穂高西中）</p> <p>令和元年度 豊科・三郷地域 7 校 （豊科南小・豊科北小・豊科東小・豊科南中・豊科北中 三郷小・三郷中）</p> <p>【図書館システム】 平成 26 年度に実施済（次更新は令和元年度） 蔵書管理、貸出・返却処理</p> <p>【電子黒板】 平成 29 年度 電子黒板 126 台導入 中学校の普通教室他 平成 30～令和元年度は検証期間とし、結果を待って小学校への導入を計画</p>			

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板と校務支援システムの導入を小学校から強く要望されている。新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、タブレット端末等の整備も推進する必要がある。</li> <li>・校務支援システムは県の共同調達により統一仕様の導入が可能になる。計画的に導入するため、情報機器に精通した職員の育成が必要である。</li> </ul>	
自己評価	B	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.7	事務事業名： 英語教育の推進事業	H30 年度決算額	70,535 千円
事業の目的	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、国際感覚を養うと共に、英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童・生徒を育成する。			
事業内容	中学生海外ホームステイ交流派遣事業や中学校英語課外授業を実施するほか、中学校 7 校に 1 名ずつの外国人 ALT と小学校の外国語活動において外国人 ALT 4 名と日本人外国語教育コーディネーター 3 人を配置し、英語教育の推進を図る。			
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生海外ホームステイ交流派遣事業 本事業も 5 回目となり、平成 30 年度事業においても市内中学校 2 年生に募集を行い、14 人の参加生徒に対し 52 人の応募があった。 選考された参加生徒は、3 回のオリエンテーション、6 回の英会話レッスンを受講しホームステイに臨んだ。現地での貴重な体験は、令和元年 5 月 26 日開催の帰国報告会で多くの来場者へ発表され、頼もしい中学生の姿を見ていただくことができた。 派遣期間：平成 31 年 3 月 16 日（土）から 3 月 25 日（月）までの 10 日間 派遣先：オーストラリア メルボルン</li> <li>・中学校英語課外授業 市内中学校 7 校で放課後を活用して実施している。授業は原則的に全て英語による実践的な英会話授業で、「英会話がもっと上達したい」「外国人と日常会話ができるようになりたい」と思う生徒が、ALT、参加生徒と英語でコミュニケーションを取ることで、英語の楽しさを実感できる課外授業となっている。 平成 30 年度参加生徒数：77 人</li> <li>・外国語指導助手派遣事業 小学校、中学校へ ALT を派遣し、英語授業におけるチームティーチングや英語に触れる機会は、子ども達の国際的視野の育成やコミュニケーション能力の素地を養い、英語教育の推進に繋がっている。</li> </ul>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語課外授業は、参加希望者の多さから、1 クラスあたりの生徒数の見直しを行い、平成 30 年度から 12 人としたが、学校による希望者の数に差も見られ、一部の学校では定員割れを起こしている。</li> <li>・中学生海外ホームステイ交流派遣事業は民間企業による類似事業が展開されていることから、事業内容の見直しを検討する時期にきている。</li> </ul>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.8	事務事業名： コミュニティスクール事業	H30 年度決算額	7,659 千円																				
事業の目的	子どもたちの育成環境の充実に向け、学校と家庭さらに地域の人々と連携を図り、開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地域住民が多様な形態で学校教育を支援し、大人との関りを通じて「生きる力」を育む。																							
事業内容	地域の方々が学校支援ボランティアとして、学校が必要とする支援活動に参加するほか、立志塾の開催、各地域における地域教育協議会においては、学校運営等の協議を行い地域と学校が共通理解を図る。																							
達成状況	<p>学校支援ボランティアの活動</p> <p>平成 30 年度の市内全小中学校のコミュニティスクール事業の申請件数（部活動外部指導者申請を含む）は 245 件で、昨年度より 22 件増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度申請件数</th> <th>平成 30 年度申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習支援活動 85 件</td> <td>学習支援活動 91 件</td> </tr> <tr> <td>総合的な学習支援活動 45 件</td> <td>総合的な学習支援活動 42 件</td> </tr> <tr> <td>読書支援活動 19 件</td> <td>読書支援活動 20 件</td> </tr> <tr> <td>子ども安全支援活動 11 件</td> <td>子ども安全支援活動 10 件</td> </tr> <tr> <td>環境整備支援活動 6 件</td> <td>環境整備支援活動 7 件</td> </tr> <tr> <td>外国籍児童生徒支援活動 6 件</td> <td>外国籍児童生徒支援活動 8 件</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援活動 2 件</td> <td>障がい児支援活動 4 件</td> </tr> <tr> <td>部活動支援活動（外部講師）48 件</td> <td>部活動支援活動（外部講師）62 件</td> </tr> <tr> <td>課外活動支援活動 1 件</td> <td>課外活動支援活動 1 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>立志塾の開催</p> <p>市内各中学校では、安曇野の中学生のよりよい育ちに向け、子どもたちの心に火をつけ、高き志を培うことを目標に、学社連携の取り組みとして、各学校に講師を招き開催している。</p> <p>平成 30 年度開催学校：7 校 開催回数：17 件</p>				平成 29 年度申請件数	平成 30 年度申請件数	学習支援活動 85 件	学習支援活動 91 件	総合的な学習支援活動 45 件	総合的な学習支援活動 42 件	読書支援活動 19 件	読書支援活動 20 件	子ども安全支援活動 11 件	子ども安全支援活動 10 件	環境整備支援活動 6 件	環境整備支援活動 7 件	外国籍児童生徒支援活動 6 件	外国籍児童生徒支援活動 8 件	障がい児支援活動 2 件	障がい児支援活動 4 件	部活動支援活動（外部講師）48 件	部活動支援活動（外部講師）62 件	課外活動支援活動 1 件	課外活動支援活動 1 件
平成 29 年度申請件数	平成 30 年度申請件数																							
学習支援活動 85 件	学習支援活動 91 件																							
総合的な学習支援活動 45 件	総合的な学習支援活動 42 件																							
読書支援活動 19 件	読書支援活動 20 件																							
子ども安全支援活動 11 件	子ども安全支援活動 10 件																							
環境整備支援活動 6 件	環境整備支援活動 7 件																							
外国籍児童生徒支援活動 6 件	外国籍児童生徒支援活動 8 件																							
障がい児支援活動 2 件	障がい児支援活動 4 件																							
部活動支援活動（外部講師）48 件	部活動支援活動（外部講師）62 件																							
課外活動支援活動 1 件	課外活動支援活動 1 件																							
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安曇野市コミュニティスクール事業（ACS）」となってから 2 年経過した。これまでの組織体制の問題を洗い出し、見直しをしていく必要がある。</li> <li>・国のコミュニティスクールの動向を注視しながら、今後の在り方を検討する。他の多くの自治体で行われているボランティアへの謝礼の無償化なども参考に進めていく。</li> </ul>																							
自己評価	C																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



事務事業	No.9	事務事業名： 中学生議会事業	H30 年度決算額	40 千円
事業の目的	中学生の目線による斬新な発想やアイデアを今後の協働のまちづくり推進に活かすとともに、中学生が主権者の立場で政治への関心を高められるようにする。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各中学校（7校）2年生から、計19人を中学生議員として委嘱する。</li> <li>・全3回の学習会で、市政について市職員から学習する。</li> <li>・提言型の質問書を作成し、中学生議会当日発表する。</li> </ul>			
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会の実施 第1回学習会では、市政全般についての説明を受け、議員の方のお話を聴いた。また、目指す安曇野市像を視覚化するために、グループ内でウェビングマップを作成し、全体で発表した。 グループは6つに分かれて実施（グループ名は総合計画と揃える）。 （1）穏やかに暮らせるまち（2）安全・安心・快適なまち （3）豊かな産業のあるまち（4）人と文化を育むまち （5）協働によるまちづくり（6）環境にやさしいまち 第2回、第3回学習会では、市の12部42課の方から市政について深く説明を聞く機会を設けた。</li> <li>・質問書の作成 各中学校の担当教諭のご指導のもと、質問書を作成した。</li> <li>・傍聴を増やすための取組 ○議会当日にパブリックビューイングとして、大会議場にて中継による傍聴を可能にした。 ○支所や図書館などに、中学生議会のポスターの掲示依頼。 →30年度の傍聴数は66名（昨年度74名、一昨年度73名）。</li> <li>・議会当日の進行について 部長等の答弁を受けて、中学生議員が「自分にできること」をひとこと添えた。一方通行のやり取りではなく対話的に行えるよう配慮した。</li> </ul>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員以外の生徒にも議会への興味・関心を高めてもらうために、追求課題についての意識調査等のアンケートを自校で実施する。追求活動がしやすいように、学校単位で課題を選択し、チームで追求する。</li> <li>・休日の学習会を1回にして追求の活動時間を確保する。そのために追求課題は各部局から提案してもらう。</li> </ul>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.10	事務事業名： 指導主事「授業支援」事業	H30 年度決算額	一 千円																																										
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野の教育大綱と学力体力向上4カ年計画を実現する。</li> <li>・新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員の資質能力向上を図る。</li> </ul>																																													
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校 17 校への授業づくり支援</li> <li>・研究グループ（部会）への参加、支援</li> <li>・指導主事通信を発行し、先生方や児童生徒のよい姿をとらえ、広めていく。</li> </ul>																																													
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できる限り学校へ足を運ぶこと」を心がけ、156 回訪問した。そのうち、学校からの訪問要請は 93 回で、日々の授業づくりをする機会を頂いた。</li> <li>・30 年度はイングリッシュデイを全小学校で開催した。数多くの英語の授業を参観し、先生方と共に小学校英語の授業について考えた。</li> <li>・学校の全体研修会に招かれ、全学級を参観したり、全体場で説明したりする機会もいただき、「主体的・対話的で深い学び」への啓発をすることができた。</li> <li>・学級づくりや児童生徒指導にかかわる支援要請も多く、日々学校のニーズに応えられる支援を目指し先生方と共に児童生徒の指導をする機会もいただいた。</li> </ul> <p>支援内容の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">学校訪問総数</th> <th colspan="4">学校訪問の内訳</th> </tr> <tr> <th></th> <th>訪問回数</th> <th>昨年度</th> <th>授業参観</th> <th>昨年度</th> <th>授業づくり支援</th> <th>昨年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>100</td> <td>68</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>56</td> <td>67</td> <td>27</td> <td>44</td> <td>29</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>156</td> <td>135</td> <td>77</td> <td>97</td> <td>79</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>校外</td> <td>21</td> <td>6</td> <td colspan="2">※上記の内、学校から要請数 →93</td> <td></td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師主導型の授業が減り、児童生徒が主体的に学習を進める場面が増えた。</li> </ul>				学校訪問総数			学校訪問の内訳					訪問回数	昨年度	授業参観	昨年度	授業づくり支援	昨年度	小学校	100	68	50	53	50	15	中学校	56	67	27	44	29	23	合計	156	135	77	97	79	38	校外	21	6	※上記の内、学校から要請数 →93			77
学校訪問総数			学校訪問の内訳																																											
	訪問回数	昨年度	授業参観	昨年度	授業づくり支援	昨年度																																								
小学校	100	68	50	53	50	15																																								
中学校	56	67	27	44	29	23																																								
合計	156	135	77	97	79	38																																								
校外	21	6	※上記の内、学校から要請数 →93			77																																								
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事の引き上げに伴い、指導主事による学校訪問支援から、教育指導員や教育相談員による「学級づくり・授業づくりサポート事業」に切り替えていく。</li> <li>・学校からの要請に応じて、教職経験及び専門的知識の豊富なスタッフが支援にあたる。要請内容によっては、市教育委員会の他課他部署や外部につないで、サポートする人を紹介していく。</li> </ul>																																													
自己評価	B																																													

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.11	事務事業名： 入学準備金貸付制度	H30 年度決算額	1,150 千円																									
事業の目的	未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」を創設し、平成 28 年 11 月から運用を開始した。																												
事業内容	平成 31 年 4 月に高等学校又は大学等への入学を希望する生徒の保護者で、入学に要する費用の支出が困難な方に対し、入学準備金の貸付けを無利子で行う。																												
達成状況	<p>1. 貸付限度額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校種別等</th> <th>貸付限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高等学校・高等専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>10 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30 万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大学・短期大学・専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>40 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>60 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 要件</p> <p>(1) 高校・大学等に入学することが確実である進学希望者の保護者で安曇野市に住民票があり、かつ、現に市内に居住している方</p> <p>(2) 生計を一にする者の所得の合計額が基準額以下である方</p> <p>(3) 所得の合計額が基準額以上であっても、経済状況等が急変した方</p> <p>(4) 連帯保証人を立てられる方</p> <p>3. 返済方法 入学月の 4 月から返済が始まり、進学者の通常の修学期間内に完済</p> <p>4. 平成 30 年度利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公立高校</th> <th>私立高校</th> <th>公立専門学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>150,000 円</td> <td>600,000 円</td> <td>400,000 円</td> <td>1,150,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				学校種別等		貸付限度額	高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円	私立	30 万円	大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円	私立	60 万円	公立高校	私立高校	公立専門学校	計	2 件	2 件	1 件	5 件	150,000 円	600,000 円	400,000 円	1,150,000 円
学校種別等		貸付限度額																											
高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円																											
	私立	30 万円																											
大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円																											
	私立	60 万円																											
公立高校	私立高校	公立専門学校	計																										
2 件	2 件	1 件	5 件																										
150,000 円	600,000 円	400,000 円	1,150,000 円																										
事業の課題及び方向性	<p>・平成 30 年度は、夏休み前に中学校、高校等の生徒及び保護者への周知を図った。令和元年度も引き続き夏休み前の周知を行う。</p> <p>・平成 29 年度から返済が開始されているが、滞納となる世帯が出始めてきているので、一定期間経過した後、保護者や連帯保証人への催告を都度行っていき、面談を実施しながら、計画的な返済を促していく。</p>																												
自己評価	C																												

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.12	事務事業名： 学校安全対策事業	H30 年度決算額	3,105 千円
事業の目的	通学路、学校敷地内の安全確保に対する対策を実施する。			
事業内容	児童・生徒の安全確保のため、熊よけ鈴の配布、通学路安全マップの作成、スズメ蜂等の害虫駆除、学校緊急無線通報システム、学校安全連絡網メール配信システムの活用、通学路合同点検の実施等の各種対策を行う。			
達成状況	<p>(1) 熊よけ鈴の配布 小学校に対し希望数を調査し、予算の範囲内で購入・配布している。 平成 30 年度配布学校数：8 校（100 個）</p> <p>(2) 通学路安全マップの作成 通学路における危険箇所、注意箇所を記載した安全マップを関係機関及び地域に配布し、安全指導、見守り等の安全確保に活用していただくほか、市ホームページにも掲載し、一般の方が確認できるようにしている。</p> <p>(3) スズメ蜂等害虫駆除 学校敷地内のスズメ蜂の巣を専門業者に依頼し、駆除を行っている。 平成 30 年度実施件数：6 校 10 回</p> <p>(4) 学校緊急無線通報システム 学校内に不審者が侵入した場合や事故等があった場合、即座に職員室に連絡が取れる緊急無線通報システムを活用している。</p> <p>(5) 学校安全連絡網メール配信システム 安全連絡網メール配信システム（オクレンジャー）により、警察からの不審者情報をタイムリーに送信させていただくほか、緊急連絡網として活用している。平成 30 年度より市教育委員会からの発信することが可能になったため、学校の負担軽減に寄与した。</p> <p>(6) 通学路合同点検の実施 通学路の継続的な安全確保の取り組みとして「安曇野市通学路交通安全プログラム」を策定し、地区・PTA 要望としてご提出いただいた、通学路危険箇所を警察、道路管理者、学校、地域の方々と点検を行い、改善等の対応をしている。 また、学校教育課としても「通学路」標識等の修繕、設置工事を実施している。平成 30 年度設置枚数：10 ヲ所</p>			
事業の課題及び方向性	児童・生徒の安全確保については、関係機関等との連携を強化し、情報共有を行いながら推進していく。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.13	事務事業名： 小・中学校施設改修事業	H30 年度決算額	617,749 千円												
事業の目的	1. 学校教育法に基づき、小・中学校施設を整備する。 2. 国が示す耐震性能を確保し、安全な施設環境を提供する。 3. 老朽化した施設を改修し、健全な施設環境を提供する。															
事業内容	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 2. 校舎の長寿命化改良															
達成状況	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 災害発生時に避難所となる体育館等の天井等の落下防止対策工事を行い、防災機能を強化した。平成 30 年度は計画していた 4 箇所を施工した。 <table border="1" data-bbox="429 703 1394 952"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>工事請負費</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科北学校 体育館</td> <td>53,719,200 円</td> <td rowspan="4">           ・吊り天井撤去            ・高天井照明の耐震化            ・高天井照明の LED 化         </td> </tr> <tr> <td>穂高北小学校 体育館</td> <td>29,160,000 円</td> </tr> <tr> <td>穂高西小学校 体育館</td> <td>33,847,200 円</td> </tr> <tr> <td>穂高西中学校 講堂</td> <td>100,548,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				実施場所	工事請負費	主な内容	豊科北学校 体育館	53,719,200 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化	穂高北小学校 体育館	29,160,000 円	穂高西小学校 体育館	33,847,200 円	穂高西中学校 講堂	100,548,000 円
実施場所	工事請負費	主な内容														
豊科北学校 体育館	53,719,200 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化														
穂高北小学校 体育館	29,160,000 円															
穂高西小学校 体育館	33,847,200 円															
穂高西中学校 講堂	100,548,000 円															
事業の課題及び方向性	2. 校舎の長寿命化改良 構造体等の長寿命化による中長期的な維持管理等に係る経費縮減及び学校施設の機能・性能の向上を目的とした長寿命改良工事を平成 29 年度から引き続き穂高南小学校で実施した。なお、本工事の工期は令和 2 年度までの 4 年間の予定である。 ○穂高南小学校長寿命化改良工事（Ⅰ・Ⅱ期）工事請負費：329,000,000 円															
事業の課題及び方向性	体育館等の非構造部材耐震化工事については、学校の夏休みに工事が集中するなか、計画どおりに実施することができ、体育館の吊り天井の耐震化は平成 30 年度に完了予定で、照明器具の落下防止工事などの吊り天井以外の耐震化は令和 2 年度に完了予定である。 安曇野市内の小中学校 17 校のうち、令和元年度には 4 校が築 50 年を経過し、老朽対策が課題となっている。改築（建替え）に係る国の補助金等の支援が見込めないことから、長寿命化改良工事を活用して学校施設の老朽化対策を実施していく。															
自己評価	B															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

事務事業	No.14	事務事業名： 給食事業	H30 年度決算額	303,541 千円
事業の目的	安曇野市学校給食理念（目標）に基づき、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消及び食育の推進を図る。			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供</li> <li>2 食育への取り組みと地産地消の推進</li> <li>3 学校給食食材の安全確保の取り組み</li> <li>4 学校給食費の徴収及び食材費支払い</li> </ol>			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 日の給食提供食数 約 8,280 食</li> <li>・ 年間の給食提供食数 約 1,656,000 食</li> <li>・ アレルギー対応食提供者数 39 人</li> </ul> </li> <li>2 食育への取り組みと地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月 1 回「安曇野の日」を設定し、地元食材を使用した献立の提供により地産地消を推進（年 12 回、4 センター共通）</li> <li>・ 栄養教諭、栄養士等が学校訪問し、食育（栄養・食事のバランス・食の大切 さ等）の実施（市内 17 校）</li> <li>・ 給食だよりの発行（給食提供日全クラス数発行、4 センター共通）</li> </ul> </li> <li>3 学校給食食材の安全確保の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市独自の放射線測定の実施（H23. 11 月から） 全 315 食材（不検出）</li> <li>・ 県への学校給食食材放射性物質検査の依頼（H24. 4 月から各センター月 1 回） 全 38 食材（不検出）</li> </ul> </li> <li>4 学校給食費の徴収状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口座振替登録率 99.56%</li> <li>・ 給食費収納率 99.70%</li> </ul> </li> </ol>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稼働から 10 年以上を経過（北部センター除く）し、厨房設備・施設等の修繕費が増加している。また、食器の劣化が進み、入れ替えが必要である。</li> <li>・ 学校給食費の収納率向上に向けて対策を強化する。</li> <li>・ 安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できるように管理運営を実施する。併せて、地元食材の使用拡大を進め地産地消推進と栄養教諭等の学校訪問を積極的に進め、食育の推進を図る。</li> </ul>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.15	事務事業名： 青少年健全育成事業	H30 年度決算額	16,387 千円
事業の目的	青少年が心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての使命と役割に自覚をもって自立する力を育成する。			
事業内容	1 成人式実施事業      2 青少年健全育成環境整備事務 3 青少年体験事業      4 子ども会育成会支援事務			
達成状況	<p>1 成人式実施事業  (1) 期日 平成 31 年 1 月 13 日 (2) 対象者 1,091 人 (3) 参加者 783 人  (4) その他 記念品としてタンブラーと記念写真を贈り、式典後、中学生時代のフォトムービーを鑑賞しながら交流会を開催した。  三郷中合唱部による市歌斉唱を行った。</p> <p>2 青少年健全育成環境整備事務  (1) 青少年センターにおいて、広報・啓発、青少年相談、街頭巡回、社会環境浄化活動に取り組んだ。  (2) 啓発活動の一環として、KDD I 認定講師による講演会「スマホ・ケータイを安心安全に使うために」を開催した。  また、夏休み明けの青少年の悩みに対応するため、8 月 29 日、市内の小、中、高校の児童生徒全員に相談窓口周知のためチラシを配布した。</p> <p>3 青少年体験事業  (1) こども映画教室 7 回 延 173 人 映画製作を行い子ども文化祭で発表  (2) 親子体験ラボ 5 回 延 105 人 ハーバリウム、葉脈キーホルダー、勾玉、和風、手打ちうどん  (3) ジュニアリーダー養成講座 2 回 延 78 人 レクレーション講座、三九郎組立講座  (4) 子ども体験ショー 1 回 約 100 人 音楽に合わせて、体を動かして楽しめるコンサート  (5) 子ども文化祭 1 回 約 400 人 ステージ発表の部 10 団体  展示の部 5 団体</p> <p>4 子ども会育成会支援  (1) 地域での子ども達の自主的な活動を推進させ、また、地域育成会の活動の活発化を目的に子ども会育成会活動への補助を行った。  (2) 基本補助金（平等割、均等割）97 地区育成会（補助金：4,688,100 円）  (3) 活性化補助金 42 地区育成会（補助金：1,819,000 円）  (4) 安全共済会加入補助 7,906 人（補助金：1,196,210 円）</p>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民法改正による成年年齢引下げのため、令和 4 年度の成人式の対象者について検討していく必要がある。</li> <li>・体験事業に参加しやすくするため、講座やイベント等の情報をとりまとめ、内容や開催時期が重ならないよう調整するとともに、それらの情報提供を行っていく。</li> <li>・地域子ども会育成会の活動を活発にするため、活性化補助金の更なる活用に向けて周知を図るとともに利用地区数の増加に努めていく。</li> </ul>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.16	事務事業名： 生涯学習講座実施事業	H30 年度決算額	1,414 千円
事業の目的	安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会を実現する。			
事業内容	1 市民大学講座 特別編 2 市民大学講座 信州大学編 3 安曇野アカデミー 4 学校開放講座 5 日本語教室 6 日本語教室ボランティア講習会 7 日本語教室ボランティアきっかけ講座			
達成状況	1 市民大学講座 特別編 期日：6月30日(土) 会場：豊科公民館大ホール 受講者数：594人 演題：ダウン症の娘と共に生きて 講師：金澤 泰子さん、金澤 翔子さん 2 市民大学講座 信州大学編 (全5回) 信州大学との連携協定により同大学に協力いただき講座を開催した。 受講者数：延べ329人 3 安曇野アカデミー (全5回) 安曇野市の歴史や文化、伝統など郷土について学ぶための講座として平成30年度から新たに始まった。初年度は「水と山」をテーマに開催し、4回の座学で学んだことを5回目のフィールドワークで実際に現地を訪れ見て触れて学んだ。 受講者数：延べ141人 4 学校開放講座 (12講座 86回) 市内の小学校、高等学校の協力により学校施設を会場に開催した。 受講者数：延べ876人 5 日本語教室 (原則毎週1回、4地域で実施) 市内在住の外国人を対象とした日本語教室を市民ボランティアの協力により実施した。 受講者数：年間延べ1,233人 6 日本語教室ボランティア講習会 (全2回) 日本語教室のボランティアを対象に日本語指導のスキルを学ぶための講習会を開催した。 受講者数：延べ26人 7 日本語教室ボランティアきっかけ講座 (全2回) 平成30年度から新たに日本語教室ボランティアをやってみたい方や興味がある方を対象に講座を開催した。 受講者数：延べ38人			
事業の課題及び方向性	・市民大学講座では、知名度がある講師を招いたり、アンケート調査によるニーズや世相を反映した講座を実施することで参加者が増加した。 ・今後も時代の潮流にあった事業展開をするとともに、幅広い世代のニーズを把握し、事業を企画するよう努める。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



事務事業	No.17	事務事業名： 社会教育団体支援事業	H30 年度決算額	1,028 千円					
事業の目的	予算の範囲内で補助金を交付し、社会教育事業及び生涯学習事業の推進を図る。								
事業内容	1 社会教育推進事業及び芸術文化協会の運営への補助金交付								
達成状況	1 社会教育推進事業及び芸術文化協会の運営への補助金交付 安曇野市社会教育事業補助金交付要綱による社会教育推進団体への補助金								
	交付先		補助金額						
	安曇野市連合婦人会		90,000 円						
	安曇野市太鼓連盟		200,000 円						
	安曇野市鈴虫を育てる会		40,000 円						
	安曇野市囲碁・将棋大会		97,044 円						
	芸術文化協会		601,200 円						
	合計		1,028,244 円						
	各種団体での社会教育事業及び地域芸術文化協会の運営は円滑に行われ、適正に遂行されていた。								
	参考：芸術文化協会の状況（会員数） (人)								
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	比較 (29: 30)
豊科	394	374	355	353	309	281	273	247	△26
穂高	672	575	548	517	500	572	647	622	△25
三郷	431	417	368	361	405	421	418	440	22
堀金	293	276	291	277	280	257	236	218	△18
明科	218	217	250	240	240	240	240	219	△21
合計	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	1,771	1,814	1,746	△68
事業の課題及び方向性	社会教育事業を推進するため、関係団体や各種事業の要望を把握するとともに従来事業の内容精査し、補助率の見直しを検討する。								
自己評価	C								

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.18	事務事業名： 放課後・家庭教育推進費	H30 年度決算額	6,869 千円																																																																														
事業の目的	放課後の児童の安全、安心な居場所として学校の施設を使用し、異年齢の子どもが交じりあって十分に遊び、さらに地域の人たちとも関わることで、たくましさや社会性を養う。																																																																																	
事業内容	1 放課後子ども教室実施事業																																																																																	
達成状況	<p>1 放課後子ども教室推進事業</p> <p>放課後の児童の安全、安心な居場所として、また、様々な体験や遊びを通じて異年齢間の交流を図り、地域の大人の見守りの中で思い切り遊ぶ機会を確保するため、10 小学校の施設を利用して、週 1 回の放課後子ども教室「わいわいランド」を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="483 772 1332 1462"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>コーディネーター</th> <th>教育活動サポーター</th> <th>登録児童数</th> <th>開催日数</th> <th>延べ出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>豊科南</td><td>3</td><td>12</td><td>92</td><td>24</td><td>1,931</td></tr> <tr><td>豊科北</td><td>3</td><td>11</td><td>92</td><td>20</td><td>1,697</td></tr> <tr><td>豊科東</td><td>2</td><td>10</td><td>30</td><td>22</td><td>509</td></tr> <tr><td>穂高南</td><td>2</td><td>16</td><td>134</td><td>29</td><td>3,626</td></tr> <tr><td>穂高北</td><td>2</td><td>18</td><td>128</td><td>24</td><td>2,145</td></tr> <tr><td>穂高西</td><td>2</td><td>11</td><td>117</td><td>28</td><td>2,498</td></tr> <tr><td>三郷</td><td>2</td><td>16</td><td>153</td><td>25</td><td>2,363</td></tr> <tr><td>堀金</td><td>3</td><td>14</td><td>165</td><td>29</td><td>4,028</td></tr> <tr><td>明南</td><td>2</td><td>15</td><td>60</td><td>32</td><td>1,568</td></tr> <tr><td>明北</td><td>2</td><td>15</td><td>55</td><td>31</td><td>1,592</td></tr> <tr><td>合計</td><td>23</td><td>138</td><td>1,026</td><td>262</td><td>21,957</td></tr> <tr><td>H29 年度</td><td>20</td><td>161</td><td>968</td><td>325</td><td>22,546</td></tr> </tbody> </table>				学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数	豊科南	3	12	92	24	1,931	豊科北	3	11	92	20	1,697	豊科東	2	10	30	22	509	穂高南	2	16	134	29	3,626	穂高北	2	18	128	24	2,145	穂高西	2	11	117	28	2,498	三郷	2	16	153	25	2,363	堀金	3	14	165	29	4,028	明南	2	15	60	32	1,568	明北	2	15	55	31	1,592	合計	23	138	1,026	262	21,957	H29 年度	20	161	968	325	22,546
学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数																																																																													
豊科南	3	12	92	24	1,931																																																																													
豊科北	3	11	92	20	1,697																																																																													
豊科東	2	10	30	22	509																																																																													
穂高南	2	16	134	29	3,626																																																																													
穂高北	2	18	128	24	2,145																																																																													
穂高西	2	11	117	28	2,498																																																																													
三郷	2	16	153	25	2,363																																																																													
堀金	3	14	165	29	4,028																																																																													
明南	2	15	60	32	1,568																																																																													
明北	2	15	55	31	1,592																																																																													
合計	23	138	1,026	262	21,957																																																																													
H29 年度	20	161	968	325	22,546																																																																													
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の授業時間の増加や、水曜日のクラブ活動により、高学年の参加が困難になったが、地域ごとにミニ運動会やサッカー教室、囲碁教室等の講座とともに、自由遊び中心など特色ある活動を進めることができた。</li> <li>・コーディネーター、サポーターの固定化、高齢化傾向があるため、保護者世代の参加を進めていく必要がある。</li> </ul>																																																																																	
自己評価	B																																																																																	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.19	事務事業名： 児童館運営事業	H30 年度決算額	219,535 千円
事業の目的	国の地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全育成事業を推進するため、また子育て支援の充実を図るため、児童館、児童クラブの運営及び施設整備を行う。			
事業内容	市内9か所の児童館の運営、市内11か所（穂高西小分室、三郷小空き教室含む）の児童クラブの運営を、指定管理者である安曇野市社会福祉協議会に委託し、子育て支援事業、子育て相談事業、地域ふれあい事業、青少年育成事業、放課後児童健全育成事業等の事業を実施する。			
達成状況	<p>1 児童館実施事業</p> <p>(1) 子育て支援事業 「キッズパーク」、「みんなあつまれ」、「お下がり会」</p> <p>(2) 子育て相談事業 「育児相談」、「子育て勉強会」</p> <p>(3) 地域ふれあい事業 「ふれあい農園」、「地域ボランティア」「児童館祭り」</p> <p>(4) 青少年育成事業 「チャレンジタイム」、「お楽しみ企画」</p> <p>(5) 放課後児童健全育成事業 「児童クラブ」、「障がい児児童クラブ」</p> <p>(6) 児童館来館者数 88,205 人（児童クラブ利用者数を含まない）</p> <p>2 児童クラブ事業</p> <p>(1) 児童クラブ定員 通年 702 人、長期 375 人、合計 1,077 人</p> <p>(2) 児童クラブ登録者 通年 609 人、長期 383 人、合計 992 人（最多時）</p> <p>(3) 延べ利用者数 109,979 人（平成 29 年度延べ利用者数 97,978 人）</p> <p>(4) 平成 30 年 9 月 10 日から、豊科南小学校内において余裕教室を利用して児童クラブを実施している。</p> <p>(5) エアコン設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊科中央児童館 集会室</li> <li>・穂高北部児童館 事務室</li> <li>・豊科南小児童クラブ室（3 部屋）</li> <li>・穂高西小児童クラブ室（1 部屋）</li> <li>・豊科東小長期児童クラブ室（図工室）</li> </ul>			
事業の課題及び方向性	<p>・児童クラブ事業は、利用ニーズの増加により6年生までの利用拡大や利用要件の緩和の検討とともに、小学校の余裕教室等の活用をはじめ施設整備を進める必要がある。</p> <p>・児童館・児童クラブ事業は、平成 30 年度から新たな5年間の指定管理により運営を行っているが、一層の子育て支援サービスの充実を図るために、今後も指定管理者との協議を密にし、事業の在り方等を検討していく。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.20	事務事業名： 中央公民館事業	H30 年度決算額	46,854 千円								
事業の目的	地域の社会教育機関として、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の進行と社会福祉の増進に寄与する」ため、『安曇野市公民館の理念』の下、安曇野市公民館を運営した。											
事業内容	<table border="0"> <tr> <td>1 公民館運営審議会</td> <td>2 公民館長会・公民館担当者会議</td> </tr> <tr> <td>3 第 12 回安曇野市公民館大会</td> <td>4 中央公民館報</td> </tr> <tr> <td>5 第 8 回安曇野市総合芸術展</td> <td>6 生涯学習情報～Link～</td> </tr> <tr> <td>7 各 5 分館における講座等</td> <td>8 地区公民館支援事業</td> </tr> </table>				1 公民館運営審議会	2 公民館長会・公民館担当者会議	3 第 12 回安曇野市公民館大会	4 中央公民館報	5 第 8 回安曇野市総合芸術展	6 生涯学習情報～Link～	7 各 5 分館における講座等	8 地区公民館支援事業
1 公民館運営審議会	2 公民館長会・公民館担当者会議											
3 第 12 回安曇野市公民館大会	4 中央公民館報											
5 第 8 回安曇野市総合芸術展	6 生涯学習情報～Link～											
7 各 5 分館における講座等	8 地区公民館支援事業											
達成状況	<p>1 公民館運営審議会 安曇野市公民館条例に基づき公民館の各種事業への指導・助言をいただくため、公民館運営審議会（委員 14 人）を年 3 回開催した。</p> <p>2 公民館長会・公民館担当者会議（各毎月 1 回開催） 各種講座や公民館の管理運営について協議し、事業の推進及び管理体制の改善を図った。</p> <p>3 第 12 回安曇野市公民館大会 期日：5 月 20 日（日） 会場：豊科公民館大ホール 参加者数：337 人 内容：公民館活動功労者表彰 5 人、地区公民館報表彰 3 点 事例発表 下押野地区公民館 講演会「未来を拓く地域づくり」 講師 福島 明美さん</p> <p>4 中央公民館報 市民 5 人の編集委員により地域で活躍しているリーダーやグループ、地区公民館の活動紹介等の記事を掲載し、年 6 回発行した。</p> <p>5 第 8 回安曇野市総合芸術展 期間：3 月 7 日（木）～20 日（水） 会場：豊科交流学習センター「きぼう」 展示作品数：111 点（絵画・写真・工芸・書道・彫刻など） 来場者数：902 人</p> <p>6 生涯学習情報～Link～ 公民館や交流学習センター、体育館等の施設利用案内やリーダーバンクなどの情報を掲載した「生涯学習情報～Link～プレ号」を 300 部発行し、本庁舎や各公民館等に設置した。また、市ホームページへ掲載し広く周知した。</p> <p>7 各 5 分館における講座等 豊科、穂高、三郷、堀金、明科の 5 分館において、ふるさと講座や地場産食材を使った料理教室など各地域の特徴を活かした講座を実施した。</p> <p>8 地区公民館支援事業 地区公民館活動補助金として 98 地区公民館を対象に 30,825,000 円の補助を行い、地区公民館活動を支援した。また、地区公民館建設補助金として、嵩下地区公民館 9,144,000 円、上長尾地区公民館 2,000,000 円、</p>											

	上堀地区公民館 381,600 円の補助を行った。
事業の課題及び方向性	「安曇野市公民館の理念」の下、各公民館の運営体制の統一を図るため、館長会や担当者会議で情報を共有しながら随時調整を行っていく必要がある。
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.21	事務事業名： 交流学习センター等事業	H30 年度決算額	4,308 千円
事業の目的	市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、一層の市民の利用促進を図り、安曇野市穂高交流学习センター、安曇野市豊科交流学习センター、安曇野市三郷交流学习センター、安曇野市明科学習館の4施設の適正かつ円滑に管理運営する。			
事業内容	生涯学習推進計画及び文化振興計画の実現のため、次代の文化活動の担い手の育成や、親子で参加できる体験・学習できるような文化活動等による教育の機会の充実を図るとともに、文化芸術の鑑賞の機会と創作活動・発表の場の提供として、自主文化事業、貸館業務のほか、団体等との共催事業にも取り組んだ。			
達成状況	<p>○主な自主事業</p> <p>1 新進音楽家演奏会 安曇野市で活躍を希望する若手音楽家の発掘のため、公開オーディションを開催し、演奏の機会の提供と市民が身近に音楽芸術に触れられる機会を提供した。</p> <p>(1) 第8回あづみの新進音楽家公開オーディション 開催日7月28日(土) 参加者 ジュニアの部11組15人 一般の部 3組5人</p> <p>(2) 選出者によるコンサート ア Holiday Concert in Mirai 2018 開催日12月22日(土) 参加者 3組5人 入場者150人 イ 第4回あづみジュニアクラシックコンサート 開催日3月23日(土) 参加者5組8人 入場者115人</p> <p>(3) 第7回までのオーディション選出者によるコンサート ア あづみの新進音楽家コンサート(全4回) 開催日①6月30日(土) ②9月22日(土) ③10月20日(土) ④11月24日(土) 入場者 合計240人 イ 0歳からのミニコンサート(全4回) 開催日①5月30日(水) ②8月17日(金) ③11月13日(火) ④3月6日(水) 入場者 合計627人</p> <p>2 熊井啓監督顕彰事業 「日本の熱い日々謀殺・下山事件」上映会・熊井明子氏講演会 開催日2月3日(日) 入場者 午前の部132人 午後の部148人</p>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーディション一般の部の募集について、これまで市内在住者、又は出身者としていたが、近隣市町村も範囲入れるなど、再度見直しが必要である。</li> <li>・新進音楽家の活動の場の提供及び展示等の充実を図り、より多くの市民に優れた文化芸術を提供する。</li> </ul>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.22	事務事業名： 図書館活動の推進事業	H30 年度決算額	172,450 千円				
事業の目的	市民へ質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」として多様化する市民の「学び」のニーズに応える図書館の確立を進めている。							
事業内容	1 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実 3 「地域の教育力」を高める活動の推進 4 図書館利用に障がいのある方々への支援 5 安曇野市の歴史文化の伝承 6 市民の調査・研究支援体制の強化援助							
達成状況	1 第2次安曇野市図書館基本計画（平成30年3月策定）のサービス目標値と平成30年度末の状況							
	項目	蔵書数	年間利用者数	市民1人あたりの貸出点数	団体貸出点数	郷土資料蔵書数	レファレンスサービス利用数	
	目標値	422,000	220,300	9.0	28,000	38,000	7,280	
	H30 年度末	430,638	233,119	8.3	29,385	32,538	6,436	
	※年間利用者数：資料貸出の延べ人数と講座等参加者の合計人数							
	※人口：97,635 人（平成31年4月1日現在）							
	(2) 館別							
	項目	総蔵書点数	登録者数	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス利用数	
	中央	H30 年度末	211,705	24,618	464,091	12,164	15,523	2,279
		H29 年度末	207,847	23,491	477,488	9,907	13,163	2,049
豊科	H30 年度末	85,529	11,123	149,613	8,294	8,636	1,687	
	H29 年度末	84,022	10,594	155,476	8,525	7,262	1,413	
三郷	H30 年度末	44,205	4,078	117,953	3,882	4,824	913	
	H29 年度末	39,019	3,554	36,176	2,036	2,113	331	
堀金	H30 年度末	40,675	2,261	55,495	2,722	2,873	137	
	H29 年度末	36,034	2,147	59,333	3,411	3,383	28	
明科	H30 年度末	48,524	3,942	28,183	2,323	2,504	1,420	
	H29 年度末	48,611	3,841	29,965	3,430	2,361	1,043	
合計	H30 年度末	430,638	46,022	815,335	29,385	34,360	6,436	
	H29 年度末	415,533	43,627	760,053	27,309	28,282	4,864	

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明科図書館のIC化により、市内すべての公共図書館のIC化が終了した。これにより、図書館資料の管理面での合理化と自動貸出機での貸出が可能となり、利便性が向上した。</li> <li>・更なる利用促進のため、市民のニーズに合わせた資料収集や魅力あるイベントの充実を図るとともに、図書館活動の周知を積極的に行い、図書館だよりや市広報紙、ホームページやツイッターなどの様々な媒体を活用しながら情報発信をしていく必要がある。</li> </ul>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。



事務事業	No.23	事務事業名： 人権教育推進事業	H30 年度決算額	1,914 千円
事業の目的	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を推進する。			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権教育推進委員会及び人権教育指導員合同会議</li> <li>2 企業人権教育推進協議会</li> <li>3 地域人権教育推進協議会、学社連携事業、地区人権学習会支援</li> </ol>			
達成状況	<p>安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、平成 30 年度は「様々な人権に関する問題」と「同和問題」を重点に掲げ、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権教育推進委員会及び人権教育指導員合同会議 学校、地域、家庭、職場が一体となった人権教育推進に向けて、人権教育推進委員会小委員会、人権教育推進委員及び人権教育指導員の合同会議をそれぞれ 2 回開催し、合同会議では、研修として講演会を実施した。</li> <li>2 企業人権教育推進協議会 企業人権教育推進協議会は設立 9 年目となり、35 企業 63 事業所 (H31 年 3 月現在) が加入している。本年度は総会、理事会に加え、2 回の啓発講演会を実施した。</li> <li>3 地域人権教育推進協議会、学社連携事業、地区人権学習会支援 人権教育推進協議会の開催のほか学社連携事業として、小中学校人権教育推進協議会と連携し、地域ごとに人権教育推進委員・指導員が授業参観、講演会、懇談会などへ参加した。 また、地区公民館での人権学習会開催を支援し、地区の現状に応じたテーマで 97 地区公民館において実施された。高齢者、女性、子どもの人権などの人権問題について幅広い学習が行われた。</li> </ol>			
事業の課題及び方向性	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を継続的に推進する必要がある。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.24	事務事業名： 人権啓発事業	H30 年度決算額	1,809 千円
事業の目的	<p>市内小学校（10 校）の 4 年生が共通の体験を積み、安曇野に対する郷土愛や児童同士の絆を深め、人権について学習することを目的に「安曇野市 1/2 成人記念 人権・平和特別授業～kizuki～」を開催した。</p> <p>また、人権尊重に対する意識を高めるため、「安曇野市人権尊重作文集～kiseki～」の作成に取り組んだ。</p>			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安曇野市 1/2 成人記念 人権・平和特別授業～kizuki～</li> <li>2 安曇野市人権尊重作文集～kiseki～</li> </ol>			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安曇野市 1/2 成人記念 人権・平和特別授業～kizuki～ 期日：10 月 4 日（木） 会場：豊科公民館大ホール 内容：市歌斉唱 児童発表「人権の花運動」 ミュージカル鑑賞「とべないホテル」 参加児童数：829 人</li> <li>2 安曇野市人権尊重作文集～kiseki～ 人権尊重の意識を深めるため、次代を担う小中学生（小学 3 年生～中学 3 年生）を対象に人権尊重作文を募集し、選考された作文により人権尊重作文集～kiseki～を作成した。作文集は小中学校や人権教育推進委員・指導員に配布し、人権学習・研修の資料として活用した。</li> </ol>			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカル上演が可能な施設である豊科公民館ホールで実施しているが、収容人数が限られているため 5 校ずつ 2 回に分けて実施している。</li> <li>・このため、市内 10 校の 4 学年全児童が一堂に会せるような事業内容の見直しとともに、学校側の負担軽減を図る必要がある。</li> </ul>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.25	事務事業名： 体育団体等支援事業	H30年度決算額	11,075千円
事業の目的	市民のスポーツ振興を担う体育協会及びスポーツ少年団の活動助成や、競技力向上を目指す選手及び団体への激励金を交付することにより、市民の競技スポーツ活動の活性化を図る。			
事業内容	1 体育協会事業支援（対象事業費の2分の1以内で予算の範囲内の補助） 2 スポーツ少年団事業支援（対象事業費の3分の2以内で予算の範囲内の補助） 3 全国大会以上のスポーツ等大会に出場する個人・団体への激励金交付			
達成状況	<p>1 体育協会事業支援〈団体数：72団体 登録者数：5,841人〉 市民のスポーツ振興、健康体力づくりの推進、競技力向上に向けた事業に対し、体育協会活動への補助を行った。</p> <p>【主な内容】</p> <p>(1) スポーツ教室(市体協・加入団体自主主催 計23教室、述べ4,995名参加)を開催し、スポーツの普及、向上を図ることができた。</p> <p>(2) 一般市民を対象とした健康体力づくり事業49大会、育成強化事業の各種競技98大会を実施や研修会、救急救命講習会実施により、指導者の育成、審判技術の向上を図ることができた。</p> <p>2 スポーツ少年団事業支援〈団体数：67団体 登録者数：1,720人〉 青少年スポーツ活動を通じた青少年健全育成及び交流を目的に、スポーツ少年団活動への補助を行った。</p> <p>【主な内容】</p> <p>(1) 平成30年度結団式に54単位団 約300名参加し、基本動作である「走」を中心としたトレーニングを体験した。</p> <p>(2) 小学4年・6年対象に「運動適性テスト」を実施し、12単位団 94名の参加があり、発達期の身体の動きやスポーツの適性を知る機会となった。</p> <p>3 各種競技会及び発表会出場者激励金 件数：103件 (内訳：全国大会：97件、世界大会：6件)</p>			
事業の課題及び方向性	<p>各スポーツ団体については、団体離れ、加入者も減少する中で、自主財源の確保が厳しい状況にある。中核的に市のスポーツ振興を担う各スポーツ団体は、市民スポーツの活性化に重要な役割を果たしているため、今後も協議しながら事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要と考える。</p> <p>また、全国大会以上の競技出場者が増加する一方、スポーツ少年団の指導者の高齢化やなり手不足の現状から、今後も指導者の増加に向け、資格取得の支援や研修会などの指導者の育成に対する取り組みが必要である。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.26	事務事業名： スポーツ振興事業	H30 年度決算額	9,333 千円																																																
事業の目的	<p>幼児期から身体を動かす楽しさや自発的に遊ぶ習慣を身につけること、また、初心者が運動を継続していくきっかけづくりとしてスポーツ教室等を実施し、スポーツ実施率の向上を目指す。また、スポーツを通しての交流や連帯感を共有し、スポーツの推進を図ることを目的とした「安曇野市民スポーツ祭」を開催する。</p>																																																			
事業内容	<p>1 スポーツ教室の開催 2 市民スポーツ祭の開催 3 市町村対抗駅伝大会・長野県縦断駅伝大会出場に伴う運営協力</p>																																																			
達成状況	<p>1 スポーツ教室の開催 (1) 子どもを対象とした教室 (教室数：26 教室 参加延べ数：10,940 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な教室名</th> <th>区分</th> <th>定員</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①親子スポーツ教室</td> <td>親子(未就園児)</td> <td>40 組</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>②わんぱく GYM 教室 (2 教室×2 回)</td> <td>就園児:年中・年長</td> <td>各 25 人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③有森裕子ランニング教室</td> <td>小学生</td> <td>120 人</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>④ファミリースポーツカフェ</td> <td>主に親子</td> <td>240 人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>⑤コオディネーション幼保指導者派遣事業</td> <td>就園児:年中・年長</td> <td>6,551 人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 18 歳以上を対象とした教室 (教室数：19 教室 参加延べ数：2,654 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な教室名</th> <th>区分</th> <th>定員</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①インターバル速歩講座</td> <td>50 歳以上</td> <td>90 人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②ピラティス教室 (2 回)</td> <td>18 歳以上</td> <td>各 35 人</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ吹矢教室 (2 回)</td> <td>18 歳以上</td> <td>各 20 人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>④障がい者スポーツ体験会</td> <td>障がいの有無に関わらず</td> <td>76 人</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>⑤体力測定</td> <td>20 歳以上</td> <td>180 人</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加率・・・定員に対する教室参加人数</p> <p>2 市民スポーツ祭の開催 市民スポーツ祭実行委員会を組織し、開催内容の決定や運営を行った。 6月24日(日)総合開会式、スポーツ交流会、体力測定に約512人が参加 6月～12月にかけて種目別競技会(17種目)に2,250人が参加</p> <p>3 市町村対抗駅伝大会・長野県縦断駅伝大会出場に伴う運営協力など</p>				主な教室名	区分	定員	参加率	①親子スポーツ教室	親子(未就園児)	40 組	58%	②わんぱく GYM 教室 (2 教室×2 回)	就園児:年中・年長	各 25 人	100%	③有森裕子ランニング教室	小学生	120 人	74%	④ファミリースポーツカフェ	主に親子	240 人	100%	⑤コオディネーション幼保指導者派遣事業	就園児:年中・年長	6,551 人	—	主な教室名	区分	定員	参加率	①インターバル速歩講座	50 歳以上	90 人	100%	②ピラティス教室 (2 回)	18 歳以上	各 35 人	97%	③スポーツ吹矢教室 (2 回)	18 歳以上	各 20 人	100%	④障がい者スポーツ体験会	障がいの有無に関わらず	76 人	76%	⑤体力測定	20 歳以上	180 人	98%
主な教室名	区分	定員	参加率																																																	
①親子スポーツ教室	親子(未就園児)	40 組	58%																																																	
②わんぱく GYM 教室 (2 教室×2 回)	就園児:年中・年長	各 25 人	100%																																																	
③有森裕子ランニング教室	小学生	120 人	74%																																																	
④ファミリースポーツカフェ	主に親子	240 人	100%																																																	
⑤コオディネーション幼保指導者派遣事業	就園児:年中・年長	6,551 人	—																																																	
主な教室名	区分	定員	参加率																																																	
①インターバル速歩講座	50 歳以上	90 人	100%																																																	
②ピラティス教室 (2 回)	18 歳以上	各 35 人	97%																																																	
③スポーツ吹矢教室 (2 回)	18 歳以上	各 20 人	100%																																																	
④障がい者スポーツ体験会	障がいの有無に関わらず	76 人	76%																																																	
⑤体力測定	20 歳以上	180 人	98%																																																	
事業の課題及び方向性	<p>・1月に安曇野市スポーツ大使の委嘱記念事業として、小学生を対象とした「有森裕子ランニング教室」においては、メダリストから直接伝えられたことにより質の高い深い体験ができた。今後もアスリートから学ぶ機会を設け、選手発掘や選手育成に力を入れていく必要がある。</p> <p>・未就園児を対象とした親子対象のスポーツ教室は、少子化や年々未就園児の保育施設等の入園児数の増により家庭保育の減少が予想され、参加率が減少傾向にある。募集方法を工夫するとともに参加しやすい環境に配慮しながら開催していく。</p>																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.27	事務事業名： 文化芸術振興事業	H30 年度決算額	6,882 千円
事業の目的	<p>子どもや高齢者、障がいのある人など、全ての市民がすぐれた文化芸術に接することができるよう、展覧会やコンサートなどの内容を充実するとともに鑑賞しやすい環境づくりを進める。</p> <p>市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容・鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる環境づくりを推進する。</p>			
事業内容	<p>「文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現に向け諸事業を実施した。</p> <p>(1) 東京藝術大学との交流事業の開催  第1回：6月9日(土)・10日(日)      第2回：11月10日(土)・11日(日)  第3回：2月9日(土)・10日(日)  小中学校合同吹奏楽祭：10月6日(日)</p> <p>(2) 能楽教室の開催  6月26日(火)：三郷小学校  6月27日(水)：堀金中学校</p> <p>(3) 文化講演会の開催  テーマ「日本美術と文化財の保存と活用」  (講師：白洲信哉氏) 3月16日(土)</p> <p>(4) ちくに生きものみらい基金充当事業</p>			
達成状況	<p>(1) 東京藝術大学との交流事業  参加生徒数 272人(目標150人)  合同コンサート来場者数350人(目標400人)  小中学校合同吹奏楽祭：1,500人</p> <p>(2) 能楽教室 鑑賞者数920人</p> <p>(3) 文化講演会 来場者数80人</p> <p>(4) ちくに生きものみらい基金充当事業 実施件数11件、参加者数8校464人</p>			
事業の課題及び方向性	<p>・平成29年度に策定した「第2次安曇野市文化振興計画」に基づき、事業内容の充実や発展に向けて推進していきたい。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.28	事務事業名： 諸団体との協働事業	H30 年度決算額	3,235 千円
事業の目的	安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。			
事業内容	<p>諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出し、豊かで潤いある市民生活の実現を目指した。</p> <p>(1) 第 19 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 4 月 8 日 (日) 報償費：64,656 円</p> <p>(2) 第 14 回あづみの公園早春賦音楽祭 5 月 4 日 (金) 補助金：1,900,000 円</p> <p>(3) 第 55 回童謡まつり 5 月 5 日 (土) 補助金：500,000 円</p> <p>(4) 第 28 回信州安曇野能楽鑑賞会 8 月 25 日 (土) 補助金：2,700,000 円</p> <p>(5) 『安曇野文化』刊行 第 27～30 号発行 補助金：1,900,000 円</p> <p>(6) 美術館博物館連携事業</p> <p>ア 美術館等連携事業印刷物等作成・年間行事予定表デザイン印刷業務委託料 174,744 円</p> <p>イ スタンプラリー・ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか</p> <p>学校ミュージアム 11 月 29 日 (木)：穂高西中学校 12 月 6 日 (木)：穂高南小学校</p> <p>(7) 安曇野市古民家調査 (信州大学工学部)：496,468 円</p> <p>(8) 平成 27・29 年に協働事業として制作した「よみがえる安曇野」第 1・2 集について、出前講座メニューとして実施。</p>			
達成状況	<p>諸団体との協働事業</p> <p>(1) 第 19 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 参加者数 22 人</p> <p>(2) 第 14 回あづみの公園早春賦音楽祭 来場者数 18,966 人</p> <p>(3) 第 55 回童謡まつり 来場者数 450 人</p> <p>(4) 第 28 回信州安曇野能楽鑑賞会 来場者数 454 人</p> <p>(5) 『安曇野文化』刊行 第 27～30 号発行</p> <p>(6) 美術館博物館連携事業</p> <p>ア 美術館等連携事業印刷物等作成</p> <p>市立美術館・博物館の年間行事予定一覧表を全校児童・生徒に配布。</p> <p>イ ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか、文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施。児童の利用促進に結び付けることができた。計 2,512 人</p> <p>(7) 安曇野市民家調査 (信州大学工学部)</p> <p>ア 本棟造りの成立過程の調査。現存する古民家の詳細調査結果と、古文書にみる建築部材・樹種等の比較から、他地域のとの違いを検証。</p> <p>(8) 「よみがえる安曇野」上映会 43ヶ所 約 1300 人が鑑賞</p>			
事業の課題及び方向性	・各事業とも、合併以前より各町村が行ってきた文化事業を継続して行っており、マンネリ傾向にある。「信州安曇野薪能事業」は会場となる龍門淵公園周辺の整備工事が終わり、今後、屋外での薪能公演とするか検討が必要で			

	ある。	
自己評価	B	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.29	事務事業名： 財政支援団体への補助	H30 年度決算額	6,696 千円
事業の目的	<p>安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。</p> <p>安曇野市の文化振興の一翼を担う組織として、市が出捐する公益財団法人安曇野文化財団の自主事業の充実を図る。</p>			
事業内容	<p>財政支援団体への補助金交付</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金：5,396,000 円</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金：1,300,000 円</p>			
達成状況	<p>1 財政支援団体の活動状況</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 生活工芸品の管理・活用、財団の管理運営（事務局業務）を実施した。</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 井口喜源治の遺産を大切に保管・管理し、各種事業を実施した。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>・財政支援団体の活動にあたっては、事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要である。事業実施にあたり、各団体と連絡を密にし、効果的な事業推進を図る。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である



事務事業	No.30	事務事業名： 博物館・美術館等の管理運営	H30年度決算額	188,342千円																																												
事業の目的	<p>市民ニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある企画を実現できるよう、利用形態や運営方針の改善に努めるほか、施設間の連携強化を図る。</p> <p>市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図る。</p>																																															
事業内容	<p>1 豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・臼井吉見文学館・高橋節郎記念美術館・豊科郷土博物館・貞享義民記念館・穂高郷土資料館・文書館等の管理運営を行う。</p> <p>2 博物館・美術館等の管理運営、資料の収集については下記で審議。</p> <p>(1) 博物館協議会 登録博物館4館及び類似施設5館の管理運営状況等について協議。全3回</p> <p>(2) 美術資料等選定委員会：美術資料の収集について協議。全2回</p> <p>3 「新市立博物館構想」を策定し、今後の安曇野市の博物館等の方向性を規定。</p>																																															
達成状況	<p>1 博物館等の運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>運営</th> <th>指定管理料</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科近代美術館</td> <td>(公財)安曇野文</td> <td>32,830,000円</td> <td>26,188人</td> </tr> <tr> <td>田淵行男記念館</td> <td>化財団</td> <td>18,956,000円</td> <td>8,511人</td> </tr> <tr> <td>飯沼飛行士記念館</td> <td></td> <td>2,110,000円</td> <td>932人</td> </tr> <tr> <td>穂高陶芸会館</td> <td></td> <td>7,344,000円</td> <td>2,986人</td> </tr> <tr> <td>臼井吉見文学館</td> <td>ほたるぶくろの会</td> <td>2,185,000円</td> <td>503人</td> </tr> <tr> <td>高橋節郎記念美術館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>12,850人</td> </tr> <tr> <td>豊科郷土博物館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>6,448人</td> </tr> <tr> <td>貞享義民記念館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>4,860人</td> </tr> <tr> <td>穂高郷土資料館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>1,114人</td> </tr> <tr> <td>文書館</td> <td>直営</td> <td></td> <td>989人※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※研修会・内覧会・講座・講演会・電話での相談等を含む利用者数(10/1~)</p> <p>2 目標数値等</p> <p>(1) 高橋節郎記念美術館 貸出施設(主屋・南の蔵)の稼働率(年間実使用時間/使用可能時間): 27.78%</p> <p>(2) 貞享義民記念館 貸出施設(企画展示室)の稼働率(年間実使用日数/使用可能日数): 77.46% 貸出施設(研修室)の稼働率(年間実使用時間/使用可能時間): 13.89%</p>				施設名	運営	指定管理料	入館者数	豊科近代美術館	(公財)安曇野文	32,830,000円	26,188人	田淵行男記念館	化財団	18,956,000円	8,511人	飯沼飛行士記念館		2,110,000円	932人	穂高陶芸会館		7,344,000円	2,986人	臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000円	503人	高橋節郎記念美術館	直営	-	12,850人	豊科郷土博物館	直営	-	6,448人	貞享義民記念館	直営	-	4,860人	穂高郷土資料館	直営	-	1,114人	文書館	直営		989人※
施設名	運営	指定管理料	入館者数																																													
豊科近代美術館	(公財)安曇野文	32,830,000円	26,188人																																													
田淵行男記念館	化財団	18,956,000円	8,511人																																													
飯沼飛行士記念館		2,110,000円	932人																																													
穂高陶芸会館		7,344,000円	2,986人																																													
臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000円	503人																																													
高橋節郎記念美術館	直営	-	12,850人																																													
豊科郷土博物館	直営	-	6,448人																																													
貞享義民記念館	直営	-	4,860人																																													
穂高郷土資料館	直営	-	1,114人																																													
文書館	直営		989人※																																													
事業の課題及び方向性	<p>・公文書や古文書等の貴重な資料を有効に活用するための文書館が平成30年10月に開館した。指定管理委託期間の更新にあたり、次年度より臼井吉見文学館を直営とし、高橋節郎記念美術館に指定管理者制度を導入する。</p> <p>・施設間の連携強化を図りながら、「新市立博物館構想」に基づき、引き続き管理運営体制の見直しや、一部の施設の統廃合について検討する。</p>																																															
自己評価	B																																															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

【学識経験者による個別の事務事業に対する意見、提言等】

No.	事務事業	意見・要望等
1	いじめ・不登校対策事業	<p>いじめの把握は重要であり、学校生活だけではなく、例えば子どもたちが参加している社会体育や各種教室の場において、それぞれの指導者等と連携を図りながら、いじめ等の事例が発見されれば市教育委員会に報告していただくような仕組みを関係部局とともに検討してほしい。</p> <p>外国籍児童への日本語学習支援とともに、保護者に対して日本文化、習慣等を理解し、教えられるような仕組み・体制づくりを検討してほしい。</p> <p>本市の事例ではないが、小学校の算数の授業において教師が出した問題が解けない子どもに対し、後ろの席の子どもが答えを教えてあげたところ、問題が解けなかった子どもが泣き出し、教師は答えを教えた子どもに対し「答えを教えたことはいじめにあたる」と発言したと聞く。</p> <p>答えられずとも懸命に問題に取り組んだ子どもをほめるとともに、答えを教えた子どもの親切心に配慮した教師の指導が必要ではないかと感じる。答えを教えた行為は親切心からと思料され、将来、その子どもにとって親切心は不要となってしまうか心配である。</p> <p>いじめの定義が厳格化され、教師にとっても対応が難しい場面が増えることが想定されるが、常に子どもの気持ちに寄り添った現場での対応を望む。</p> <p>SNSによる誹謗中傷など、「ネットいじめ」が社会問題化している。本市においても、使用実態やトラブル等について細調査を行い、市として適切な対応を講じていく必要がある。</p>
2	教育支援センター運営事業	<p>早い段階で子ども発達障害等気づき、家族の大きな悩みとなる前に家庭内で対処方法を学んだうえで子どもに接することが、その子にとって幸せにつながる。現在の相談・支援体制を一層充実させてほしい。</p>

		<p>発達障害のある子どもへの支援に関しては、保健医療部、福祉部及び教育委員会事務局が主にかかわっているが、それぞれの部局が持つ情報（資料）を共有でき、発達段階に応じた支援が行えるような仕組みを検討する必要がある。あわせて、発達障害を持つ子どもたちの理解と支援に欠かせない WISC（知能）検査が迅速に行えるよう体制整備の検討も必要である。</p>
5	学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	<p>小中学校への市費による各種支援員の配置（加配職員）は、円滑な学校運営において欠かせない存在である。今後も継続するとともに、この加配の状況をさらに市民に知らしめていただきたい。</p>
8	コミュニティスクール事業	<p>私も経験があるが、地域の大人が学校に入り、自分の持つ技能等を子どもたちに教えることは、教える側にとっても「やりがい、生きがい」を感じることができる貴重な機会となっている。地域の方が未来を担う子どもたちへのボランティア精神を一層高めていくためにも、学校応援隊等に対する謝礼は無償化が望ましいと考える。</p>
		<p>学校応援隊に係る人材バンクへの登録化にあたっては、コミュニティスクール事業の支援メニューに含まれないような特技・技能も調査・登録してはどうか。このことにより、学校側の需要に幅広く応えられることが期待できる。</p>
		<p>私の近所でも、市外等から小学校低学年の子どもを持つ家族が入学式に合わせて転入してくる例が増えている。こうした中、近所の小学2年生の女兒が自力で下校中、自分の家の方向がわからず道に迷ってしまったことがあった。幸いにも子どもは無事であったが、一歩間違えば重大な事故・事件につながる可能性がある。</p> <p>転入の際には、小さな子どもに対し、家庭などであらかじめ通学路等の地理を把握させておくことが重要である。あわせて、入学間もない時期や犯罪発生、自然災害等の緊急時において、地域の方が通学路の要所に立ち、子どもたちを見守ることができる仕組みづくりを検討してほしい。</p>
9	中学生議会事業	<p>選挙権年齢が18歳に引き下げられたことや、子どもたちがどのように社会から守られているかを自身が知るなど、政治や社会に関心を持つためにも中学生議会の取り組みは評価できる。</p> <p>今後、中学生議会に参加する生徒の増とともに、取り上げた議題を生徒たちがどのように、だれに還元していくのか、さらに検討してほしい。</p>

		<p>中学生議会での生徒の意見・提言はもとより、それに対する市長はじめ市の幹部の答弁も市政を理解するうえで大変参考になる。中学生議会におけるやり取りを、広く市民に知ってもらえるよう一層努力してほしい。</p>
11	入学準備金貸付制度	<p>入学準備金貸付制度利用者が年々減少傾向にある。この状態が今後も続けば、要因等を検証するとともに、借り入れ条件、手続等を見なおすことも必要ではないか。</p>
12	学校安全対策事業	<p>本市においても空き家が問題となっているが、例えば通学路上に空き家が増えれば、ハチの巣に気づくのが遅れるなど、子どもたちにとっても危険性が増すことになる。このため、市長部局とも連携協力しながら、空き家問題に起因する子どもへの被害防止に取り組んでほしい。</p> <p>また、本市においても歩車分離式信号機が設置されている交差点(スクランブル交差点)が増えてきている。予算等の事情はあると思うが、子どもたちの安全確保の観点から、学校近くの大きな交差点では歩者分離式信号機を設置するよう関係機関に働きかけてほしい。</p>
13	小・中学校施設改修事業	<p>小学校へのエアコン設置は、子どもの学習環境の向上とともに、学校の授業等を通して、節電の大切さなど地球環境への負荷軽減を学ぶ機会としてほしい。</p> <p>また、本市では、そのまま飲めるような地下水を水洗トイレに使用している。このことが「当たり前」でなく、機会をとらえながら恵まれた本市の自然環境に感謝の心を持ち、水資源の大切さを子どもに教えていってほしい。</p>
14	給食事業	<p>ごみ減量の観点からも、できるだけ「食べ残し」が発生しないよう今後も努力してほしい。</p> <p>また、給食費の徴収について努力されていると思うが、徴収率の一層の向上に努めていただきたい。</p>
15	青少年健全育成事業	<p>子どものスマホ等の利用について、子どもたちがどのようなことをしているか親はわからない部分がある。スマホ等の安全な使用方法等の講演会を、親には親に対する内容・子には子供に対する内容でというように、別々に機会を作っていただければいいのではないか。その際の実施する時間帯は、勤めている方も多くいるので保護者の集いやすい時間帯で実施いただきたい。(また、1回だけでなく何回か開催いただきたい)</p> <p>成人式の記念品については予算削減のこともあるのでタンブラーを削り写真だけでも良いのではないか。</p>

16	生涯学習講座実施事業	市民大学講座 特別編で講演いただいた金澤翔子さんの書かれた作品を庁舎の1階等で展示いただきたい。 ⇒ 補強をしてから1階ロビーに展示予定
17	社会教育団体支援事業	芸文協に入っていないなくても文化祭等に参加している人が大勢いる。手続き等が面倒で芸文協に入らないのかもしれないが、多くの人に入っていていただき交流を深めることが大切だと考える。芸文協に入れば施設利用について減免になる等、芸文協に入ることのメリットをもっと宣伝した方がよいと考える。
20	中央公民館事業	安曇野市総合芸術展等の開催について広報には掲載していると思うが、掲載する時期が早すぎて忘れてしまうことがあるので、周知の方法等工夫いただければと思う。
21	交流学習センター等事業	0歳からのミニコンサートについては、会場で子どもさんが泣いたり騒いだりしてもよいコンサートとのことだが、最後には、コンサートのマナーについても指導してもらいたい。 音楽を好きになるための、子どもにとってよい機会なので続けていただきたい。
22	図書館活動推進事業	保育園でも早朝保育ということで職員以外の方が1時間早く出勤して対応している。図書館も7月終わりから8月20日頃までの1ヶ月間だけでも、臨時の職員等を頼むなどして1時間早く9時頃から開館することはできないか。夏の10時だと暑くてなかなか行くことが躊躇われる。
23	人権教育推進事業	指導員をしているが、昨年度担当した地区で、市の職員に出向いてもらって講師をしてもらったところ、非常によい内容であった。市の職員が地域に出向いて講演をしていただけるのは、非常に有意義であり今後も続けていただきたい。また、各地域でもそのような方を選んでいただくことも大事だと思う。
24	人権啓発事業 (安曇野市1/2成人式記念 人権・平和特別授業 ~kizuki~)	長時間話を聞いている講演よりも、人権に関するミュージカルの方が良いと感じた。(「とべないホテル」は非常に良かった)
25	体育団体等支援事業	体育施設の減免のみを目的として体育協会やスポーツ少年団に加盟しようとする団体が増えてきている。 事務局で注意等しているが、市教委でも指導していただくことも必要と考える。

<b>報告事項 第1号</b>	教育部 学校教育課
令和元年8月19日提出	(課長)平林 洋一 (担当係長)山本 紀子

タイトル	私立高校に対する公費助成についての陳情書について																																				
報告を要する事項の内容	陳情の提出についての報告																																				
要旨	<p>中信地区私学助成推進協議会から、私立高校に対する公費助成の陳情書が提出されたもの。</p>																																				
説明	<p>1. 陳情書の要旨</p> <p>(1) 私立高校への経常費補助金(生徒数分割)の継続を行っていただきたい。</p> <p>(2) 国・県の関係者に対して、就学支援金制度の拡充並びに私学助成の増額のための意見書をあげていただきたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【国・県向けの意見書要旨】</p> <p>① 私立学校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を行うこと。</p> <p>② 私立学校の教育条件改善のために施設、設備費の補助を行うこと。</p> <p>③ 私立高校の保護者負担を軽減するため学納金の補助を行うこと。</p> </div> <p>2. 平成30年度 中信地区私学助成推進協議会各校への助成状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学校名</th> <th style="text-align: center;">生徒 総数</th> <th style="text-align: center;">市内在住 生徒数</th> <th style="text-align: center;">安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松商学園高等学校</td> <td style="text-align: center;">1,332人</td> <td style="text-align: center;">186人</td> <td style="text-align: right;">1,860,000円</td> </tr> <tr> <td>松本第一高等学校</td> <td style="text-align: center;">614人</td> <td style="text-align: center;">82人</td> <td style="text-align: right;">820,000円</td> </tr> <tr> <td>松本国際高等学校</td> <td style="text-align: center;">648人</td> <td style="text-align: center;">73人</td> <td style="text-align: right;">730,000円</td> </tr> <tr> <td>エクセラシオン高等学校</td> <td style="text-align: center;">344人</td> <td style="text-align: center;">38人</td> <td style="text-align: right;">380,000円</td> </tr> <tr> <td>信濃むつみ高等学校</td> <td style="text-align: center;">420人</td> <td style="text-align: center;">55人</td> <td style="text-align: right;">550,000円</td> </tr> <tr> <td>東京都市大学塩尻高等学校</td> <td style="text-align: center;">826人</td> <td style="text-align: center;">54人</td> <td style="text-align: right;">540,000円</td> </tr> <tr> <td>松本秀峰中等教育学校</td> <td style="text-align: center;">239人</td> <td style="text-align: center;">26人</td> <td style="text-align: right;">260,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">4,423人</td> <td style="text-align: center;">514人 (11.62%)</td> <td style="text-align: right;">5,140,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※松本秀峰中等教育学校は、後期課程が助成対象</p>	学校名	生徒 総数	市内在住 生徒数	安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円	松商学園高等学校	1,332人	186人	1,860,000円	松本第一高等学校	614人	82人	820,000円	松本国際高等学校	648人	73人	730,000円	エクセラシオン高等学校	344人	38人	380,000円	信濃むつみ高等学校	420人	55人	550,000円	東京都市大学塩尻高等学校	826人	54人	540,000円	松本秀峰中等教育学校	239人	26人	260,000円	合計	4,423人	514人 (11.62%)	5,140,000円
学校名	生徒 総数	市内在住 生徒数	安曇野市からの補助額 ※市内生徒1人×10,000円																																		
松商学園高等学校	1,332人	186人	1,860,000円																																		
松本第一高等学校	614人	82人	820,000円																																		
松本国際高等学校	648人	73人	730,000円																																		
エクセラシオン高等学校	344人	38人	380,000円																																		
信濃むつみ高等学校	420人	55人	550,000円																																		
東京都市大学塩尻高等学校	826人	54人	540,000円																																		
松本秀峰中等教育学校	239人	26人	260,000円																																		
合計	4,423人	514人 (11.62%)	5,140,000円																																		



安曇野市教育長  
橋渡 勝也 様

令和元年 7月30日

中信地区私学助成推進協議会  
会長 山田 和 男  
事務局 エクセラン高等学校  
松本市里山辺4202  
TEL 0263-32-3701  
FAX 0263-35-9080

## 私立高校に対する公費助成をお願いする 陳 情 書

謹啓 貴職におかれましては、日頃、私立高校の振興のために格別のご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。また、私学助成につきましてもご配慮賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中信地区私学助成推進協議会〔松本第一高等学校・東京都市大学塩尻高等学校・信濃むつみ高等学校・松本国際高等学校・松商学園高等学校・松本秀峰中等教育学校・エクセラン高等学校で構成〕では、中信地区の私立高校への助成と国・県への意見書送付を要請する運動に取り組んでおります。

私学は独自の建学の精神に基づき、生徒の個性を育むことによって、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げてまいりました。平成26年度より「就学支援金」制度が改正され、家庭の教育費負担は軽減されておりますが、支援金が授業料の負担軽減であるために、保護者の多くは公立と私学では学費の差は大きいと実感しているところであります。また、景気は本年度後半にかけて消費税増税に係る不安要素による内需の伸びの鈍化も予想されることから、保護者の学費負担は深刻な状況が続いております。

私学助成の主体をなす国・県からの補助金は一定の前進はみられるものの、特色ある教育活動を求めて子どもたちが通う学校には、施設の整備・拡充をはじめとする教育環境の改善が求められており、私立高校の経営は極めて厳しいものとなっております。このことは生徒減少期にあって一層強くなっており、私たち保護者を含む学校の自助努力だけでは対応しきれないのが現状であります。

安曇野市におかれましては、平成23年度より私立高校等運営費補助金として再び予算を計上していただき深く感謝申し上げます。

今年度、安曇野市から中信地区私学7校へ493名の生徒さんをお預かりしています。それぞれ自分の夢の実現に向けて学習をはじめ、部活動、生徒会活動等に励んでおります。

貴市の財政状況も引き続き厳しいところとは存じますが、公教育の一翼を担う私学振興のために、さらにもう一層のご理解ご支援を賜りたく、下記のとおり陳情申し上げます。

敬白

### 記

- 1 私立高校への経常費補助金（生徒数分割）の継続を行って下さい。
- 2 国・県の関係者に対して、就学支援金制度の拡充並びに私学助成の増額のための意見書をあげて下さい。

以上

中信地区私学助成推進協議会  
会長 山田 和 男  
事務局：エクセラン高等学校  
松本市里山辺4202  
TEL 0263-32-3701  
FAX 0263-35-9080

1 「意見書」の見本

右ページをご参照下さい。国宛・県宛の各例

2 「意見書」の送付先

国宛

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

県宛

長野県知事・長野県総務部長

3 「意見書」の内容についてのお願い

「国づくりは人づくり」の言葉のように教育の重要性は世界の共通認識となっています。公教育の一端を担う私立学校は、それぞれの建学の精神に基づき、社会の変化と時代の要請に応じて教育改革を推進し、魅力と特色ある学校づくりに努めています。

2010年度より「高等学校就学支援金」政策が実施されましたが、学費負担の深刻な状況が未だ続いており、多くの保護者・生徒が公立高校との学費格差をなくしてほしいと願っています。

また、長野県の公教育を支えてきた私立高校の経営は極めて厳しいものとなっています。さらに施設設備の整備の拡充等、教育環境の一層の改善が強く求められており、これらへの取り組みは自助努力だけでは対応しきれない状況にあります。

そこで、

- (1) 私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額
- (2) 教育条件改善のための施設、設備費の補助
- (3) 保護者負担を軽減するために、授業料軽減補助の増額

以上の3点の項目をあげて戴きたく、よろしくお願いたします。



# 中信地区私学助成推進協議会について

## 設立趣意

中信地区の各市町村に対し、私学助成を要請する活動は、学校経営者による松本市への陳情活動によって始まった。そしてその後、昭和52年より、中信地区私立高校5校の教職員で組織する『私学助成要求中信地区連絡会議』（昭和60年『中信地区私学助成をすすめる会』と改称）による各市町村への請願署名活動も行われるようになってきた。その中でPTAはこの活動の重要性を理解しつつ、経営者・教職員それぞれの活動に対し、協力を行ってきた。

これらの活動の結果は、次第にあらわれ、助成方法の違いはあるものの、現在では中信地区全ての各市町村で何らかの私学助成制度が確立されるに至っており、このような状況は全国にも例をみないものである。

しかしながら、助成額についてはまだ十分とはいえず、増額が望まれるところであるが、昨今の補助金抑制の動きのなかで伸び悩んでいる。また、1991（平成3）年から始まる生徒急減期に備えて、一層私学助成の充実が必要となることは言うまでもない。そこで、そのためには、各市町村議会や行政側からの活動一本化への強い要望もあり、「中信地区私学7校関係者が一丸となつての活動こそが必要である」という考えにたつて、今まで、学校経営者・教職員がそれぞれPTAの協力をえて行ってきた活動を一本化し、より強力な動きにしていきたいと考えるのである。

## 会の目的

中信地区私立高校への私学助成の充実を要請する署名活動またはPR活動により、各市町村への請願陳情を行う。

## 組織の構成と運営

中信地区の私立高校理事者・管理者、保護者、教職員で構成する。

代表者会議を置き、活動内容・予算・決算等を決定し、監査結果の報告を受ける。

代表者会議は、各校3名（理事者・管理者、保護者、教職員代表）、事務局校は4名、計19名があたる。

連絡会議を置き、代表者会議へ活動の提言をする。連絡会議は、各校の代表者1名以上で構成する。オブザーバーの参加も可能である。

事務局校を置き、各校輪番制とする。事務局は、記録・会計を含む事務処理を行う。

監事は、代表者会議構成員とは別の2名があたる。会計及び活動内容を監査し、代表者会議へ報告する。

# 令和元年度 中信地区私学助成推進協議会『役員体制』

会長	—————	山田 和男	(エクセラシ)	事務局校のPTA 会長
副会長	—————	愛瀬 三枝	(松本第一)	次年度事務局校のPTA 会長
//	—————	安藤 善二	(エクセラシ)	事務局校の校長
//	—————	斉藤 達	(エクセラシ)	事務局校の教職員
運営委員	—————	宮坂 恵	(都市大塩尻)	会長・副会長校を除く 5 校のPTA
//	—————	福島 紀子	(信濃むつみ)	//
//	—————	中澤 愛子	(松本国際)	//
//	—————	大日方 洋輔	(松商学園)	//
//	—————	原 浩志	(松本秀峰)	//
//	—————	山崎 猛	(松本第一)	会長校を除く 6 校の校長
//	—————	三浦 章	(都市大塩尻)	//
//	—————	水野 好清	(信濃むつみ)	//
//	—————	永原 経明	(松本国際)	//
//	—————	上條 隆	(松商学園)	//
//	—————	小宮山 淳	(松本秀峰)	//
//	—————	倉田 英明	(都市大塩尻)	事務局校・次長校を除く 5 校の教職員
//	—————	野村 繁伸	(都市大塩尻)	//
//	—————	佐藤 祐一	(信濃むつみ)	//
//	—————	由上 優太郎	(信濃むつみ)	//
//	—————	岩下 益夫	(松本国際)	//
//	—————	野原 康平	(松本国際)	//
//	—————	宮澤 亜希良	(松商学園)	//
//	—————	山村 右近	(松本秀峰)	//
事務局長	—————	斉藤 達	(エクセラシ)	事務局校の教職員
事務局次長	—————	藤原 諒	(松本第一)	次年度事務局校の教職員
//	—————	原 一彰	(松本第一)	//
//	—————	大澤 栄子	(松本第一)	//
//	—————	長岡 邦彦	(松本第一)	//
事務局	—————	窪田 大二	(エクセラシ)	事務局校の事務長
//	—————	小柳 和隆	(エクセラシ)	事務局校の教職員
//	—————	竹内 隆宏	(エクセラシ)	//
//	—————	百瀬 晴海	(エクセラシ)	//
//	—————	井出 由紀子	(エクセラシ)	//
監事	—————	塩入 健一	(松本秀峰)	前年度事務局校の事務長
//	—————	山村 右近	(松本秀峰)	// 教職員

H30年度 私立高等学校運営費補助金一覧

補助金額 = 補助対象生徒数(A) × 10,000円

※補助対象生徒:H30年5月1日現在で安曇野市に住所を有する生徒

No.	文番番号		住所	学校名	校長名	生徒総数 (人)	補助対象生徒数(人)			補助金額(円) A×10,000円	用途	備考	申請日	交付決定日	支払日	実績報告日	交付確定日	精算日	
	交付決定	交付確定					合計(A)	全日制	通信制										構成率
1	30学第1646号	30学第4748号	〒390-8515 松本市栗3丁目6番1号	学校法人 松商学園 松商学園高等学校	上條 隆	1,332	186	186	14.0%	1,860,000	教育研究に要する経 常的経費として		6月13日	7月19日	8月15日	3月15日	3月29日		
2	30学第1646号	30学第4748号	〒390-0303 松本市浅間温泉1丁目4番17号	学校法人 外語学園 松本第一高等学校	山崎 猛	614	82	82	13.4%	820,000	教材費として		7月6日	7月19日	8月15日	3月15日	3月29日		
3	30学第1646号	30学第4748号	〒390-0036 松本市村井町南3丁目6番25号	学校法人 理知の社 松本国際高等学校	永原 経明	648	73	67	11.3%	730,000	教育研究経費として		6月29日	7月19日	8月15日	3月15日	3月29日		
4	30学第1646号	30学第4748号	〒390-0221 松本市星山辺4202	学校法人 松本昭和学園 工クセツン高等学校	安藤 善二	344	38	38	11.0%	380,000	私立高等学校運営費 として		7月11日	7月19日	8月8日	3月15日	3月29日		
5	30学第1646号	30学第4748号	〒390-0832 松本市南松本1-13-26	学校法人 外語学園 信濃むつみ高等学校	水野 好清	420	55	55	13.1%	550,000	通信経費として		6月12日	7月19日	8月15日	3月15日	3月29日		
6	30学第1646号	30学第4748号	〒399-0703 塩尻市広丘高出2081	学校法人 五馬英会 東京都市大学塩尻高等学校	三浦 肇	826	54	54	6.5%	540,000	教材費として		6月21日	7月19日	8月8日	3月7日	3月29日		
7	30学第1646号	30学第4748号	〒390-0813 松本市埋蔵2丁目1番1号	学校法人 松商学園 松本秀峰中等教育学校	小宮山 淳	239	26	26	10.9%	260,000	学習環境・設備の充実 のための	※後期課 程のみ対 象	6月11日	7月19日	8月8日	3月4日	3月29日		
				計		4,423	514	508	11.6%	5,140,000									

<b>報告第2号</b>	教育部 生涯学習課
令和元年8月19日	(課長) 白井 隆昭 (担当係長) 布山 幸子

タイトル	2027 長野国体競技会場の決定について
要旨	<p>7月31日に開催された、第82回国民スポーツ大会(国体)長野県準備委員会の第3回常任委員会(総会)において、国体競技会場の2次選定分が正式決定した。</p> <p>市では、バレーボール(6人制)とウエイトリフティングの会場地として選定された。</p>
説明	<p>長野県準備委員会では、第82回国民スポーツ大会(国体)の競技会場2次選定分16競技15市町を決定した。また、国体終了後に開催する第27回全国障害者スポーツ大会は、10競技5市を1次選定分として同時に決定している。</p> <p style="text-align: right;">(資料1参照)</p> <p>1 安曇野市の概要</p> <p>(1) 選定競技(2競技)</p> <p style="padding-left: 2em;">バレーボール(6人制) 少年女子 (バレーボールは、松本市と大町市で共同開催) ウエイトリフティング 全種目</p> <p style="padding-left: 2em;">※今回の障害者スポーツ大会競技会場地の選定は該当無し。</p> <p>(2) 開催施設</p> <p style="padding-left: 2em;">バレーボール 新設体育館(仮称) ウエイトリフティング 三郷文化公園施設体育館</p> <p>2 県の準備計画について</p> <p style="padding-left: 2em;">2021年3月まで 全競技会場の決定 2021年 中央競技団体会場地正規視察 2022年 長野県開催地内定 2023年 国民体育大会から国民スポーツ大会に名称変更 2024年 日本スポーツ協会・文科省総合視察 長野県開催地決定 2026年 リハーサル(プレ)大会 2027年9月～10月 第82回国民スポーツ大会(国体) 開催期間：11日間 10月 第27回全国障害者スポーツ大会 開催期間：3日間</p>

## 第82回国民体育大会 競技会場地市町村第2次選定

## 【市町村別】

No.	市町村名	競技・種目名		種別	開催予定施設
1	長野市	サッカー		成年女子	南長野運動公園総合球技場（長野Uスタジアム） 長野運動公園総合運動場陸上競技場
		ボウリング		全種別	ヤングファラオ
2	松本市	サッカー		少年男子	サンプロアルウィン（松本平広域公園総合球技場） 松本平広域公園芝生グラウンド 松本平広域公園球技場 松本市サッカー場
		バレーボール	6人制	成年男子 成年女子	松本市総合体育館
		自転車	トラック・レース	全種別	松本市美鈴湖自転車競技場
		軟式野球		成年男子	松本市野球場 松本市四賀野球場（仮称）
		なぎなた		全種別	松本市総合体育館
3	上田市	ハンドボール		少年男子	上田市自然運動公園総合体育館
		軟式野球		成年男子	県営上田野球場
4	飯田市	高校野球	軟式		綿半飯田野球場
5	諏訪市	軟式野球		成年男子	しんきん諏訪湖スタジアム
6	中野市	剣道		全種別	中野市民体育館
7	大町市	サッカー		少年女子	大町市運動公園サッカー場 大町市運動公園陸上競技場
		バレーボール	6人制	少年男子	大町市運動公園総合体育館
8	茅野市	軟式野球		成年男子	茅野市運動公園野球場
9	塩尻市	バドミントン		全種別	塩尻市新体育館（仮称）
		銃剣道		全種別	塩尻市新体育館（仮称）
10	佐久市	軟式野球		成年男子	佐久総合運動公園野球場
		柔道		全種別	長野県立武道館
		空手道		全種別	長野県立武道館
11	千曲市	ハンドボール		全種別	千曲市更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲） 千曲市戸倉体育館 千曲市戸倉上山田中学校体育館
12	東御市	ボクシング		全種別	東御中央公園第一体育館
		ハンドボール		成年女子	東御中央公園第一体育館

No.	市町村名	競技・種目名		種別	開催予定施設
13	安曇野市	バレーボール	6人制	少年女子	安曇野市新設体育館（仮称）
		ウェイトリフティング		全種別	安曇野市三郷文化公園体育館
14	富士見町	自転車	ロード・レース	全種別	富士見町特設自転車ロード・レースコース
15	高森町	カヌー	スラローム	全種別	高森町新設カヌー競技場
			ワイルドウォーター		

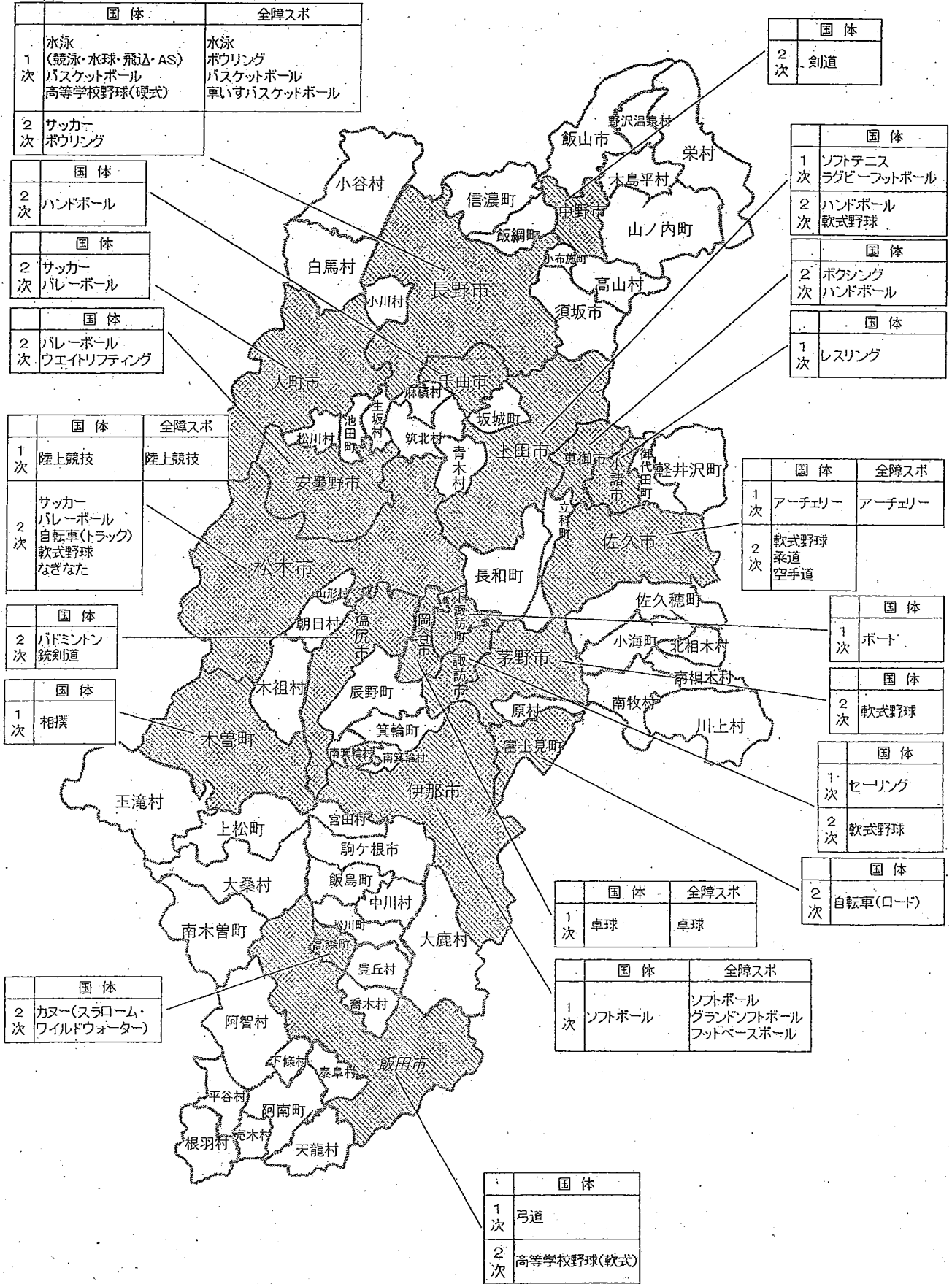
15 市町 16 競技

（留意事項）

- 開催予定施設は、今後中央競技団体視察の視察結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。
- 本県が開催予定の第82回大会の実施競技は、（公財）日本スポーツ協会において、2021年3月末までに正式決定となる予定のため、実施競技（種目・種別を含む。）が変更になる可能性もある。

・国体競技会場地市町村 (第1次選定+第2次選定) 29競技 / 20市町 (別紙)

・全障スポーツ競技会場地市町村 (第1次選定) 個人5競技・団体5競技 / 5市



<b>報告第3号</b>	教育部 各課
令和元年8月19日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	学校教育課 6件 生涯学習課 8件 文化課 6件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	



学校教育課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 30 29 28	H 30 29 28	所管課 意見
13	R1.7.16	学校教育	学社連携・協働フォーラム	長野県中道教育事務所 所長 大塚 俊英	長野県教育委員会事務局中道教育事務所	後援	管内の学校教育職員及びPTA関係者等への参加を呼びかけるため。	7月12日	令和元年11月30日(土)	専決	農教委及び過去承認	○	7月18日	長野県総合教育センター	子ども達を豊かに育てるために、学校・家庭・地域それぞれができることを考え合い、よりよい連携・協働のあり方を共有する機会とする。	『学校を核とした地域コミュニティをめぐって』をテーマに、西祐輔氏による「地域」ともにある学校づくりを指して」と題した講演会等。	○	○	基準第3条第1項第4条第1号及び2号により可
14	R1.7.18	学校教育	世界へはばばたけ！国内英語留学	特定非営利活動法人教育支援協会長野代表 表理事 芝野	特定非営利活動法人教育支援協会長野代表 表理事 芝野	後援	教育支援協会の推進する土曜・放課後活動の内容、状況を広く知ってもらう、多くの方の賛同と支援を得、地域ボランティア等のネットワークを広げたいため。	7月17日	令和元年9月7日(土)・8日(日)	専決	過去承認	○	7月22日	塩嶺体験学習の家	外国人ボランティアと週末を一緒に生活することにより、英語を普段の生活の中でのコミュニケーションツールとして意識し、身の回りにある題材を用いて英語を使って楽しい活動をしなから、英語でコミュニケーションをとれた喜びを感じてもらい、英語への興味・関心を育む。	異文化理解、コミュニケーション活動、英語での他教科授業を軸に美除の生活の中で英語に慣れ親しむ体験をするプログラム。対象：小学3年～6年生。定員：30名。参加費：15,000円(現地集合・解散：12,000円)	○	—	基準第3条第2項第4号及び第2号により可
15	R1.7.18	学校教育	2019JDDnetセミナー	JDDnetながの(日本発達障害ネットワーク) 新保 文彦	JDDnet(日本発達障害ネットワーク)・JDDnetながの(日本発達障害ネットワーク)ながの	後援	発達障害に関する全国的な講師等を招聘してのセミナーであり、発達障害のある人、家族や発達障害の関係者にとって有用な内容であることから、多くの市民及び関係者に参加を呼びかけるため。	7月16日	令和元年9月14日(土)	専決	過去承認	○	7月22日	安曇野市豊科公民館ホール	日本発達障害ネットワークと日本発達障害ネットワークながのの主催、長野県内の発達障害者の会や発達障害に関わる職能団体の共催による発達障害の啓発と研修を目的としたセミナー。今回は「発達障害と意思決定」をテーマに講演と教育・医療・福祉をつなぐシンポジウムを行う。	テーマ「発達障害と意思決定」。講演会及びシンポジウム。定員：500名。参加費：会員1,000円。一般3,000円	○	○	基準第3条第2項第4号及び第2号により可

学校教育課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 30 29 28	H 30 29 28	所管 意見
16	R1.7.22	学校教育	安曇野の子どもを語る会	安曇野市教育会 坂本 邦章	安曇野市教育会	後援	市教育委員会の後援により、安曇野市の健全育成を推進し、さまざまな立場で情報交換を行い、意見交換を取り合っていくため。	7月9日	令和元年10月5日(土)	専決	過去承認	○	7月24日	南安曇教育文化会館	「青少年の健全育成を推進し、学校・各団体・諸機関が連携を取りながら、学校・家庭・地域間の教育力をどう高めるか」というテーマについて考える機会とする。	・討議テーマ:「地域・学校・家庭で守る子供の安心・安全」～安曇野の子どもを三者が連携してどう守るか～ ・参加範囲:市内小中高学校職員、PTA、子ども育成会、教育委員会、幼稚園・認定こども園職員、各地区実践者(地域コーディネーター、主任児童委員、地区公民館関係者、原簿館関係者、福祉協議会、社会教育実践者、安曇野警察署生活安全課職員、安曇野少年警察ボランティア協会等) ・参加予定者数:約120名	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
17	R1.7.23	学校教育	第7回信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会 高橋 秀生	信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会	信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会	後援	広域的に安曇野市をPRするイベントであり、地域経済の活性化に寄与するとともに安曇野の食文化を発信するイベントであるため。	7月18日	令和元年11月9日(土)・10日(日)	専決	過去承認	○	7月26日	穂高神社北神苑・南神苑及びその周辺	高工業者・農林業者・関係機関が連携を図り、新そばと地元産の「食」を軸とした安曇野の「食と食」を国内外、海外からの来場者に提供していただき、また、新そば・米・果物などの地域資源を販売・PRするとともに、安曇野の地域資源を国内外、世界へ広く発信することを目的に開催する。	新そば、安曇野の農産物、安曇野産商品の販売。 参加料:土産企業から徴収(プーンズ規模により可変)	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
18	R1.8.5	学校教育	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019信州まつもと	リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州まつもと実行委員会 眞一 石塚	リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州まつもと実行委員会 法人日本対がん協会	後援	全国的に子ども達へのがん教育が必要とされているため。	8月1日	令和元年9月7日(土)・8日(日)	専決	過去承認	○	8月9日	やまびこドーム	がん患者支援、がん征圧のためのチャリティイベント	夜通しイベント、開会式と閉会式、サイバーシップ、ルミネリアイゼルモニーター、対がん活動(啓発)、募金活動、喫煙の害を訴える。	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 30 29 28	H 29 28	H 29 28	所管 種 意見
38	R1.7.11	社会教育担当	第10回安曇野市囲碁・将棋大会	安曇野市囲碁・将棋大会実行委員会 実行委員 長 大須賀 欽一	安曇野市公民館施設を借りて大会を開催する。囲碁・将棋を通じた市内住民の親睦・交流を図る。	後援	安曇野市の公民館施設を借りて大会を開催する。囲碁・将棋を通じた市内住民の親睦・交流を図る。	7月11日	令和元年11月24日(日)	○承認	過去承認	○	7月12日	安曇野市明科公民館	日本の伝統文化である囲碁や将棋の良さを改めて見直し、趣味の発見・技術の向上、市民の交流と幅広い年齢層への普及を図るもの。	囲碁の部、将棋の部に分かれ試合 参加料:1人1,000円(高校生以下500円)	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
40	R1.7.18	社会教育担当	2019年「戦争と平和展in安曇野」	平和憲法を活かす安曇野の会 長谷川陽子	平和憲法を活かす安曇野の会	後援	平和を市民に訴え、都市宣言の発展に寄与する。	7月2日	令和元年8月14日(水)~15日(木)	○専決承認	過去承認	○	7月19日	安曇野市役所本庁舎1階ロビー	広島原爆展・沖繩戦とその後で見る基地、安曇野における憲法の会場の歴史。パネル展示により平和と生かせることを伝える。	広島原爆資料・沖繩戦とその後の資料・慰霊祭・写真で見る基地。安曇野での平和憲法の歴史。	○	-	-	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
42	R1.7.18	社会教育担当	第14回あまみ野おなまキッズ	あまみ野おなまキッズ 玉村 昌代	あまみ野おなまキッズ	後援	安曇野市内の小学校や公的施設でチラシ配布し、あまみ野おなまキッズ開催の広報を行うため。	7月17日	令和元年8月24日(土)	○承認	過去承認	○	7月19日	福金公民館調理実習棟	主に子どもを対象に食事をふるまい、大人も高齢者も立ち寄って一緒にご飯を食べながら遊ぶような場、子どもが安心して遊んだり学習したりできるような「居場所」をつくることを目的とする。	参加費:大人300円、子ども(高校生まで)無料 メニュー:夏野菜カレー、サラダ、デザート	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
44	R1.8.1	スポーツ推進担当	第54回長野県知事杯争奪卓球大会	安曇野市卓球クラブ 井口 美雄	安曇野市生涯スポーツセンター(安曇野市種高卓球クラブ)	後援	幅広い市民の皆様に応援を促していただくため。	7月15日	令和元年9月8日(日)	○承認	過去承認	○	8月2日	種高会館アリーナ	地域文化体育活動と健全な地域社会の発展及び地域の活性化と愛好家の底辺拡大	小学生〜一般までの男女団体のリーグ戦を行い、トップ2位のトーナメント戦 予定者人数:県内より約600人 一般団体の部1チーム各3,000円、ジュニア団体の部1チーム4,300円	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 30 29 28	H 30 29 28	所管 課 意見
46	R1.8.2	スポーツ推進担当	令和元年度「第26回安曇野卓球連盟ペナラン卓球大会」	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	後援	社会教育一環として必要。	7月22日	令和元年9月15日(日)	○	過去承認	○	8月5日	堀金総合体育館サブアリーナ	中高年者(30歳以上)を対象に生進スポーツの一つとして、卓球競技を通じて楽しむ者の拡大を図る。	参加対象:安曇野市内に居住又は通勤し、翌年4月1日までに満30歳に達している者。 予定参加者約24名。 競技方法:3ダブルスによる予選リーグ及び決勝リーグ 参加料:1人1,000円	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
47	R1.8.2	スポーツ推進担当	令和元年度(第26回)安曇野卓球選手権大会兼長野県卓球選手権大会安曇野市予選会	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	後援	社会教育一環として必要	7月22日	令和元年9月13日(日)	○	過去承認	○	8月5日	安曇野市堀金総合体育館	安曇野卓球選手権大会と同時に長野県卓球選手権大会安曇野市予選会を行い、県民大会(10月19・20日:須坂市市民会体育館)の出場代表者を決めるため。	競技種目:男子シングルス、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス 競技方法:各種目共同ナメント方式、試合はすべて11本5ゲームスマッチ(3点先取)で行う。 参加料:シングルス1人1,000円、ダブルス1組1,600円	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
48	R1.8.2	スポーツ推進担当	第31回中信あづみの交流明科杯ミニバスケットボール大会	安曇野市バスケットボール協会 会長 古澤 栄一	安曇野市バスケットボール協会 会長 古澤 栄一	後援	バスケットを通じて、小学生同士の技術の向上を図っている大会です。	8月1日	令和元年9月29日(日)	○	過去承認	○	8月7日	明科体育館	バスケットを通して、小学生同士の技術の向上を図る。	小学生のミニバスケットボール大会。 試合方法:トーナメント方式 参加料:1チーム2,000円	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
49	R1.8.5	社会教育担当	文部科学大臣賞争奪「全日本健康麻痺時選手権」長野大会	全日本健康麻痺協議会 岡田 彦	全日本健康麻痺協議会 和 彦	後援	安心して参加できる環境づくりのため	8月5日	令和元年10月14日(月)	○	過去承認	○	8月7日	松本市総合社会福祉センター3階	健康麻痺を生涯学習として捉え、市民がいきいきと暮らせる地域社会の実現を目指します。	参加費:2,800円 1回戦から4回戦	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H28	H29	所管課 見
39	令和元年7月12日	文化	オペラを楽しむ 会第10回記念公演 演 歌劇「椿姫」	オペラを楽しむ 会	主宰 倉科京子	オペラを楽しむ 会	後援	広く一般の方 に公演を知っ ていただき、 たくさんの方 に来ていた だきたい。	7月11日	令和2年 5月3日 (日)	過去承認	承認	7月16日	まつもと市 民芸術館主 ホール	松本市を中心に地域発の音 楽文化をオペラという形で表 現しようとする音楽家を結 成。地域の音楽家や愛好家 に練習や発表の場を提供し 育成するとともに地域の 方々が気軽にオペラに触れ ることができ、地域の音楽文 化の向上に貢献する。	ベルディ作曲、オペラ「椿姫」 (イタリヤ原語上演字幕付 き)の公演を開催する。詳細 については別添1のとおり。 入場料:大人5,000円、大学 生2,000円、小・中・高校生 1,000円、参加費:35,000円、 楽譜代:7,000円	○	-	○	取扱 基準 第4 条第 2号 によ り可
40	令和元年7月12日	文化	第55回彫刻展	彫刻展の会	吉江 秀 泰	彫刻展の 会	後援	多くの安曇野 市在住者を含 み、そのほと んどが60歳 以上の出品者 による彫刻作 品展である。 貴市の進める 生涯学習・芸 術文化振興に 寄与するであ る。制作者の 自己研さんに 励む姿勢を受 け止めて後援 いただきたい。	7月12日	令和元年 11月15日 (金)~ 11月17日 (日) 搬入日11 月14日 (木)	過去承認	承認	7月19日	礪山公園研 成ホール	第55回彫刻展として自己研 さんによる彫刻作品を展示・ 発表することにより、地域の 芸術文化の振興・発展に貢 献する。	会員18名による約50点の彫 刻・ブツカン作品を展示す る。参加料は1人8,000円、 入場料は無料	○	○	○	取扱 基準 第4 条第 2号 によ り可
41	令和元年7月17日	文化	日本クラウン吟 友会信州地区吟 刺詩舞道大会	日本クラウン 吟友会信州 地区	塩澤 宗鳳	日本クラ ウン吟友 会信州地 区	後援	後援により広 く一般に周知 し大会を充実 させたい。	7月17日	令和元年 11月17日 (日)	過去承認	承認	7月19日	安曇野市明 科公民館	会員相互の親睦を図ると共 に吟刺詩舞道の普及向上を 目的として大会を開催する。	会派合吟コンクール、理事 吟刺詩舞等を発表する。参 加費:3,000円	○	○	-	取扱 基準 第4 条第 2号 によ り可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和元年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管課意見
44	令和元年7月24日	文化	第13回磯山美術館友の会展	磯山美術館友の会 友の会 長 幅谷啓子	磯山美術館友の会	後援	安曇野市民の方々に友の会の活動の一環として、ご賞いただいた美術館にもつと関心をもちたいとお願いいたします。	7月24日	令和元年10月18日(金)～10月22日(火) 搬入日10月17日(木)	○	過去承認		7月29日	磯山公園研成ホール展示室	友の会会員の日頃の作品制作の発表と地域の方々への親睦を図るため。	昨年は安曇野市、松本市、神奈川県等から絵画、彫刻、工芸各部門で29名が51作品を出品し、展覧会が開催され261名が来場した。今年度も出品の申込みを募り展覧会を開催する。入場料：無料、参加費：1人1,000円、参加者(見込)：25名	○	-	-	取扱基準第4条第2号により可
45	令和元年7月25日	文化	第5回 みんなで楽しむ動物コンサート	有限会社ブラネット・ワイ 取締役社長 酒井 柚香	有限会社ブラネット・ワイ	後援	より多くの子供たちに音楽の魅力を伝えるべく、後援をいただくのを思い、申請いたしました。	7月23日	令和元年10月13日(日)	○	過去承認		7月29日	軽井沢大賀ホール	團伊玖磨の童謡集、動物に関する名曲を伝えるコンサート。より多くの子供たちに音楽の魅力を伝えるため開催する。	出演：雨宮知子(お話・うた)、梶家徳子(ピアノ)、團伊玖磨(うた)、軽井沢聖曲目：だんいづまの動物園(ぞうさん、おつかいありさん)他、動物のメロデー、動物メロデー、いぬのおまわりさん他、楽曲をメロデー、入場料：無料、参加者見込：650人	○	○	-	取扱基準第4条第2号により可
47	令和元年7月30日	文化	教育講演会&ワークショップ「アカ国語で話そう。」	(一財)言語交流研究所 代表理事 鈴木堅史	(一財)言語交流研究所 ポフアミリークラブ	後援	安曇野市内で広く周知するため	7月30日	令和元年8月25日(日)	○	過去承認		7月31日	安曇野市三郷公民館	多言語環境でこそ育まれる「どこの国の人、どんな世代」に対して同じ目線で接することのできる「スタンス」の大切さについて理解を深めてもらいたい「ことばを話すことが楽しい」「生き生きする」「創造性を育てる」ことを親子で体験してもらい、相互のコミュニケーションを深める機会とする。	このワークショップでは、いろいろな国の音楽と言葉で遊んだり、多言語活動内容を紹介し多くの世代の方々にも多言語活動を体験していただく、入場料：無料	○	○	-	取扱基準第4条第2号により可

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
中学生海外ホームステイ 交流派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○候補者選抜の面接 開催日：8月2日(金)～4日(日) 応募者56名から14名を予定者として決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション 3回の開催を予定</li> <li>○レッスン 6回の開催を予定</li> </ul>
安曇野市コミュニティ スクール事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティスクール現場取材 秘書広報担当と広報誌への掲載のための取材 ・堀金小学校      ・明南小学校 ・豊科北中学校    ・穂高北小学校 ・三郷中学校</li> <li>○立志塾実施 実施状況については別紙を参照ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報あづみのへ掲載</li> </ul>
情報機器の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊科・三郷地域小中学校情報機器更新 8月6日入札により業者決定</li> <li>○全小中学校図書館システム システムの入替に向けてデータ吸い上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊科・三郷地域小中学校 情報機器更新 ・更新スケジュール策定</li> </ul>
就学時健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内認定こども園訪問 ・7月24日(水) 北穂高 ・7月25日(木) 南穂高 ・7月30日(火) 細萱保育園</li> </ul>	
就学援助費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新入学学用品費・修学旅行費の給付 支給日：7月31日(水)</li> <li>○特別支援就学奨励費 案内配布→申請受付 ※当初提出期限：8月30日(金)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援就学奨励費 認定審査→交付決定</li> </ul>

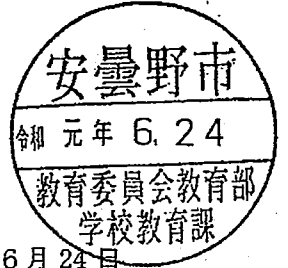
## 令和元年度立志塾事業内容

番号	学校名	承認・非承認	開催日	具体的な内容	対象生徒学年	受講人数		講師
						申請(人)	実績(人)	
1	豊科南中学校	承認	10月31日	「命の尊さ」について学ぶ人権学習	全校生徒及び保護者	450人		信州大学付属病院 小児科医 盛田 大介
2	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	1学年(生徒・保護者)	75人	75人	あづみ農協共同組合 組織組合員センター センター長 栗原 裕
3	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	1学年(生徒・保護者)	75人	75人	放射線画像診断センター MRI主任 藤倉 菜二
4	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	1学年(生徒・保護者)	75人	75人	藤プロ・エネケーション株式会社 社長 藤森 康友
5	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	2学年(生徒・保護者)	75人	75人	お絵描き教室 ケミストリー 鶴田 智也
6	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	2学年(生徒・保護者)	75人	75人	株式会社 プレシード信州 社長 将成 松田 将成
7	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	2学年(生徒・保護者)	75人	75人	(株)壁匠トーフ 代表取締役 藤松 和雄
8	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	2学年(生徒・保護者)	75人	75人	安曇野日赤病院 理学療法士 栗林 貴之
9	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	3学年(生徒・保護者)	75人	75人	イオン豊科店 店長 古園 隆
10	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	3学年(生徒・保護者)	75人	75人	イオン豊科店 メンズマネージャー 岩崎 佳貴
11	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	3学年(生徒・保護者)	75人	75人	松本信用組合 浅間温泉支店 内田 瑛
12	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	3学年(生徒・保護者)	75人	75人	有心学 店長 柴野 有史
13	豊科北中学校	承認	6月14日	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。	3学年(生徒・保護者)	75人	75人	障がい者日中支援事業所 NPO法人夢の実 理事長 原 孝雄
14	穂高東中学校	承認	6月18日	【登山の事前学習】 ・登山のすばらしさ ・登山に向けての心構え	1学年 職員	170人	170人	株式会社バックカントリー 代表 太田 毅彦



令和元年度立志塾事業内容

番号	学校名	承認・非承認	開催日	具体的な内容	対象生徒学年	受講人数		講師
						申請(人)	実績(人)	
15	穂高東中学校	承認	6月13日	【職場体験事前学習】 職場体験学習に向け、「働く意義」や「やりがい」等の職業観を深め、自身の生き方を考える契機とする	2学年 職員	157人	156人	赤田工業株式会社 赤田 弥寿文
16	穂高東中学校	承認	7/1・7/4・ 7/11 のいずれか 1日	【登山の事前学習】 ・登山のすばらしさ ・登山に向けての心構え ・山小屋での生活 等	1学年 職員	170人	171人	株式会社 燕山荘 代表取締役 赤沼 健室
17	穂高東中学校	承認	7月4日	【職場体験事前学習会】 社会で認められる、礼儀やマナーを知り、職場体験学習や日常生活に活かしていくようとする意欲を持たせる	2学年 職員	157人	156人	好生館マナー研究所 青木 仁美
18	穂高東中学校	承認	9月10日	【「健康づくりは幸せづくり—効果的な健康運動実践法—」と題した講演会】 なぜ私たちは運動をしなければならないのか?という問いから、健康寿命と運動の関係について、現在だけでなく生涯にわたって健康な生活を営むために、科学的な知見から私たちの(親子で)生活を見直すきっかけとする。	全校生徒 職員 保護者 地域住民	558人		松本大学大学院 健康科学研究科 人間健康学部 スポーツ健康学科 学科長 根本 賢一
19	穂高西中学校	承認	5月22日	「上原良司」講演会	3学年	141人	133人	安曇野文芸 代表編集長 中島 博昭
20	穂高西中学校	承認	7月1日	幸せな人生を歩むために大切なことについての話を聞き、自分の生き方について生徒一人一人が深く考える機会を与える。「思いやり」や「感謝」の心を持つ人と接することの大切さを学ぶ機会とする。	2学年 (保護者も参観可)	141人	142人	上田情報ビジネス専門学校 副校長 比田井 和幸
21	三郷中学校	承認	5月27日	「生き方を学ぶ講演会」 『全力』を講演のテーマに、中学校最終学年の3年生に部活・生徒会・文化祭・入試など、様々な試練に「全力」で取り組み、充実した中学校生活をおくって欲しいと願う計画。	3学年	180人	180人	東京都足立区立立川中学校 教諭 日笠 智之
22	明科中学校	承認	6月20日	「ギニアの精霊の森と動物の不思議」講演会	全校生徒 保護者 地域住民	280人	288人	京都大学大学院 7シ7・7フ7九地域研究研究科 准教授 山越 言
23	堀金中学校	承認	9月5日	薬草採集をはじめ、木造校舎への雑巾がけ等、本校の伝統的な活動について、地域や先輩の思いとして講演いただくことを通して、故郷への誇りや愛着心を高める。	全校生徒・保護者・教 職員	400人		三石 武宜
合計								



立志塾実績報告書

令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

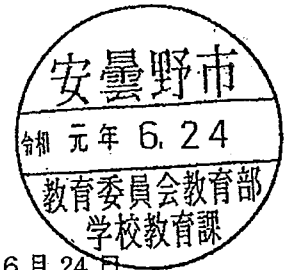
※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 栗原 裕 住所 [Redacted] 団体名 あづみ農協協同組合 役職 総務開発事業部総務課 課長 組織組合員センター センター長
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日



安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 藤倉 栄二 住所  団体名 相澤病院 役職 放射線画像診断センター MRI主任
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00～15:50
受講人数	75人
講師	氏名 藤森 康友 住所 [Redacted] 団体名 フジプロ・エネケーション株式会社 役職 社長
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

令和元年5月29日

1 学年保護者様

安曇野市立豊科北中学校 1 学年会

### 第2回 学習参観・学年学級PTAのお知らせ

日頃より、学校教育活動に深いご理解とご協力ありがとうございます。

さて、過日学校より連絡がありました通り、学習参観日を下記のように計画しました。お忙しい折りとはいえませんが、ご出席のほどよろしく願いいたします。

#### 記

1 期 日 令和元年6月14日(金)

#### 2 授業参観

第1校時～第3校時(自由参観 No23 24B 25) 8:45～11:40

	1-1	1-2	1-3	1-4	あじさい1	れんげ
1	数学	理科	数学	美術	音楽	技術
2	体育	体育	国語	音楽	英語	作業
3	音楽	英語	理科	英語	理科	美術

清掃 11:50～12:05

学活 12:15～12:30

給食 12:30～13:20

第4校時(参観 No26) 13:30～14:20

1-1	1-2	1-3	1-4	あじさい1	れんげ
理科(黒岩) 教室	国語(湯本) 教室	英語(吉田) 教室	数学(野本) 教室	自立(戸田) 教室	社会(山岸) 教室

第5校時(職業講話) 14:30～15:25

講師【職業】	会場	講師【職業】	会場
藤倉栄二さん 【医療関係】	1-1教室	藤森康友さん 【石油販売業関係】	1-3教室
東村美香さん 【消防関係】	1-2教室	栗原 裕さん 【農業協同組合】	1-4教室

3 学年PTA (第二音楽室 南校舎2階) 15:40～16:30  
 (1) 学年PTA会長挨拶 (2) 福祉施設訪問(井口)  
 (3) 部活動にかかわって(永池)  
 (4) その他

4 学級PTA (各教室) 16:30～16:40  
 学級担任から 家庭から など

#### 5 その他

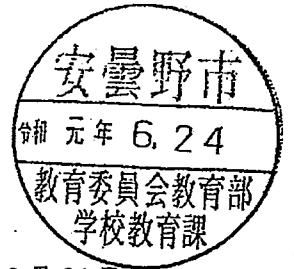
○上履きをご持参ください。下足箱は生徒玄関の下駄箱をご利用ください。

○自転車・バイクは、校舎南の自転車置き場を利用し、奥からつめてください。

○駐車場は、プールの東、体育館の南をご利用ください。(駐車場のスペース限りがありますので、できるだけ乗り合わせてのご来校をお願いします。)

様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日


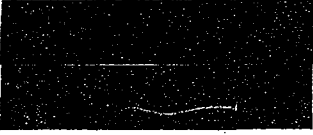
安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 鶴田 智也 住所  団体名 お絵描き教室 ケミストリー 役職
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

立志塾実績報告書



令和元年6月24日



安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00～15:50
受講人数	75人
講師	氏名 松田 将成 住所  団体名 株式会社 フレシード信州 役職 社長
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 藤松 和雄 住所 [REDACTED] 団体名 (株) 壁匠トーワ 役職 代表取締役
謝礼	[REDACTED]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）



様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 栗林 貴之 住所 [REDACTED] 団体名 安曇野日赤病院 役職 理学療法士
謝礼	[REDACTED]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

令和元年5月29日

2 学年保護者様

安曇野市立豊科北中学校 2 学年会

### 第2回 学習参観・学年学級PTAのお知らせ

日頃より、学校教育活動に深いご理解とご協力ありがとうございます。

さて、過日学校より連絡がありました通り、学習参観日を下記のように計画しました。お忙しい折りとは存じますが、ご出席のほどよろしく願いいたします。

#### 記

1 期 日 令和元年6月14日(金)

#### 2 授業参観

第1校時～第3校時(自由参観) 8:45～11:40

	2-1	2-2	2-3	2-4	あじさい1	あじさい2	れんげ
1	理科	国語	数学	国語	音楽	理科	技・家
2	国語	理科	国語	社会	英語	技・家	作業
3	体育	体育	理科	英語	理科	自立	美術

清 掃 11:50～12:05

学 活 12:15～12:30

給 食 12:30～13:20

第4校時(参観) 13:30～14:20

2-1	2-2	2-3	2-4	あじさい1	あじさい2	れんげ
数学(加瀬) 教室	英語(川根) 教室	社会(寺島) 教室	理科(小出) 第2理科室	自立(戸田) 教室	英語(奥原) 教室	社会(山岸) 教室

第5校時(職業講話) 14:30～15:25

講 師【職業】	会 場	講 師【職業】	会 場
松田将成さん【生花小売関係】	2-1教室	鶴田智也さん【芸術関係】	2-3教室
藤松和雄さん【建築関係】	2-2教室	栗林貴之さん【医療関係】	2-4教室

3 学年PTA (会議室 南校舎1階) 15:40～16:30

(1) 学年PTA会長挨拶 (2) 職場体験学習にかかわって(野本)

(3) 登山にかかわって(小出) (4) 登山説明会(登山ガイド1名来校)

(5) その他

4 学級PTA (各教室) 16:30～16:40

学級担任から 家庭から など

#### 5 その他

○上履きをご持参ください。下足箱は生徒玄関の下駄箱をご利用ください。

○自転車・バイクは、校舎南の自転車置き場を利用し、奥からつめてください。

○駐車場は、プールの東、体育館の南をご利用ください。(駐車場のスペース限りがありますので、できるだけ乗り合わせてのご来校をお願いします。)



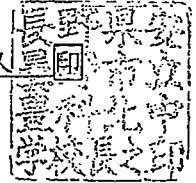
様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00～15:50
受講人数	75人
講師	氏名 古園 隆 住所 [REDACTED] 団体名 イオン豊科店 役職 店長
謝礼	[REDACTED]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

## 立志塾実績報告書

令和元年6月24日



安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 岩崎 佳貴 住所  団体名 イオン豊科店 役職 メンズマネージャー
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）



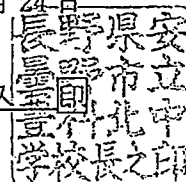
様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 内田 瑛 住所 [Redacted] 団体名 松本信用組合 浅間温泉支店 役職 支店長
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日

安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 柴野 有史 [Redacted] 団体名 有心亭 役職 経営者
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

様式第2号

立志塾実績報告書



令和元年6月24日


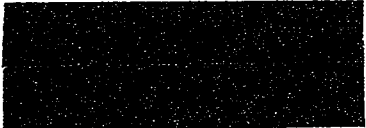
安曇野市教育委員会 様

豊科北中学校長 濱野 久



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	職場や社会で活躍されている講師の貴重な体験を聞き、生徒が自分の進路や生き方について考える機会とする。
実施日 (複数記入可)	令和元年6月14日
実施時間	14:00~15:50
受講人数	75人
講師	氏名 原 孝雄 住所  団体名 障がい者日中支援事業所NPO法人夢の実 役職 理事長
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

3学年保護者様

安曇野市立豊科北中学校 3学年会

第2回 学習参観・学年学級PTAのお知らせ

日頃より、学校教育活動に深いご理解とご協力ありがとうございます。  
さて、過日学校より連絡がありました通り、学習参観日を下記のように計画しました。お忙しい折りと存じますが、ご出席のほどよろしくお願いたします。

記

1 期 日 令和元年6月14日(金)

2 授業参観

第1校時～第3校時(自由参観) 8:45～11:40

	3-1	3-2	3-3	3-4	あじさい2	あじさい3
1	英語	技家	体育	体育	理科	音楽
2	理科	英語	社会	数学	技家	理科
3	国語	数学	技家	国語	自立	数学

清 掃 11:50～12:05

学 活 12:15～12:30

給 食 12:30～13:20

第4校時(参観) 13:30～14:20

3-1	3-2	3-3	3-4	あじさい2	あじさい3
体育(安田) 体育館	体育(中島) 体育館	美術(長尾) 第2美術	家庭科(大滝) 第1家庭科室	英語(奥原) 教室	自立(倉澤) 教室

第5校時(職業講話) 14:30～15:25

講 師【職業】	会 場	講 師【職業】	会 場
内田 瑛さん【銀行関係】	3-1教室	原 孝雄さん【福祉関係】	3-3教室
柴野有史さん【日本料理】	3-2教室	古園 隆さん【商業関係】 岩崎 佳貴	3-4教室

※保護者の皆様も4校時の授業に引き続き、興味のあるお話をお聞きください。

3 学年PTA(会議室 南校舎1階) 15:40～16:30

- (1)学年PTA会長挨拶 (2)進路関係(中山)
- (3)生徒の様子・夏休みにかかわって(安田) (4)懇談会について(寺島)
- (5)その他

4 学級PTA(各教室) 16:30～16:40

学級担任から 家庭から など

5 その他

- 上履きをご持参ください。下足箱は生徒玄関の下駄箱をご利用ください。
- 自転車・バイクは、校舎南の自転車置き場を利用し、奥からつめてください。
- 駐車場は、プールの東、体育館の南をご利用ください。(駐車場のスペース限りがありますので、できるだけ乗り合わせてのご来校をお願いします。)



様式第2号

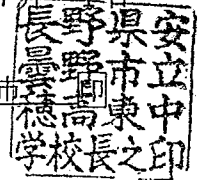
立志塾実績報告書



安曇野市教育委員会 様

令和元年 7月 11日

学校長 中村 真市



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	山岳ガイドとして燕岳に50回以上上っている太田毅彦さんの話を聴くことにより、学校と山頂の標高差や気温差、歩くときの注意点などを学んだ。また、登山のザックやカップ、靴や行動食について等、実物を見せていただきながら、当日の持ち物についても具体的なイメージをもつことができた。
実施日 (複数記入可)	令和元年 6月 18日 (火)
実施時間	14時～14時50分
受講人数	生徒 161人 職員 9人 (1学年対象)
講師	氏名 太田 毅彦 住所 [Redacted] 団体名 (株) バックカントリー 役職 代表
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類 (事業通知文書・記録写真等)

令和元年5月28日

太田 毅彦 様

安曇野市立穂高東中学校  
学校長 中村 真市

### 登山講演会 講師のお願い（依頼）

初夏の候、貴殿におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、穂高東中学校1学年では、7月18日・19日に「燕岳登山」を計画しています。事前学習に加え、さらに、山の魅力、登山にむけての心構え、装備についてなど専門家に直接お話しをお聞きしたいと考えました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、下記のとおり標記講演会の講師をお願いします。

#### 記

1 日 時 令和元年6月18日（火） 14時00分～14時50分  
実際にお話していただく時間 14時10分～14時40分

2 場 所 穂高東中学校 講堂

3 参加者 穂高東中学校1学年 生徒・保護者・職員

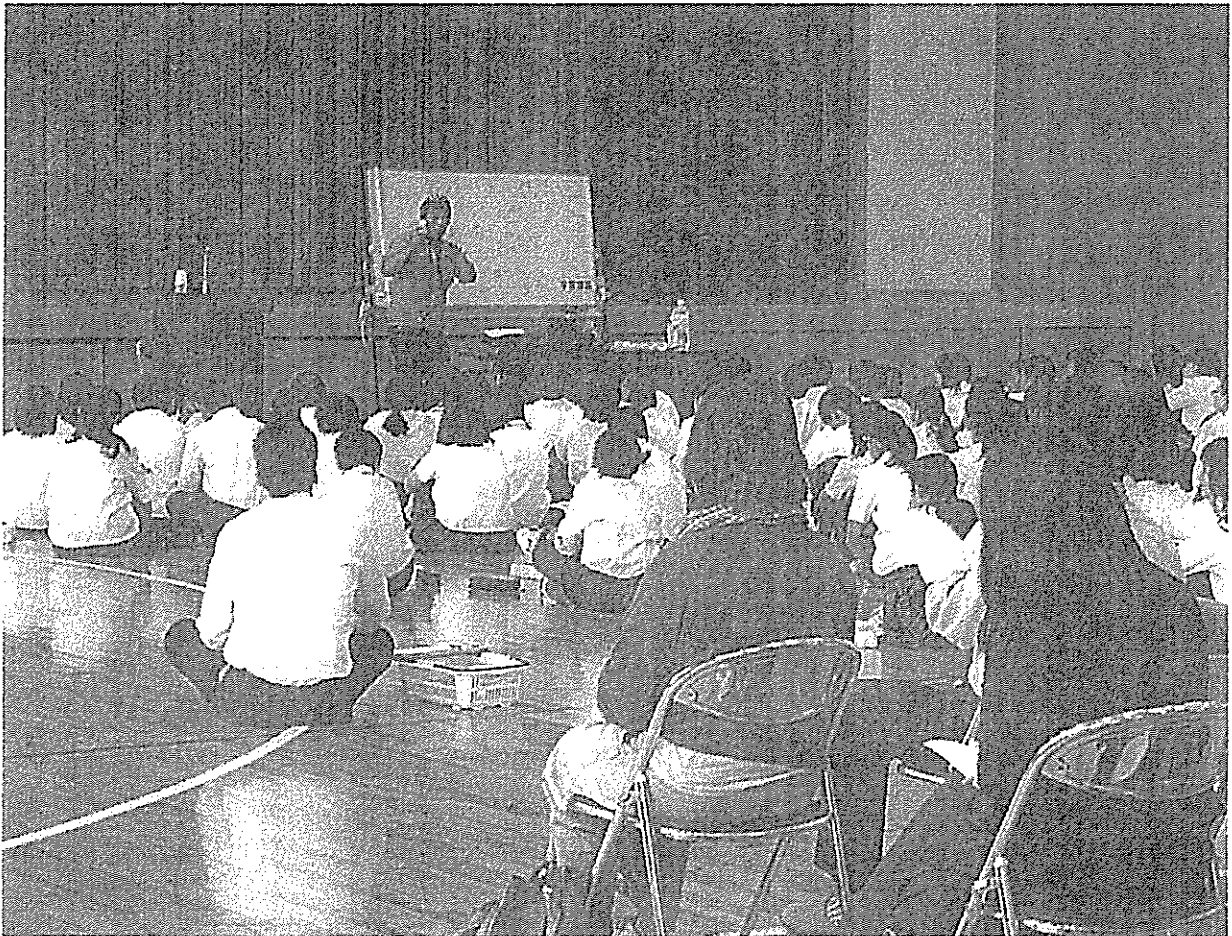
#### 4 その他

- ・当日は、13時50分ころまでにご来校ください。
- ・お話しいただく時間は、30分で考えています。宜しくお願い致します。
- ・パソコン、プロジェクター等の機器が必要な場合は事前にご連絡ください。
- ・当日配布する資料がございましたら、原稿を本校までお送りください。当方で印刷します。

以上

安曇野市立穂高東中学校 1学年 田邊 芳明 TEL 0263-82-2230 FAX 0263-82-7418
--

令和元年6月18日登山講演会【バックカントリー太田さん】



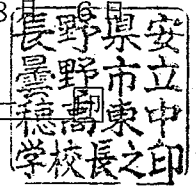
立志塾実績報告書



安曇野市教育委員会 様


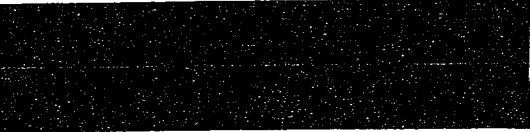
令和元年 8月

学校長 中村 真一



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

<p>事業（講演）の成果</p>	<p>テーマは「社会生活のABC」です。職場体験学習の前に働くとはどういうことか。社会生活に必要なことは何かをうかがった。生徒の感想から「働くとは、人のために動くことであり、人がそれによって喜んでもらうことで報酬を得る、または、自分の喜びとするということなのだということを学びました。」「社会生活のキーワードは、“当たり前のことを、馬鹿にせずに、ちゃんとやる。”とのことでした。実践でのキーポイントは、「①ハイの返事 ②掃除 ③自分らしさ」を大事にしてやってほしいとのことでした、是非これからの生活の中でも生かしていきたい。」「会社はチームワークが重要で、気が合う人ばかりではない。だから、人間関係を良くする努力が必要であるというお話があり、大人になっても人との関係づくりに“努力”が必要なのだというのは意外でした。」など、生徒はm赤田さんの熱く語る姿に、心が動かされたり、職場体験に生かしたいという思いを持ったりする姿が多く見られた。</p>
<p>実施日 (複数記入可)</p>	<p>令和元年 6月 13日 (木)</p>
<p>実施時間</p>	<p>13時40分～14時30分</p>
<p>受講人数</p>	<p>生徒 148人 職員 9人 (2学年)</p>
<p>講師</p>	<p>氏名 赤田 弥寿文 住所  団体名 赤田工業株式会社 役職 代表取締役</p>
<p>謝礼</p>	<p></p>
<p>その他連絡欄</p>	<p></p>

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

令和元年 5月24日

赤田工業株式会社

赤田 弥寿文 様

安曇野市立穂高東中学校長 中村 真市

### 講師派遣申請

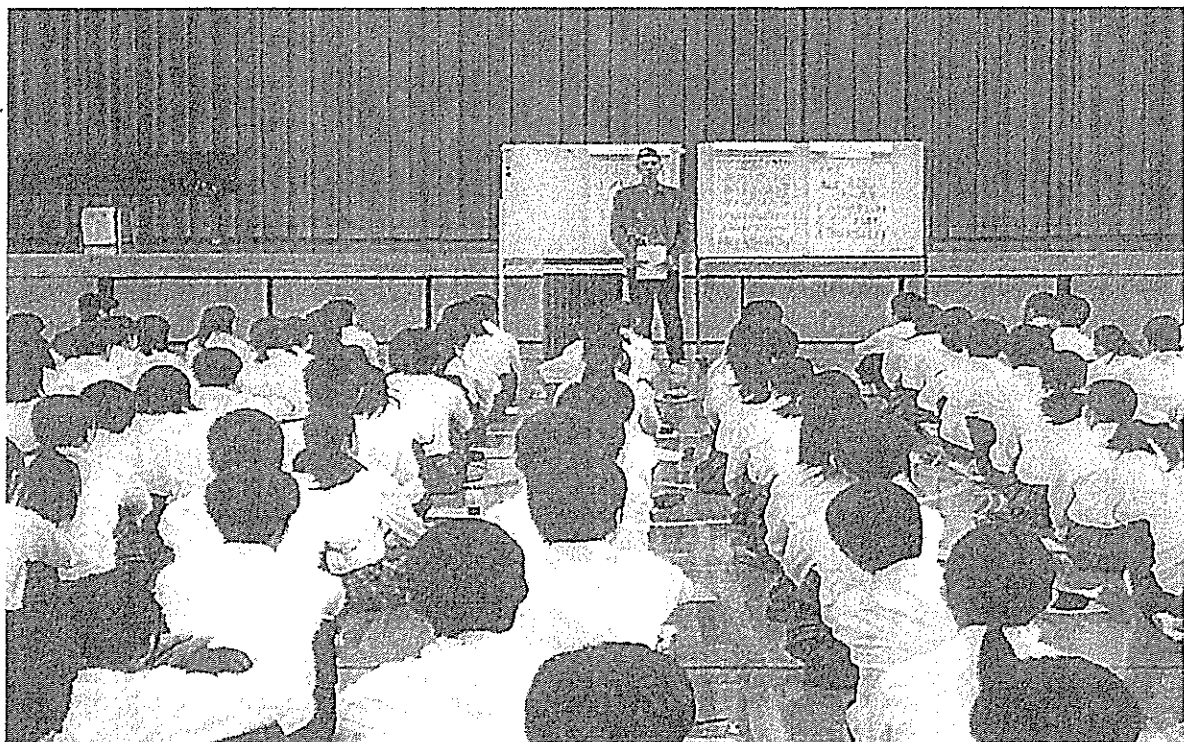
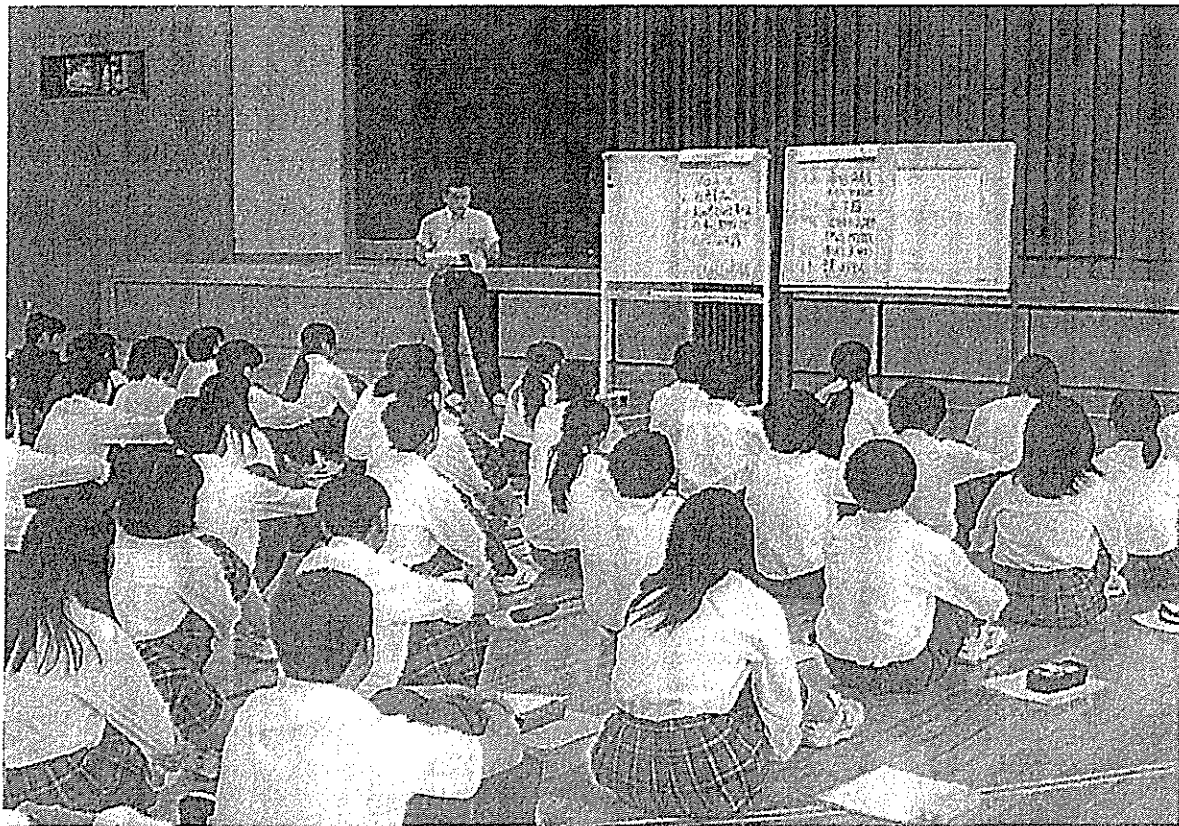
新緑の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、本校講演会における講師を快くお受けいただきありがとうございました。下記計画で実施いたしますのでよろしくお願いいたします。

#### 言 己

- 1 日 時 6月13日【木】 13:40~14:30
- 2 場 所 安曇野市立穂高東中学校 講堂
- 3 目 的 「働く意義」や「やりがい」等の職業観を深め、自身の生き方を考える契機とする。
- 4 日 程 13:35 生徒入場完了  
13:40~14:40 講演会  
14:35 教室へ戻る
- 5 次 第 進行：土屋  
(1) 始めの言葉  
(2) 講師紹介(2学年主任：太田)  
(3) 講演  
(4) お礼の言葉(生徒代表)  
(5) 終わりの言葉
- 6 隊 形 男女混合名簿順2列
- 7 その他  
(1) 13:30までにお出でいただき、校長室にお入り下さい。  
(2) お車でお越しの際は、正門から入り、西側の駐車場をご利用下さい。  
(3) 演題が決まりましたらご連絡下さい。  
(4) お問い合わせは担当者までお願いします。

安曇野市立穂高東中学校 担 当：土屋 善成 電 話：0263-82-2230 FAX：0263-82-7418
--

令和元年6月13日職業体験学習事前講話【赤田工業株式会社 赤田さん】



立志塾実績報告書



安曇野市教育委員会 様



令和元年 7月 3日

学校長 中村 真市



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	燕山荘代表取締役の赤沼健至さんの話を聴くことにより、登山の魅力や、北アルプスの女王と言われる燕岳や泊まりたい宿第1位にもなったことがある燕山荘の素晴らしさを知った。また、雷鳥やコマクサなどの貴重な動植物が、厳しい自然の中で懸命に生きている姿、人間がそれらを保護する一方、マナーを守らないと生態系を壊してしまう危険性についても学んだ。
実施日 (複数記入可)	令和元年 7月 1日 (月)
実施時間	14時40分～15時30分
受講人数	1学年生徒 161人 1学年職員 10名
講師	氏名 赤沼 健至 住所  団体名 (株) 燕山荘 役職 代表取締役
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

令和元年5月28日

燕山荘代表取締役  
赤沼健至様

安曇野市立穂高東中学校  
学校長 中村 真市

## 燕岳登山講演会 講師のお願い（依頼）

初夏の候、貴殿におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、穂高東中学校1学年では、7月18日（木）・19日（金）に「燕岳登山」を計画しております。登山に向けて事前学習などを行っていますが、ぜひ燕岳の素晴らしさについて直接お話しをいただきたいと考え、下記の通り講演会を計画いたしました。

つきましては、御多用中誠に恐縮ですが、下記のとおり標記講演会の講師をお願いします。

### 記

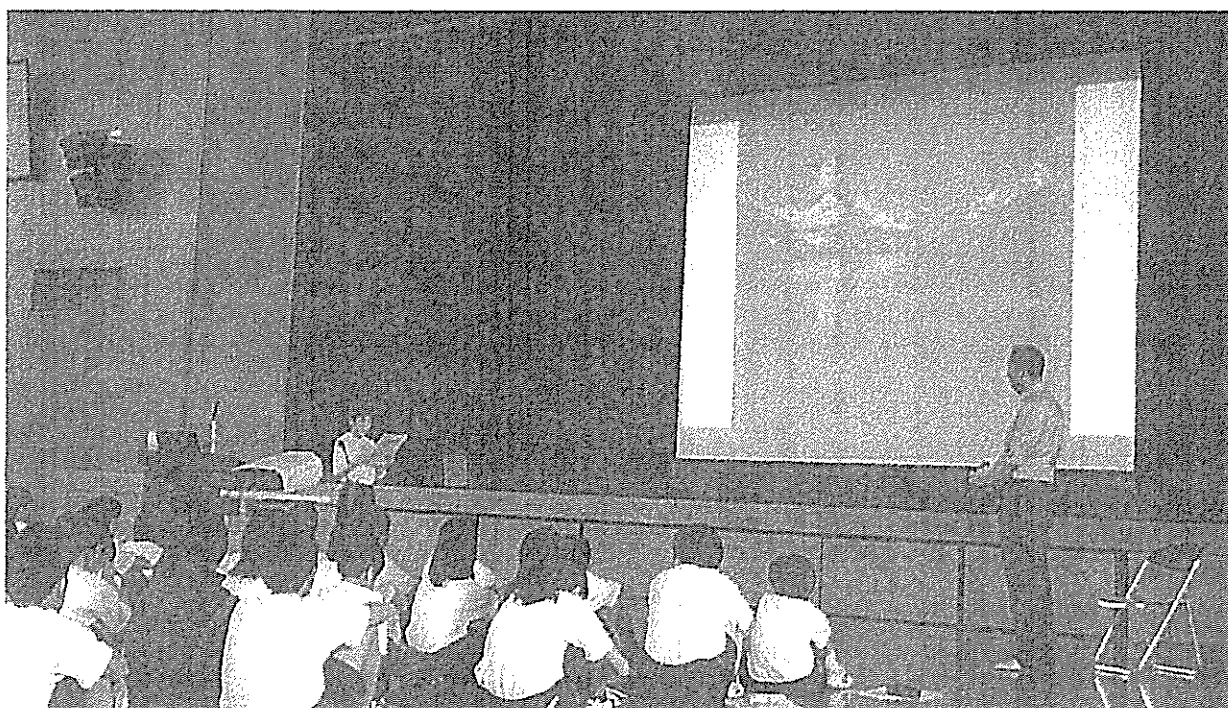
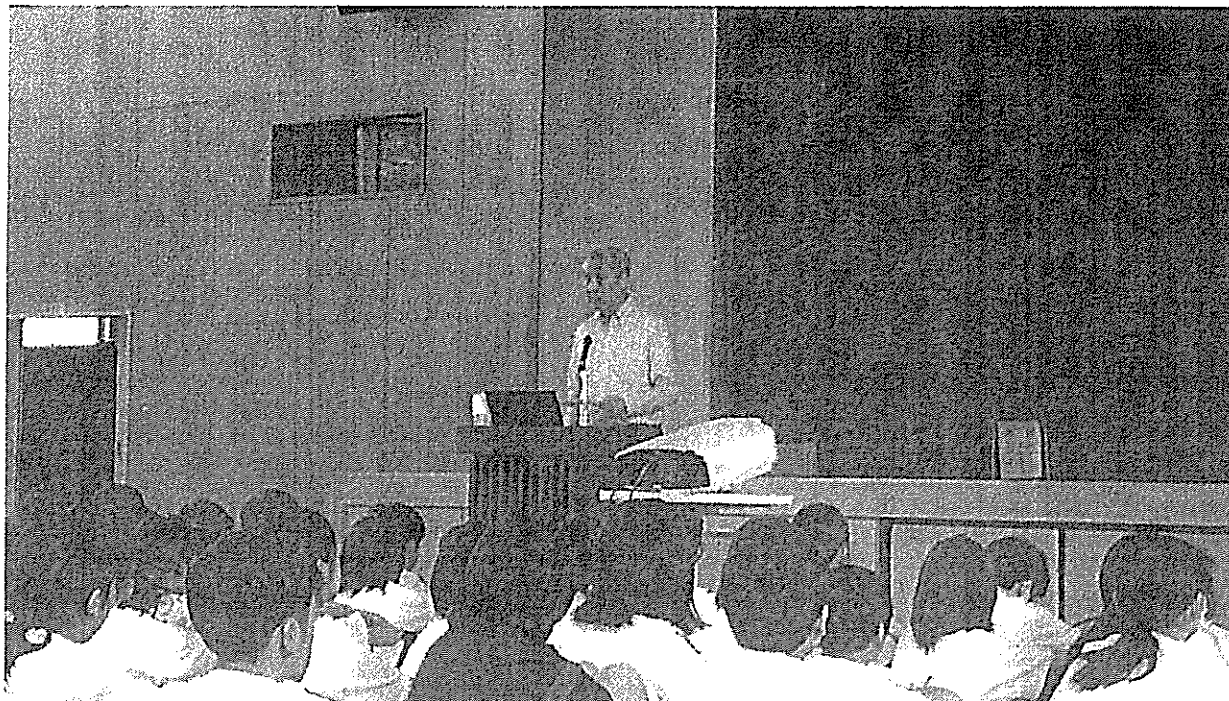
- 1 日 時 令和元年7月1日（月） 14時40分～15時30時
- 2 場 所 穂高東中学校 講堂
- 3 参加者 穂高東中学校1学年生徒・1学年職員
- 4 お話ししていただきたい内容
  - ① 赤沼さんが燕岳（山）に魅せられた理由、登り始めたきっかけ。
  - ② 燕岳の自然、素晴らしさ。
  - ③ 自然の偉大さなど。
  - ④ 登山をする上での注意点など。
- 5 その他
  - 当日は、14時25分頃までに御来校頂けると幸いです。
  - パソコン、プロジェクター以外の機器が必要でしたら事前に御連絡ください。
  - 当日配布するような資料がございましたら、原稿を本校までお送りください。こちらで印刷させていただきます。

以上

安曇野市立穂高東中学校 1学年 田邊 芳明 TEL 0263-82-2230 FAX 0263-82-7418
--



令和元年7月1日燕登山講演会【燕山壮赤沼さん】





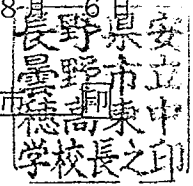
様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年 8月6日

安曇野市教育委員会 様

学校長 中村 真



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

<p>事業（講演）の成果</p>	<p>社会に出るにあたって知っておきたいマナーを具体的に教えていただいた。この日の生徒の感想からは、「3種類のお辞儀の練習、敬語など豊かな言葉使い、明るく爽やかなあいさつなど、今日やったことを当日職場で生かしていきたいと思います。」「今日学んだことは、マナーは自分を真に生かす「こころくばり」であること、笑顔とやさしい言葉で「みんな明るく」、感謝の気持ちを忘れずに、前向きに取り組むことが大切であることです。」と、行為としてのマナーというだけでなく、なぜ大切なのか、マナーがどう生き方と関わっているのかといった点についても考えようとする生徒の姿にもつながっていた。</p>
<p>実施日 (複数記入可)</p>	<p>令和元年 7月 4日 (木)</p>
<p>実施時間</p>	<p>13時40分～14時30分</p>
<p>受講人数</p>	<p>生徒 148人 職員9人 (2学年対象)</p>
<p>講師</p>	<p>氏名 青木 仁美 住所 [Redacted] 団体名 好生館マナー研究所 役職</p>
<p>謝礼</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>その他連絡欄</p>	<p></p>

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

令和元年6月14日

好生館マナー研究所  
青木仁美 様

安曇野市立穂高東中学校長 中村真市

### 講師派遣申請

紫陽花が美しい頃となりました。貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

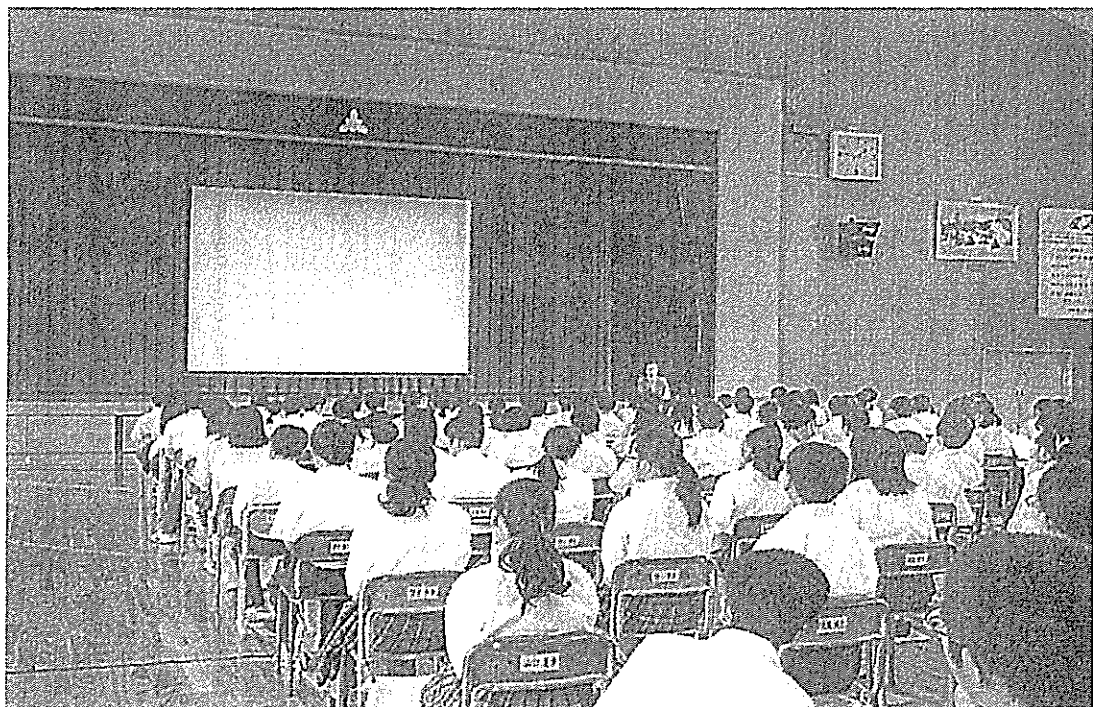
さて、本校講演会における講師を快くお受けいただきありがとうございました。下記計画で実施いたしますのでよろしくお願いいたします。

### 言 己

- 1 日 時 7月4日【木】 13:40~15:00
- 2 場 所 安曇野市立穂高東中学校 講堂
- 3 目 的 社会で認められる、礼儀やマナーを知り、職場体験学習や日常生活に生かしていこうとする意欲を持つ
- 4 日 程 13:35 生徒入場完了  
13:40~15:00 講演会  
15:05 教室へ戻る
- 5 次 第 進行：鬼塚  
(1) 始めの言葉  
(2) 講師紹介（職場体験係：土屋）  
(3) 講演  
(4) お礼の言葉（生徒代表）  
(5) 終わりの言葉
- 6 隊 形 男女混合名簿順2列
- 7 その他  
(1) 13:30までにお出でいただき、校長室にお入り下さい。  
(2) お車でお越しの際は、正門から入り、西側の駐車場をご利用下さい。  
(3) お問い合わせは担当者までお願いします。

安曇野市立穂高東中学校 担 当：土屋 善成 電 話：0263-82-2230 FAX：0263-82-7418 メー ル：ht-ejhs@ht-ejhs.city.azumino.ed.jp
---

令和元年7月4日職場体験事前学習会【好生館マナー研究所 青木さん】



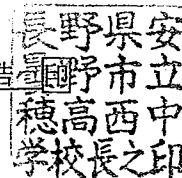
様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年 5月 27日



安曇野市教育委員会 様

安曇野市立徳高西中学校長 宮澤 浩



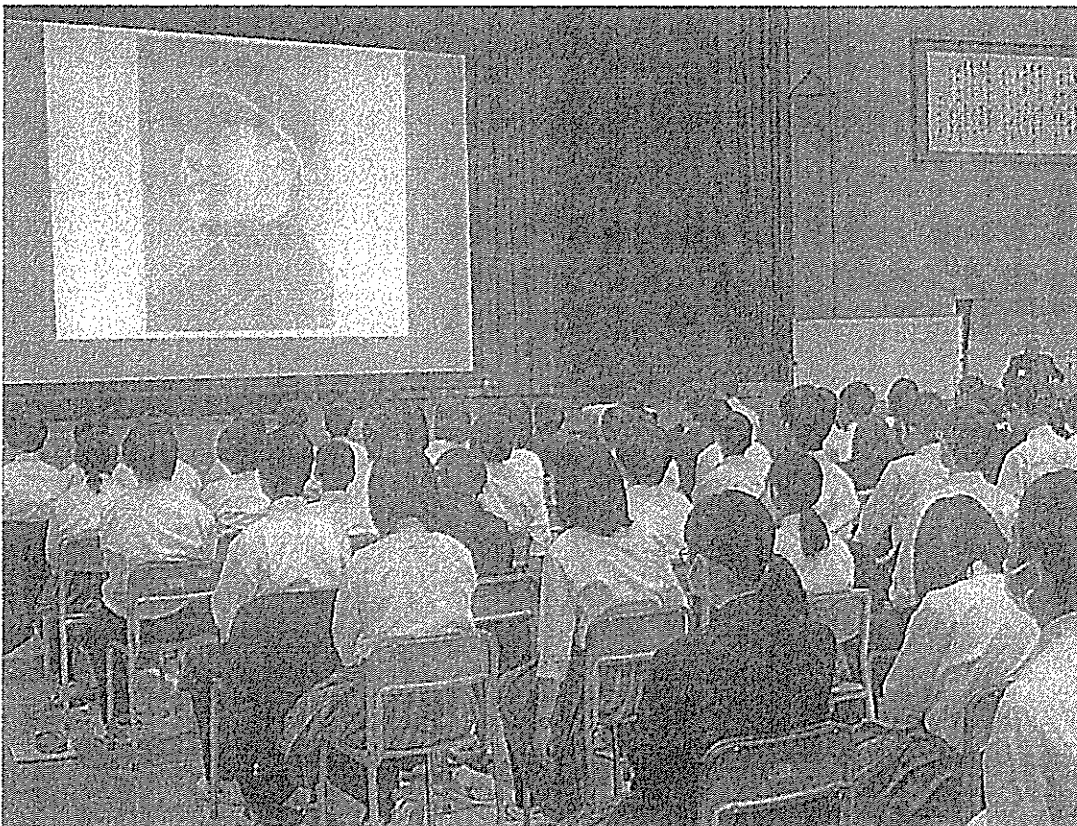
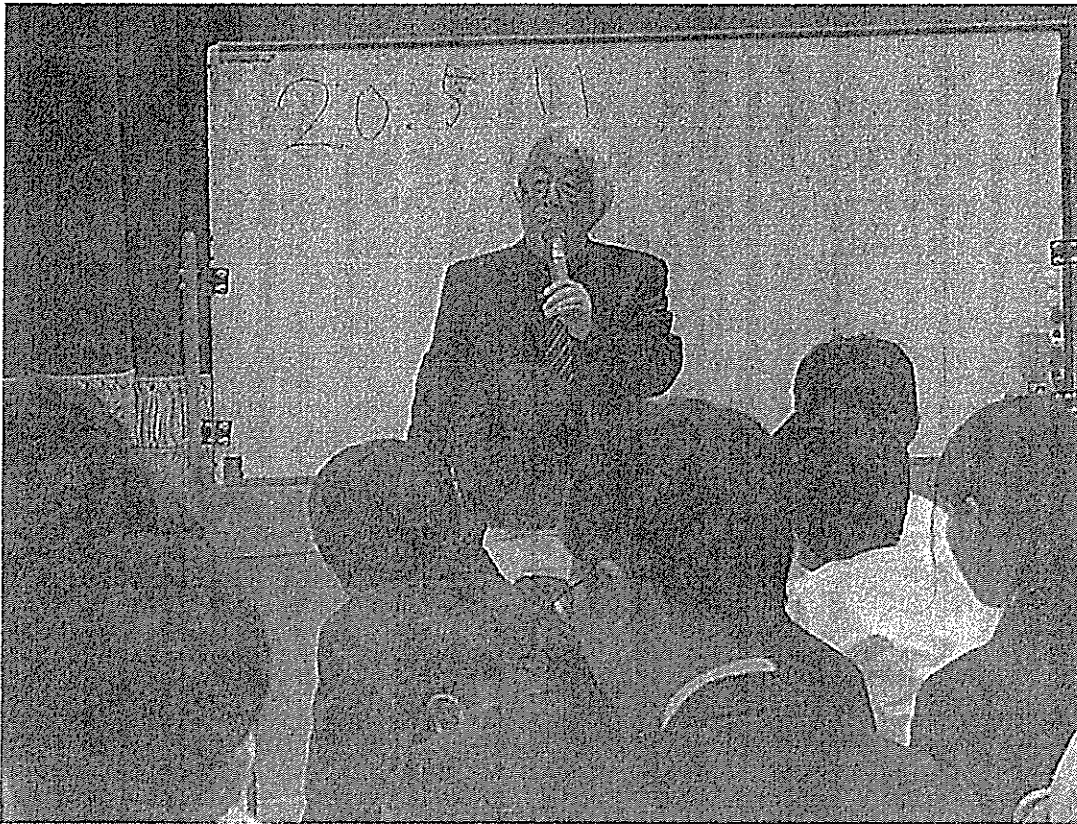
下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

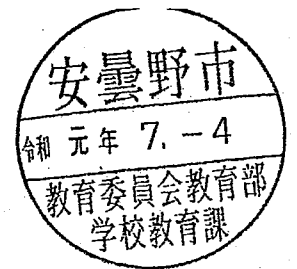
※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	「上原良司」講演会 地域の先人である上原良司さんの生涯や生きた時代、抱いた思いについて学習することを通し、戦争の悲惨さと平和の尊さについてより深く考えることができた。
実施日 (複数記入可)	令和元年 5月 22日 (水)
実施時間	13:45~14:45 (60分)
受講人数	133人
講師	氏名 中島 博昭 住所  団体名 「安曇野文芸」 役職 代表・編集長
謝礼	
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

【 令和元年 5月 22日 (水) 「上原良司」 講演会の様子 】





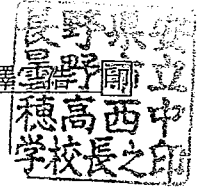
様式第2号

### 立志塾実績報告書

令和元年 7月 1日



安曇野市教育委員会 様

安曇野市立穂高西中学校長 宮澤



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	進路選択・職業選択に興味関心を持ち始めている生徒に対して、何のために働くのかについての話をしていただき、自分の生き方について生徒1人1人が深く考える機会を与えていただいた。「思いやり」や「感謝」の心を持って人と接することの大切さ、日常生活の大切さを学ぶ機会となったと感じる。
実施日 (複数記入可)	令和元年 7月 1日 (月)
実施時間	10:50~12:20
受講人数	2年 133名、職員9名
講師	氏名 比田井 和孝 住所  団体名 上田情報ビジネス専門学校 役職 副校長
謝礼	
その他連絡欄	請求書など支払いに対しての宛名ですが、「上田情報ビジネス専門学校」宛てでお願いします。

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

## 令和元年度 進路講話2 実施計画（2学年）

2学年会

1 ねらい

- ・ キャリア教育の立場から自己の将来の生き方や人としてのあり方について考える機会とする。
- ・ 将来を見据えた高校進学や就職に向けて、これから準備をしていくべき自分の進路について自覚を深める。

2 期 日 令和元年7月1日（月） 第3・4校時（道徳・No51）

3 場 所 講堂

4 対 象 2学年生徒および保護者（希望者）、服装：式服

5 内 容 演題：「何のために働くのか」（90分）  
講師：比田井和孝氏（上田情報ビジネス専門学校副校長）

6 日 程

※授業スライドを、1(47), 2(48), 3(道), 4(51), 5(49), 6(50)の順番でお願いします。

入 場	10:45～	※講師案内（岡村）、2-1より椅子を持って入場
講 演	10:50～12:20	※チャイムを消して下さい。
質疑応答	12:00～12:30	※講演後、講師の先生は応接室へ案内（岡村） ※家庭で感想を記入

7 次 第

（進行：等々力）

- (1) はじめの言葉（等々力）
- (2) 講師紹介（岡村）
- (3) 講演（比田井先生）
- (4) 質疑応答（等々力）
- (5) お礼の言葉（学年生徒会）
- (6) 終わりの言葉（等々力）

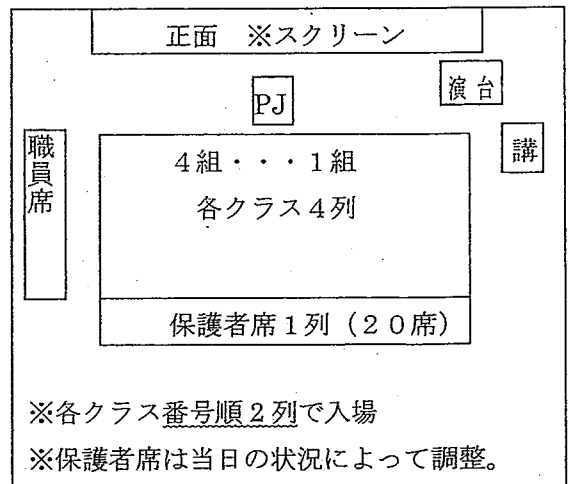
8 その他

- ・ 謝礼については、3万円＋交通費3,220円を「立志塾プロジェクト」から支援いただきます。
- ・ 当日、保護者や職員対象に書籍販売をします。

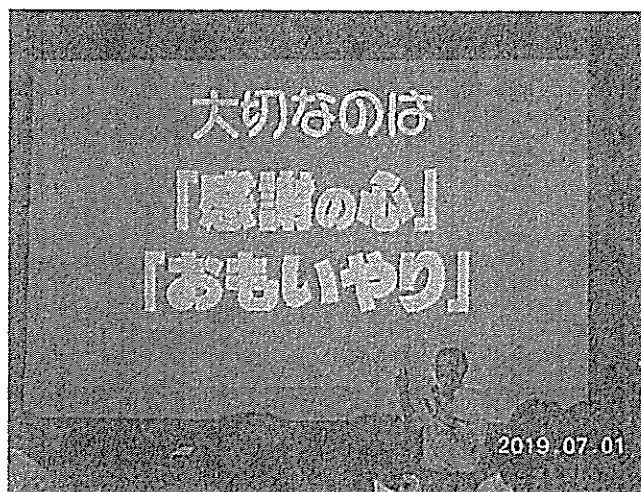
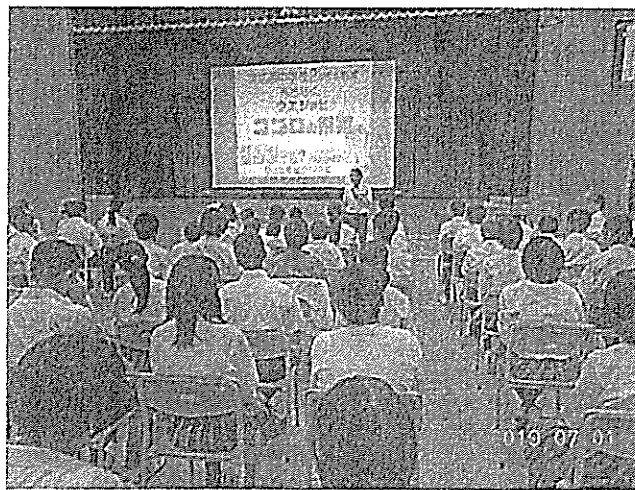
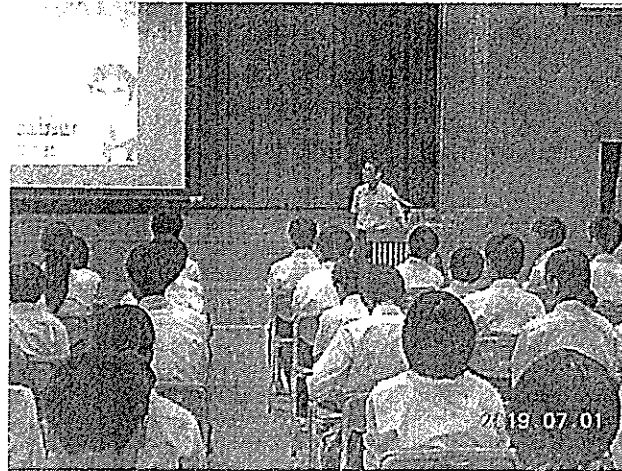
9 準備関係

- ・ できるだけ2校時から会場準備をしたいので、体育の授業（3の1・2）の配慮をお願いします。
- ・ 会場：演台、パイプ椅子、シート敷き

- ・ 演題（何のために働くのか）
- ・ 水・おしぼり（山岸）※事務室からお借りする
- ・ マイク、プロジェクター、スクリーン、放送機器管理、他（月岡、等々力）
- ・ 渉外・打合わせ・資料・感想用紙（岡村。等々力）
- ・ 写真記録（瀧川）
- ・ 接待（岡村）
- ・ 湯茶（小林由） ※応接室に湯茶の用意をお願いします。







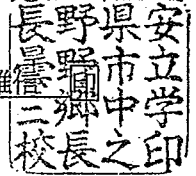
様式第2号

立志塾実績報告書

令和元年6月18日

安曇野市教育委員会 様

学校長 内川 雅

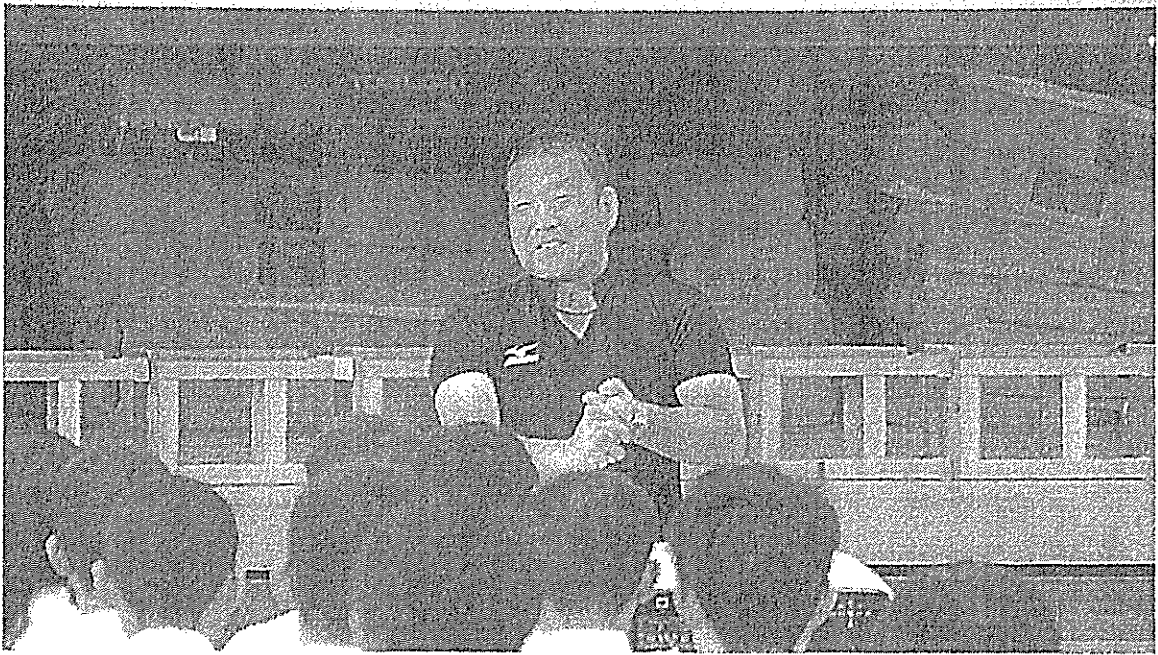
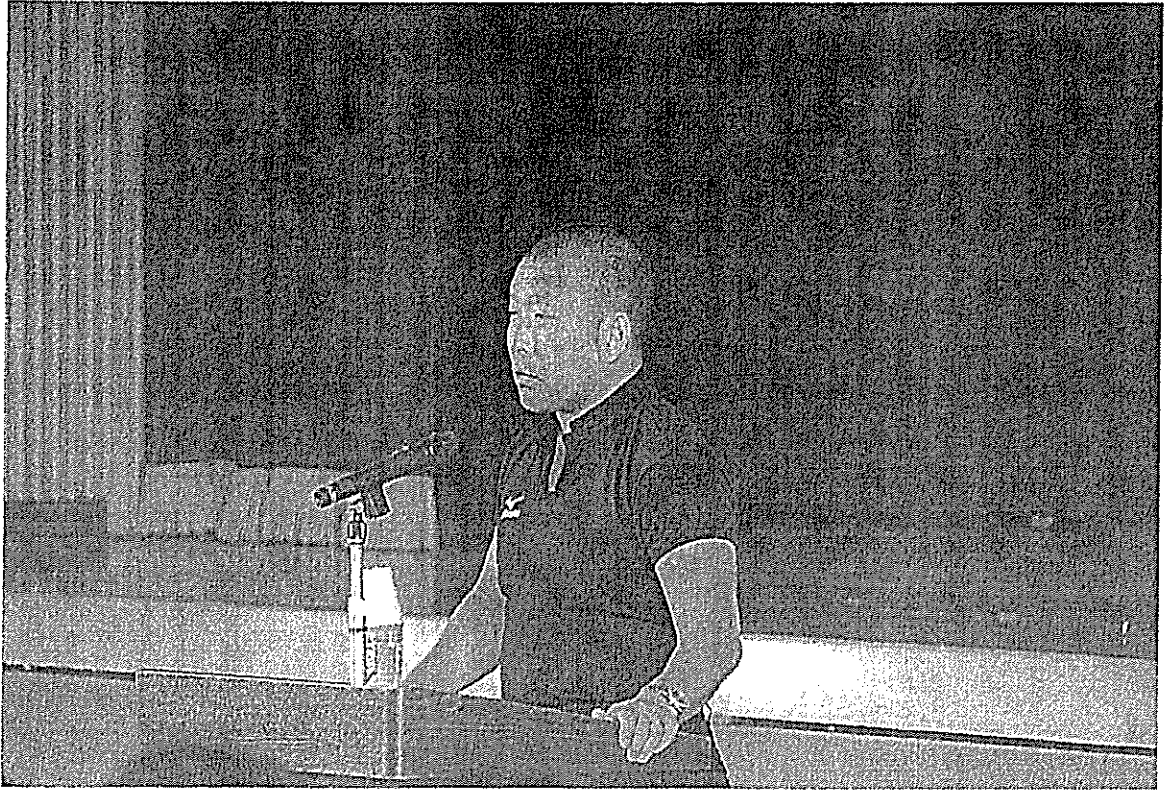


下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

事業（講演）の成果	全国のバレーボール強豪校の監督である講師の先生は、バレーボール指導だけでなく、全力でやり切る生徒の育成を願って学校運営に携わっている。全力で取り組む同じ中学生の具体の姿を紹介しながら、「言い訳をしないこと。限界を決めないこと」、「辛いことがあっても笑顔でやり切ること」の大切さをお話いただいた。生徒たちはこれまでの自分を素直に振り返りながら、これから全力でものごとに取り組んでいくことの大切さを感じ取ることができた。
実施日 (複数記入可)	令和元年 5月 27日 (月)
実施時間	2時間
受講人数	180人
講師	氏名 日笠 智之 [Redacted] 団体名 足立区立洲江中学校 役職 教諭
謝礼	[Redacted]
その他連絡欄	

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）







立志塾実績報告書

令和1年 6 月 28 日

安曇野市教育委員会 様

学校長 小林 俊子



下記のとおり、立志塾事業が次のとおり完了しましたので報告します。

※ この実績報告書は、事業ごとに提出してください。

<p>事業（講演）の成果</p>	<p>『ギニア精霊の森と動物の不思議』～ギニア南東部のボッソウ村でのチンパンジーの生態～ 自然と人、野生動物と人の暮らしのあり方についてのお話をお聞きした。ボッソウの村で大切にされているチンパンジーの生態とそこの村人の考えをお聞きし、野生動物自然と私たちの暮らし方について考えさせられる内容だった。</p>
<p>実施日 (複数記入可)</p>	<p>令和1年 6月20日 (木)</p>
<p>実施時間</p>	<p>14:30～16:20</p>
<p>受講人数</p>	<p>生徒204人、職員24人、保護者+地域の方40人、計268人</p>
<p>講師</p>	<p>氏名 山越 言 住所 [REDACTED] 団体名 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 役職 教授</p>
<p>謝礼</p>	<p>[REDACTED]</p>
<p>その他連絡欄</p>	<p>PTAの全家庭へチラシ配布。 市民タイムス等新聞の「お知らせ欄」で告知し、地域の方々に講演の案内をした。</p>

※ 添付書類 事業の執行に必要な書類（事業通知文書・記録写真等）

データは以下の場所です。

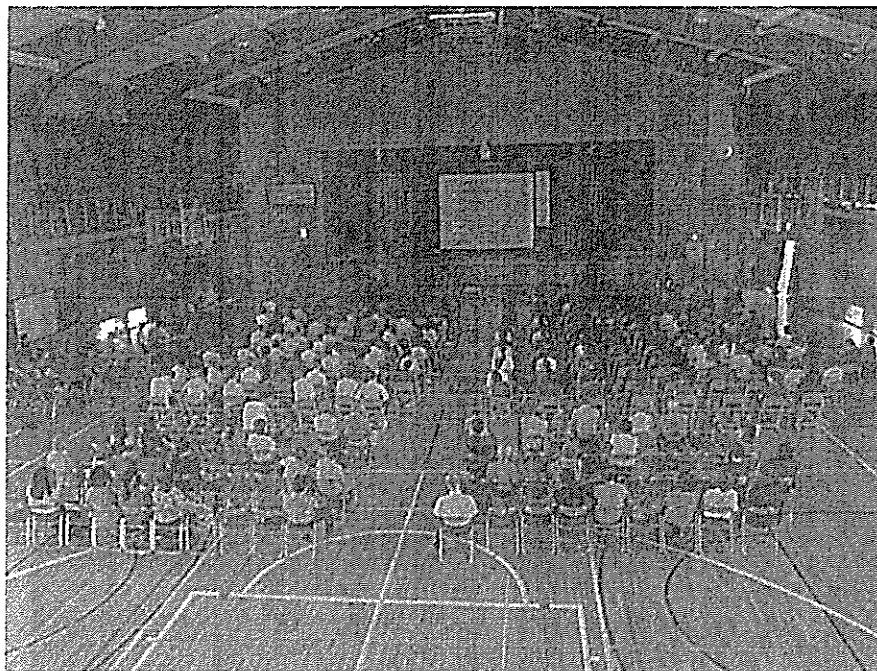


校務分掌－教頭・校長－教頭－教頭（通常用）ここです！！－51 立志塾－立志塾様式第2号(山越言先生)

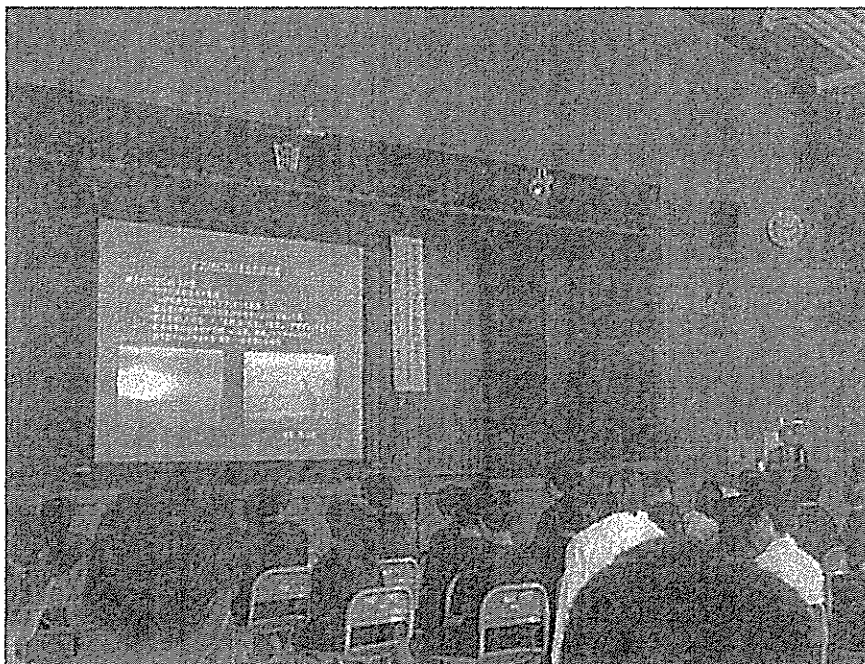
山越 言先生 講演会写真

令和1年 6月20日(木) 14:30~16:20

① 全体 (前が中学生 後ろに一般の参観者)



② 講演の様子



# 令和元年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

## 生涯学習講座推進事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
市民大学講座	8月1日（木）第1回信州大学編 「きのこ健康」 受講者数：84人 8月15日（木）第2回信州大学編 「信州の地質の特性と災害」	8月22日（木）第3回信州大学編 「宇宙の始まりと最小粒子」 8月29日（木）第4回信州大学編 「脳のごちそう 前編」 9月5日（木）第5回信州大学編 「脳のごちそう 後編」 9月12日（木）第6回信州大学編 「文学で平成を振り返る」
学校開放講座	8月3日（土）・4日（日） 「はじめてのソロバン」（穂高商業高校）	8月24日（土）～10月26日（土） 「初歩から学ぶ日商簿記検定3級取得講座」[全8回] 8月31日（土）・9月7日（土） 「DoしMath!?!（どうします!?!）」 ～数学DE楽しみませんか!?!～ 9月14日・21日・28日（土） 「Excel VBA (マクロ) 入門講座」 9月21日（土） 「切り絵入門」
日本語教室		9月11日（水） 第2回日本語教室ボランティア講習会

## 人権教育推進事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
1/2 成人記念 安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～	8月1日（木）4学年主任打ち合わせ会議 ・事業概要 ・タイムスケジュール ・バス運行について ・各小学校での取り組みについて 他	10月1日（火） 1/2 成人記念 安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～

## 中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
公民館長会	8月5日（月）第5回公民館長会 ・公民館使用料改定に伴う手続きについて ・令和2年度公民館事業計画について ・公民館担当者会議の協議内容について 他	9月9日（月）第6回公民館長会
公民館担当者会議		8月29日（木） 公民館長及び公民館担当者合同会議（兼第5回公民館担当者会議） 9月下旬 第6回公民館担当者会議
公民館報	8月6日（火）館報校正会議 ・館報第50号の内容及び校正について 他	8月21日（水）館報企画会議 9月4日（水）館報第50号発行

作成者：社会教育担当 2019/08/13

# 令和元年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

## 児童館運営事業（民間委託事業）

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ	7月下旬～8月下旬 夏期休業利用児童クラブ 開所 穂高西部児童館 プレイルーム照明修繕 (7月下旬～8月中旬)	児童クラブ来年度申請に向けて定員等見直し

## 穂高北部児童館整備事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高北部児童館整備	候補地の不動産鑑定	

## 青少年育成環境整備事務・青少年体験事業・子ども会育成会支援事務

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
子ども会育成会支援	活性化補助金実績報告受付	
成人式	8月17日（土）実行委員会	
青少年センター		センターだより第15号発行（9月）
子ども体験ラボ	8月2日（金）「サンドアートに挑戦！」きぼう 8月6日（火）「ハーバリウムボールペンを作ろう！」きぼう	
子ども体験ショー	8月～9月 出演者との打合せ	

## 放課後子ども教室実施事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
放課後子ども教室	穂高南小を除く9小学校で実施中 (穂高南小：体育館工事のため使用不可)	



# 令和元年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当（豊科公民館）

## 豊科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
ふるさと探訪講座		9月6日（金） 「道祖神散歩（第2回）」
豊科地域さわやか市民運動会	8月1日（木）第1回実行委員会 本年度の事業計画説明，協議。出席者39名 8月19日（月）プログラム編成会議 競技種目・方法について検討。出席者11名	8月27日（火）第2回実行委員会
出会い・ふれあい・生きがいセミナー	8月7日（水） 「オオルリシジミから見た安曇野の自然」 講師：那須野 雅好さん 受講者36名	
夏休みフィールドチャレンジ教室	7月30日（火） 光城山、長峰山でフィールドワーク、蝶の観察会を行った。親子連れで楽しく参加できた。 講師：那須野 雅好さん 受講者13名	
豊科公民館大ホール無料お試し体験事業	7月31日（水）から8月6日（火）実施 1団体2時間上限で、ピアノ、オカリナ、バンド、文化琴、合唱など14団体、114人が参加。 参加者からは貴重な体験ができて大変良かった、何かのイベント等でまた参加したいという声が多数寄せられた。	第2回のホールお試し体験事業を来年2月末から3月上旬に開催予定。

# 令和元年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

## 社会体育総務費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ推進委員会		8月31日（土） 市スポーツ推進委員研修会 ・ポッチャ講習会 講師：長野県障がい者スポーツ 協会 加藤正さん (穂高会館)
スポーツ推進審議会	7月11日（木） 第1回スポーツ推進審議会	9月4日（水） 第2回スポーツ推進審議会

## スポーツ推進事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
スポーツ教室等	7月30日（火） 小・中学校教諭対象のコordiネーショントレ ーニング学ぶ会 (豊科南小学校体育館) 参加者：24人	9月上旬 後期各種スポーツ教室の申込受付
市民スポーツ祭	8月18日（日）卓球競技会 (堀金総合体育館)	8月25日（日）ソフトボール競技会 (有明運動場) 9月8日（日）空手道競技会 (三郷文化公園体育館) 9月7日（土）・8日（日） バスケットボール競技会 (穂高西中学校体育館・講堂)

## 社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
高瀬川マレットゴルフ場整備業務	8月1日（木） 高瀬川マレットゴルフ場オープン	
支障木剪定業務	7月20日（土）～24日（水） 有明運動場周辺支障木剪定	立足マレットゴルフ場周辺支障木 剪定予定

## 市民プール管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高プール運営	7月13日（土）～31日（水） 運営日数 13日（昨年比△4日） 利用者数 3,533人（昨年比△7,836人）	8月25日（日）まで営業

作成者：スポーツ推進担当 2019/08/13

令和元年度事業進捗状況報告(懸案事項等)

〈文化課〉

文化振興担当

芸術教育普及事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
県芸術監督団事業 トランクシアター プロジェクト  実行委員会主催 教育委員会共催	本公演(安曇野会場) 演目:「月夜のファウスト」 出演:串田和美ほか 日時:10月4日(金) 会場:あづみのコミュニケーション 演劇ワークショップ 日程:7月30日(火) 会場:「みらい」 小学校4～6年生 参加者12人 高校生以上 参加者22人 稽古見学 日時:9月22日(日) 会場:犀の角(上田市) 対象:一般 定員:20人	
県芸術監督団事業 シンビズム3展  教育委員会共催	シンビズム3 ～信州ミュージアムネットワークが選んだ作家たち～(中信会場) 会期:9月21日(土)～10月14日(月・祝) 会場:安曇野高橋節郎記念美術館 トークセッション「美術館は変わるー学芸員の仕事とは」 期日9月21日(土) 会場:「みらい」	

美術館博物館連携事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
安曇野市美術館博 物館連携事業	令和元年度 美術館博物館年間予定表 小中学生を同伴した保護者の入館料を無料とするパスポート の発行(全児童・生徒へ配布) 4月の利用者数:33人 5月の利用者数:112人 6月の利用者数:52人 7月の利用者数:34人	

ちくにいきものみらい基金充当事業	<p>7月11日(木)豊科南小(長峰山、飯沼飛行士記念館、天蚕センター、田淵行男記念館)103人</p> <p>7月22日(月)ホームタウン明科(長峰山)明科中15人</p> <p>7月30日(火)豊科公民館(光城山・長峰山・田淵行男記念館)児童20人募集16人</p> <p>8月10日(土)豊科郷土博物館講座(豊科郷土博物館、穂高郷土資料館)</p> <p>9月5日(木)三郷小6年地層見学</p> <p>10月8日(火)堀金小1年(国営アルプスあづみの公園)</p>	
わくわく子どもワークショップめぐり	<p>8月7日(水)参加者11人(小中学生・保護者)</p> <p>高橋節郎記念美術館、安曇野ジャンセン美術館、豊科郷土博物館を巡り、ワークショップに参加</p>	

### 文化団体補助事業

事業 (県案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
<p>信州安曇野能楽鑑賞会</p> <p>主催:信州安曇野新能実行委員会</p>	<p>第29回信州安曇野能楽鑑賞会</p> <p>期日:8月24日(土) 会場 豊科公民館ホール</p> <p>演目:能「鞍馬天狗」、狂言「咲嘩」、能「半蔀」</p> <p>稚児役応募者数12人</p> <p>稚児役第1回稽古 5月13日(月) 第2回稽古 6月21日(金)</p> <p>第3回稽古 6月22日(土)</p> <p>第3回実行委員会 8月1日(木)</p>	<p>稚児役稽古</p> <p>8月22日(木)</p> <p>8月23日(金)</p>
<p>「安曇野文化」刊行</p> <p>主催:実行委員会</p>		<p>第32号 8月31日刊行</p>

### 交流学习センター等事業費

事業 (県案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
穂高交流学习センターみらい	<p>信州安曇野能楽鑑賞会 能演目紹介展示</p> <p>会期:7月2日(火)~8月23日(金)</p>	
三郷交流学习センターゆりのき	<p>信州安曇野能楽鑑賞会 歴代ポスター展</p> <p>期日 7月2日(火)~8月7日(水)</p>	

新進音楽家公開オーディション	<p>オーディション 7月27日(土)</p> <p>審査員：飯沼信義/井上將興/古賀慎治/三原壽雄/内川雅信          ※三原氏・内川学校長はジュニアの部のみ</p> <p>出演者：一般の部 10組(12人)ジュニアの部 14組(22人)</p> <p>来場者：ジュニアの部 76人(内出場者22人)</p> <p>一般の部 42人(内出場者12人)</p> <p>・コンサート 会場：「みらい」</p> <p>一般の部 12月21日(土)・ジュニアの部 3月21日(土)</p>	
0歳からのミニコンサート	<p>年4回を予定。乳幼児向けのコンサート(30分間)</p> <p>第1回9月27日(金)11:00~/14:00~(開場は30分前)</p> <p>会場：「きぼう」</p> <p>出演者：中村倫子・金井美穂(ピアノ連弾)</p> <p>入場料：大人のみ100円</p>	

博物館係

郷土博物館事業

事業(展示事項)	現況	今後の取り組み
企画展示等	<p>開館40周年記念企画展「明科廃寺が造られた時代—その時の明科、安曇野、そして信濃は?—」</p> <p>会期：7月6日(土)~9月1日(日)</p>	
新市立博物館準備室出前展示(コンパクト展示)	<p>「七夕—そのロマンと現実」</p> <p>会期：6月27日(木)~8月7日(水)</p> <p>会場：三郷公民館</p>	
	<p>「常念校長・佐藤嘉市と学校登山」</p> <p>会期：8月1日(木)~9月2日(月)</p> <p>会場：堀金公民館</p>	
	<p>「絹の道プレ展示(仮)」</p> <p>会期：8月16日(金)~9月2日(月)</p> <p>会場：本庁舎</p>	

講座等	<p>夏休み子ども講座①「生きものの形を切り絵で楽しもう」 夏休み子ども講座②「藍の葉のたたき染め」 期間:7月20日(土)～8月18日(日)</p> <p>夏休み子ども講座③「勾玉づくり」 期日:8月4日(日)、8月17日(土)</p> <p>夏季企画展関連講座③「明科廃寺から、牛伏寺、若沢寺、そして満願寺～松本平の古代から中世の寺院へ～」 期日:8月31日(土) 会場:豊科郷土博物館</p> <p>安曇野の自然と歴史を学ぼう!「穂高・魏石鬼」(ちくに基金) 期日:8月10日(土) コース:魏石鬼の岩屋→穂高郷土資料館→豊科郷土博物館</p> <p>企画展記念講演会「古代寺院をめぐる景観～明科廃寺を中心に～」 期日:8月31日(土) 会場:「きぼう」</p>	<p>館長ギャラリートーク 期間:9月1日(日) 会場:豊科郷土博物館</p>
職員派遣その他	<p>小岩嶽城址保存会主催事業への職員派遣 期日:8月11日(日)</p> <p>長野県教育委員会「文化財レスキューマニュアル策定に関わる懇談会」への職員派遣 期間:7月31日(水)～報告書完成まで</p>	

### 郷土資料館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
穂高郷土資料館	北アルプス山麓で発掘された縄文土器や土偶のほか、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示(常設展示を見やすくわかりやすい展示に整理し、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調)。隣接する「鐘の鳴る丘集会所」の関連資料も展示。	「勾玉づくり」 期間:7月20日(土)～8月18日(日)
穂高鐘の鳴る丘集会所	郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	

### 貞享義民記念館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示等	<p>「Daigo Beautiful Light」 会期:7月21日(日)～8月18日(日) 場所:貞享義民記念館企画展示室</p>	
	<p>「江戸期の刀装具展」 会期:8月20日(火)～9月8日(日) 場所:貞享義民記念館企画展示室</p>	

講座等	小学生のための「じょうきょうそうどうと加助」 会期:8月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)	「古文書講座⑤」 期日:9月28日(土) 場所:貞享義民記念館企画研修室
職員派遣その他		長野県教職員研修事業 「現地に学ぶ人権教育」 講座への職員派遣 期日:9月6日(金)
		上長尾地区公民館「貞享騒動が起こった今、私たちに語り掛けること(仮称)」講座への職員派遣 期日:9月28日(土)

### 文書館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示	「改元に見る市民生活展」 会期:4月28日(日)～8月16日(金) 場所:文書館	
	「あづみの?あずみの?安曇野～安曇野市の変遷を辿る～展」 会期:8月18日(日)～12月27日(金) 場所:文書館	
講座等		第3回文書館講演会「安曇野文化人の系譜～あなたが案内人」 期日:9月29日(日) 会場:堀金公民館
重要文書等収集・整理	公開資料点数 34,958点(7月末現在) (7月新規点数/公文書 1,803点)	
臼井吉見文学館管理運営事業	7月入館者数:127人(一般観覧/99人、友の会等/28人)	
職員派遣その他	全国大会安曇野大会(11月14～15日)に向けた検討等	

## 文化財保護事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
文化財 補助事業事務	・無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係等への補助事業の事務(申請及び終了した事業についての支払い事務)	対象となる事業スケジュールと今後の事務処理における留意事項の確認
「安曇平のお船祭り」調査	・安曇平のお船祭り調査 報告書作成 補足調査と報告書原稿執筆	令和2年3月 報告書刊行
	・調査委員会：8月5日(月)午後2時～午後4時 報告書の構成、スケジュール等について、	
「民家調査」	・H24から実施している民家調査の総括(報告書作成) 補足調査(野沢地区 8月8日他) / ・報告書原稿執筆	令和2年3月 報告書刊行
出前講座「よみがえる安曇野」上映会	・8月22日(木) 牧公民館	申し込みにより随時対応

## 埋蔵文化財発掘調査事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
埋文包蔵地内の開発 に対するの工事立会	・一般開発・公共事業に伴う工事立会い	随時対応
文化財保護法 第93・94条関係	・周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の届出・通知受付事務	随時対応
令和元年度以降の 公共事業について	・今後計画されている公共事業を把握し、埋蔵文化財、希少野生動植物の保護について、担当課と協議を行う	保護協議の実施
追堀遺跡 小規模発掘調査	・8月5日(月)午前8時30分～ 宅地造成に伴う調査	継続実施
埋蔵文化財 報告書作成作業	・『三枚橋遺跡 発掘調査報告書』刊行へ向けての作業 遺物復元、遺物実測、図面整理、原稿執筆他	
明科廃寺 遺物整理作業	・昨年実施された明科廃寺第5次発掘調査に伴い出土した 古代瓦等の洗浄等作業	作業は12月までの予定
遺跡出土鉄製品の 分析と保存処理	・これまで発掘調査等で出土した鉄製品がこれ以上劣化しないよう専門研究機関へ運搬し、分析と保存処理を実施 (8月23日(金)静岡の専門業者へ搬入)	
國學院大学による F9号墳 学術調査	・8月6日(火)から8月15日(木)主に墳丘調査 ・8月9日(金)午前中、今後の保護措置について協議 ・8月12日(月)午前中 市民向け現地説明会	



## 図書館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
中央図書館 開館10周年記念	松山 三四六さん講演会 演題:「みらい」チャンネル～創作ウラ話～ 期日:7月20日(土) 場所:「みらい」 参加人数:182人	
三郷図書館 夏休みお楽しみ 会	「プラバンでキーホルダー作り」 期日:7月27日(土) 場所:「ゆりのき」学習室 参加人数:27人	
堀金図書館 映画上映会	「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 With 天の川の 段・ブラックホールの段」 期日:7月27日(土) 場所:堀金図書館絵本コーナー 参加人数:21人	
明科図書館 映画上映会	「深海大スペシャル驚異のモンスター大集 合!」 期日:7月31日(水) 場所:「ひまわり」内 ハーモニーホール 参加人数:79人	
中央図書館 としょかん塾	第1回 7月30日(火) 「調べもの名人になろう」(百科事典の使い方) 第2回 8月2日(金) 「図書館を使いこなそう」(本の探し方) 第3回 8月8日(木) 「本を大切にしよう」(図書袋作りに挑戦) 場所:「みらい」 対象:小学校3～6年生 参加人数:3回連続参加 15人	
中央図書館 夜のおはなし会	期日:8月9日(金) 出演:穂高絵本とおはなしの会 場所:「みらい」	
豊科図書館 チャレンジ講座③	「ペーパークラフトで「神風号」をつくろう」 期日:8月17日(土) 場所:「きぼう」	

<p>明科図書館 ひまわり講座④</p>	<p>地域の歴史と自然「北アルプスと安曇野の生い立ち」 期日:8月3日(土) 場所:「ひまわり」</p>	
<p>図書館フェスタ</p>	<p>期日:9月7日(土)・8日(日) 場所:「みらい」 内容:ビブリオバトル・高島那生さん講演会・山雅連携事業・ワークショップ各種等</p>	